

興味にあわせて学ぶ科目

メジャー（専修）について

2014年度よりカリキュラム編成の変更にともない、メジャー（専修）名が新しくなります。
2013年度以前に入学した学生は、従前のメジャー（専修）名を記しました。
各自入学年度に該当するメジャー（専修）名を確認してください。

例) 授業科目名「カウンセリング心理学」

- ・2014年度入学生：心理学、ビジネスキャリア
- ・2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解

※メジャー（専修）欄が空白の場合は、メジャーに該当しません。

また、2014年度入学生は、一部メジャー（専修）が重複する科目があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	日本語教育	担当教員	高見澤 孟
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 少子高齢化の進む日本は、近い将来外国人の労働力が必要な時代に入ります。来日する外国人との「共生」のためには、外国人が日本語を学習して一定水準の日本語能力に達することが求められています。迎え入れる日本人の側も異文化の外国人と協働する社会を築く準備が必要です。このための日本語教育が現在どのような状況にあるのか、外国人はどのように日本語を学んでいるのかを知ることも外国人理解、異文化理解の上で重要な情報になります。このような情報に基づいて日本語教育への理解を深めてください。

学習の進め方 オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。教科書『新・はじめての日本語教育1：日本語教育の基礎知識』と「配布資料」には、補足情報が記載されていますから、必ずそれらも参照してください。各回の授業内容と教科書の関連箇所は、「配布資料」に記載してあります。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 日本語教育の現状 日本語教育の現状と将来の展望及び日本社会が近く迎える「外国人との共生の時代」について学習する。	レポート
	第2回 古代・中世における日本語学習者 古代から隣接する諸国の人々が日本語をいかに学んだか、また室町末期に来日したポルトガルの宣教師たちがどのように日本語を理解し、習得する努力をしてきたかについて学ぶ。	レポート
	第3回 キリシタンの日本語学習 キリスト教布教のために来日した宣教師のなかで最も優れた功績を残したロドリゲスの研究を中心に西洋人から見た日本語の姿を学ぶ。	レポート
	第4回 オランダ商館の日本語研究 江戸時代に唯一来日が許可されていたオランダ商館の人々の日本語研究、さらに日本研究について学ぶ。	レポート
	第5回 日本語と外国語 日本語と外国語（＝英語）の対照研究を通して、日本語の特性を学ぶ。	レポート
	第6回 日本語の特質 日本語の特質として「文脈依存性」や「感情表現」、「願望表現」などの他言語との相違を学ぶ。	レポート
	第7回 日本語の仕組み(1) 日本文法の中でも外国人にとって学習困難な「助詞」の扱いや「自動詞他動詞」に係る問題、「～ている形」の用法などを学ぶ。	レポート
	第8回 日本語の仕組み(2) 各種「て形の用法」や「授受表現」、「受身形」など他言語と異なる日本語の用法を学ぶ。	レポート
	第9回 日本語の音声(1) 外国人にとって難しく感じられる「日本語の音声の特徴」や「特殊拍」などについて学ぶ。	レポート
	第10回 日本語の音声(2) 日本語の「アクセント」、「リズム」、「イントネーション」について学ぶ。	レポート
	第11回 日本語の文字 「日本語の文字に係る問題」、「かな文字の用法」、「各種符号の用法」などを学ぶ。	レポート
	第12回 異文化間コミュニケーション(1) 日本人と外国人の間で発生する「コミュニケーショントラブル」の原因を「配慮表現」や「婉曲表現」など日本文化に係る側面から検討する。	レポート
	第13回 異文化間コミュニケーション(2) コミュニケーションにおける「文化差」や「言語接触」における諸問題について学ぶ。	レポート
成績評価方法	単位修得試験（100%）	
教科書	著書 『新・はじめての日本語教育1：日本語教育の基礎知識』 監著者 高見澤 孟 出版社 アスク出版 出版年度 2010年9月29日 初版 ISBN 9784872170665	
参考書(任意購入)	『新・はじめての日本語教育2：日本語教授法入門』、高見澤孟著、アスク出版、1,995円（税込）、2004年	
必須ソフト・ツール		
備 考	日本語教育関係の用語がわからない場合には、『新・はじめての日本語教育 基本用語事典』（監著者 高見澤 孟 アスク出版 2,500円 2004年）を参照してください。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	日本文化論	担当教員	岡 佳子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	江戸時代初期の陶工、野々村仁清と、彼が制作した色絵陶器の実像を文献史料や作品を通じて学びます。仁清の生きた時代、国宝に次々指定されていく近代、それぞれの時代に、人々がどのような評価を仁清に与えたか、それを学ぶことで、日本人の文化遺産に対する意識を考えます。				
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各章の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の章に進みます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 近代化のなかの国宝仁清	近代の国宝制度のもと、色絵の仁清陶器がどのように指定されたか、また、幕末から明治30年代までの仁清の評価を学びます。			レポート
	第2章 つくられた仁清像	明治末から昭和10年代までの、社会の状況を反映して様々に変化する、時代のなかで形づくられた仁清のイメージを学びます。			レポート
	第3章 遅れてきた京焼、御室焼	御室焼を、偉大な陶工仁清のやきものとみるのではなく、京焼のひとつと捉えて、御室開窯の実態や、京都の有力寺院との関係などを学びます。			レポート
	第4章 金森宗和と仁清	仁清の御室焼、50年の歴史を、茶匠金森宗和との関係、隆盛期の窯の様相、没落の状況などと、実作品の展開ともに学びます。			レポート
	第5章 京極家の数寄道具と仁清茶壺	丸亀藩京極家と仁清や御室焼の関係を、道具帳という文献を読み解くことで学びます。			レポート
	第6章 色絵茶壺の実相	京極家蔵の色絵茶壺群を、美術史の方法論で分析し、どのように平面の絵画が、立体の茶壺に絵付されていたかの過程を学びます。			レポート
成績評価方法	各章のレポート (40%)、単位修得試験 (60%)				
教科書	著書 『国宝 仁清の謎』 著者 岡 佳子 出版社 角川書店 出版年度 2001年7月31日 初版 ISBN 9784047021181				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にはご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	和歌鑑賞入門	担当教員	千古 利恵子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席をもって単位修得試験受験資格とする。			資格名
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標 『百人一首』の名前を知る人は多い。でも『百人一首』の歌が、『万葉集』『古今和歌集』などから撰び出されたことを知る人は少ないように思う。また、それらの歌には「当時の人たちと現代人の想いには共通点があること」「現代に受け継がれている行事や文化が登場すること」に着目する人も少ないように思える。そこで、この講座では、和歌集の鑑賞を通して、我が国の「伝統と文化」について考えることを、学習の目標とする。

学習の進め方 本学習は、講義と演習の2形式です。講義では、テキストを使用しながら、和歌文学の基礎知識を学び、鑑賞に必要な知識の確認と整理を行う。演習では、受講者が好きな和歌を選び、講義で得た知識を使いながら、鑑賞に取り組む。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 オリエンテーション(和歌について)	
	「和歌」と「短歌」のちがいを考える	
	第2回 和歌集について(1)	
	・活字本をよむための基礎知識を学ぶ ・写本と活字本の関係を知る	
	第3回 和歌集について(2)	
	・公的な和歌集と私的な和歌集の違いを知る ・勅撰和歌集と『万葉集』のちがいを学ぶ	
	第4回 和歌集の世界を知る(1)	
	和歌集の構成を知る	
	第5回 和歌集の世界を知る(2)	
	撰者の工夫と苦勞をさぐる	
	第6回 和歌集の伝承(1)	
	作品の人気と評価を考える ―『百人一首』の歌は秀歌ばかり?―	
	第7回 和歌集の伝承(2)	
	作品の創作過程と流布について検証する ―写本と活字本との流布の違い―	
	第8回 和歌作品の未来	
・無名作品が有名になる理由 ・有名な作品が忘れられてしまう理由		
第9回 和歌鑑賞 ―演習のための準備(1)―		
西行の和歌に込められた想いにふれる		
第10回 和歌鑑賞 ―演習のための準備(2)―		
文化を伝える和歌をよむ		
第11回 演習「四季歌の鑑賞」		
・春、夏歌に込められた想いにふれる ・現代に伝わる行事について		
第12回 演習「四季歌の鑑賞」		
・秋、冬歌に込められた想いにふれる ・現代に伝わる行事について		
第13回 演習「雑歌の鑑賞」		
・人生をみつめた和歌の鑑賞 ・現代人の「人生観」を考える		
第14回 演習「私の好きな和歌の鑑賞」		
・好きな和歌を選ぶ ・鑑賞のために必要な資料を集める		
第15回 まとめ		
「私の好きな和歌」の考察		
成績評価方法	単位修得試験の結果(100%)により評価する。	
教科書	著書 『和歌文学へのいざない 和歌文学研究の入門と鑑賞』 著者 千古 利恵子 出版社 創文社 出版年度 2009年11月1日 1版 ISBN 9784904610015	
参考書(任意購入)	授業時に紹介する。	
必須ソフト・ツール		
備考	受講者上限人数 講義100名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	日本の文化と歴史	担当教員	上垣外 憲一
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			
学習目標	富士山は、日本の歴史のあらゆる時代を通じて、その時期その時期ごとの文化状況を反映して、記録や芸術作品に残されてきた。残された富士山の記録、芸術作品を読み解くことから、ある文化現象が歴史の中でどのように姿を変えて今日に至るかを把握する。				
学習の進め方	中公新書『富士山』を教科書として、古代から近代にいたるまで時代順に、それぞれの時代の社会状況、文化状況の中で、富士山がどのように人々と関わっていたかを、時代別に理解する。富士山の文化史全体を、もう一度最後に通観することで、ある自然物が、どのようにある国の文化の中で現象するのかを理解する。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 古代芸術に見る富士山	万葉集や平安時代の和歌から古代人の富士に寄せる感情を理解する。			レポート
	第2章 中世、宗教の山としての富士山	密教と山岳宗教の関連を把握する。			レポート
	第3章 絵画に描かれた富士山	江戸時代から明治期にかけての富士山の絵画を読み解く。			レポート
	第4章 外国人から見た富士山	朝鮮通信使や近代の西洋旅行者の富士山の見方を分析、理解する。			レポート
	第5章 大衆登山の山としての富士山	何故、富士山が修験者の山から庶民の登山の山に変貌したかを把握する。			レポート
	成績評価方法	各章に提出するレポート (50%)、単位修得試験 (50%)			
教科書	著書 『富士山』 著者 上垣外憲一 出版社 中央公論新社 出版年度 2009年1月25日 ISBN 9784121019820				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	考古学の世界	担当教員	川口 宏海
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	考古学の発達史を理解できる。 考古学の研究方法が理解できる。 考古学の研究成果が理解できる。				
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。				
	概 要			課 題	
	第1回 考古学の定義と誕生 考古学とはどんな学問なのかをつかむ。 考古学とはどのように歩んできたのかを理解する。			確認テスト	
	第2回 日本考古学の成立と発展・発見 考古学とはどのように歩んできたのかを理解する。 日本考古学の成立と発展について理解する。 日本考古学の歩みを画期的な発見の歴史とともに説明する。			確認テスト、 ディスカッション	
	第3回 遺物・遺構・遺跡 日本の考古学は何を研究するのか、という観点から、まずは基本的な遺物・遺構・遺跡の概念を理解する。			確認テスト	
	第4回 生産・祭祀などの遺物・遺構・遺跡 生産や祭祀に関わる遺物・遺構・遺跡について理解する。			確認テスト	
	第5回 発掘調査の準備と探査方法 考古学の基礎知識にはどのようなものが必要かを理解する。 まず発掘調査の準備について、次いで遺跡・遺構の探査方法について理解する。			確認テスト	
	第6回 発掘調査の実施と記録 発掘調査を実施するに当たっての準備と、発掘調査を記録する方法について理解する。			確認テスト、 プレゼンテーション	
	第7回 発掘資料 発掘資料の整理・結果発表・保存処理はどのように行うかを理解する。			確認テスト	
学習内容	第8回 石器と土器の実測図 出土した遺物の実測図を描くには、どのような知識・技術が必要かを理解する。 まずは石器、次いで土器について理解する。			確認テスト	
	第9回 型式学的研究・層位学的研究 考古学の基本的研究方法である型式学的研究と層位学的研究とはどのようなものであるかを理解する。			確認テスト	
	第10回 考古学と理化学的研究方法 考古学の年代測定法と遺物の産地同定などに理化学的研究方法が用いられていることを理解する。			確認テスト、 レポート	
	第11回 旧石器時代の文化 考古学の研究成果として、まず人類の出現以降の歴史と日本の旧石器時代の始まり、特徴などについて理解する。			確認テスト、 ディスカッション	
	第12回 縄文時代の文化 縄文時代の始まりや時期区分、生業・集落のあり方などについて理解する。			確認テスト	
	第13回 弥生時代の文化 弥生時代の始まりと時期区分、水稲耕作の伝来、卑弥呼の時代などについて理解する。			確認テスト	
	第14回 古墳時代の文化 古墳時代の始まりや古墳時代の特徴・大陸との交流などについて理解する。			確認テスト	
	第15回 歴史時代の文化 飛鳥・奈良時代以降、江戸時代に至る歴史時代の考古学的成果について理解する。			確認テスト	
成績評価方法	各回の確認テスト (30%)、レポート《第10回》・プレゼンテーション《第6回》(20%)、授業参加 [ディスカッション《第2回、第11回》など] (10%)、単位修得試験 (40%)				
教科書	著書 『考古学キーワード』 著者 安森雅雄 出版社 有斐閣 出版年度 2008年2月15日 改訂版 ISBN 9784641058774				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等ご注意ください。
※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	神秘の地インド探訪	担当教員	村瀬 智
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	近年のインドの急速な経済成長には目を見張るものがある。本授業では、インド亜大陸を舞台に展開した文明の内発的発展の足跡をたどる。そして、インドという「動き出したアジアの巨象」の歴史的背景を理解する。				
学習の進め方	この授業では、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進める上で重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用して下さい。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回へ進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回	インドって、どんなところ		レポート	
		多様性と統一性：インド理解のキーワード			
	第2回	インド ーその多様性と現代的意義		小テスト	
		インドは世界全体の縮図			
	第3回	インダス文明と原ヒンドゥー教		小テスト	
		ヒンドゥー文化の祖型としてのインダス文明			
	第4回	アーリア人の進出とヴェーダの宗教		小テスト	
		カースト制と哲学讃歌			
	第5回	後期ヴェーダ時代の社会変化とウパニシャッドの成立		小テスト	
		自由思想家たちの登場			
	第6回	正統バラモン哲学の成立と展開		小テスト	
		ヒンドゥー古典文化の成立			
	第7回	ヒンドゥー思想の展開		小テスト	
		シャンカラの思想と不二一元論派の確立			
	第8回	バクティの登場		小テスト	
	バクティの波及と地方文化				
第9回	スーフイズムとバクティ		小テスト		
	ラーマーナンダ、カビール、ナーナク				
第10回	近代ヨーロッパと「インド」(1)		小テスト		
	サンスクリット語の発見				
第11回	近代ヨーロッパと「インド」(2)		小テスト		
	ヨーロッパのロマン派運動とインド				
第12回	インドの近代化とヒンドゥー教改革運動(1)		小テスト		
	19世紀のインドとベンガル・ルネサンス				
第13回	インドの近代化とヒンドゥー教改革運動(2)		小テスト		
	ブランモ協会とアーリア協会				
第14回	インドの近代化とヒンドゥー教改革運動(3)		小テスト		
	ラーマクリシュナ、オーロピンド、ラマナ・マルハシ				
第15回	まとめ				
	インド的なるもの、「知」の体系と「生活文化」としてのヒンドゥー教、救済理論の構築				
成績評価方法	各回の課題 (50%)、単位修得試験 (50%)				
教科書	著書 『ヒンドゥー教とインド社会』 著者 山下博司 出版社 山川出版社 出版年度 2010年9月25日 1版 ISBN 9784634340503				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	アメリカの文化と歴史	担当教員	田中 紀子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席(ただし最終日は必ず出席すること)			資格名
	実施方法	現地試験(レポート)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	アメリカの歴史をたどりながら、代表的な文化事象を通じて、その国民性を考える。				
学習の進め方	関連ある映画やドキュメンタリー映像などを活用し、理解を進めてゆく。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 最近のアメリカ	最近のアメリカ関連のニュース、アメリカの基本事項			
	第2回 アメリカを象徴する事物、根本精神	国旗、国歌、国章、などに見るアメリカ人の国民性			
	第3回 アメリカ「発見」前後	アメリカ先住民とその文化、ヨーロッパ人によるアメリカの「発見」とその影響			
	第4回 独立への道のり	独立戦争、『コモン・センス』、独立宣言			
	第5回 様々な移民	世界各地からの移民、WASPとマイノリティ			
	第6回 これまでのまとめ	前半のまとめ			
	第7回 領土の拡大	西部開拓、フロンティア・スピリット			
	第8回 南部社会	アフリカ系アメリカ人と奴隷制、南北戦争			
	第9回 国家の発展	交通網の拡大、「金メッキ時代」			
	第10回 20世紀のアメリカ(1)	20世紀のアメリカに関するテーマについて、資料検索と討論			
	第11回 20世紀のアメリカ(2)	20世紀のアメリカに関するテーマについて、資料検索と討論			
	第12回 20世紀のアメリカ(3)	20世紀のアメリカに関するテーマについて、資料検索と討論			
	第13回 プレゼンテーション(1)	調べた内容のプレゼンテーション、質疑応答			
	第14回 プレゼンテーション(2)	調べた内容のプレゼンテーション、質疑応答			
	第15回 プレゼンテーション(3)と、まとめ	調べた内容のプレゼンテーション、質疑応答、後半のまとめ			
成績評価方法	平常点(50%)、試験・レポート(50%)				
教科書	独自に作成したプリントを配布する。				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備 考	受講者上限人数 講義100名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	イギリスの文化と歴史	担当教員	太田 素子
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	イギリスの文化と歴史について学ぶ。まず出来るだけ簡潔にイギリスの歴史を概観する。その上で、イギリスの食と文化、イギリスの物語を取り上げて、最近の新しい研究領域の視点から、イギリス文化を理解できるようにする。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。特に第1回～第4回の歴史の授業では前もって教科書をよんでおいてください。各回の学習の最後には、課題があります。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 インTRODクシヨN・古代から中世へ イギリスの正式名称と国旗、立憲君主国イギリス、先史時代～中世のイギリス	確認テスト
	第2回 絶対王政の時代：ヘンリー8世とエリザベス1世 絶対王政、ヘンリー8世と6人の王妃、イングランド国教会、エリザベス1世	確認テスト
	第3回 イギリス革命 イギリス革命、市民革命と議会制民主主義、ピューリタン	確認テスト
	第4回 大英帝国の繁栄・20世紀イギリス 産業革命、大英帝国の繁栄、ヴィクトリア女王、万国博覧会とクリスタルパレス、20世紀のイギリス	確認テスト
	第5回 イギリスの食と文化 飽食の現代、嗜好品の時代、イギリス人は紅茶好き・紅茶と砂糖の文化史、イギリス料理はまずい？	確認テスト
	第6回 イギリスの物語 物語とは、シェイクスピア、シャーロック・ホームズ、不思議の国のアリス、ロード・オブ・ザ・リング、ハリイ・ポッター	確認テスト
成績評価方法	毎回の確認テスト (50%) 単位修得試験 (50%)	
教科書	著書 『コンプトン英国史・英文学史』 著者 加藤憲市・加藤治訳 出版社 大修館書店 出版年度 2008年4月20日 ISBN 9784469243765	
参考書(任意購入)	『図説 イギリスの歴史』、指昭博、河出書房新社、1,800円(税込)、2002年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にはご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	ヨーロッパの文化と歴史	担当教員	大島 浩英
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	この授業では、「ヘンゼルとグレーテル」、「白雪姫」、「シンデレラ」や「赤ずきん」など、ドイツに生まれ広く世界的に読まれるようになった『グリム童話集』をテーマに学習を進めます。メルヒェンという言葉は昔話、童話、民話などを意味しますが、その中にはヨーロッパの長い歴史を通じて受け継がれてきた人びとの生活文化や心情が反映されています。こういったメルヒェンをグリム兄弟がどのようにして集め、現在では多くの子どもたちに親しまれるようになった『童話集』へと作り上げていったのか、その成立過程を探ります。				
学習の進め方	本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進める上で重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。各章の学習の最後には確認テストがありますので、このテストを済ませてから次の章の学習へ進んでください。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1章 メルヒェンとは？	メルヒェンの意味、起源、タイプと、メルヒェンに対するグリム兄弟の考え方などを学ぶ。			確認テスト
	第2章 グリム兄弟の生涯とメルヒェン収集	グリム兄弟の生い立ちを概観しながら、彼らが生きた時代やメルヒェンとの関わりについて学ぶ。			確認テスト
	第3章 グリム兄弟のメルヒェン観	グリム兄弟のメルヒェンに寄せる思いや昔話の構造、またグリム童話と子どもとの関係などを考える。			確認テスト
	第4章 昔話の文体	メルヒェン（昔話）が語られる文体とその表現の仕方、そしてそれらによって得られる効果について考察する。			確認テスト
	第5章 メルヒェンの語り手	グリム兄弟にメルヒェンを語ったのはどのような人々だったのか、そしてその語り方について考察する。			確認テスト
	第6章 文献からの再話	グリム兄弟が生まれる以前からあった昔話を童話集に再話した例として「天国の仕立屋」を題材に考察する。			確認テスト
	成績評価方法	各章の確認テスト（40%）、単位修得試験（60%）			
教科書	著書 『グリム童話の誕生』 著者 小澤俊夫 出版社 朝日新聞社 出版年度 2008年9月20日 ISBN 9784022595553				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	日本文学	担当教員	丹羽 博之
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	①日本古典文学の粹『百人一首』の講読を通して、上代から鎌倉時代初期にかけての和歌の流れ、それぞれの時代の特徴を知る。 ②日本文学の特徴である、四季と恋について、古来からどのように歌われ、今に続いているかを知る。 ③現代の日本文化の基礎ともなっている、季節観、恋愛方法などのルーツを知る。				
学習の進め方	この授業は教科書主体に学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。教科書の中からそれぞれのテーマに沿っていくつかの和歌を取り上げ、時代の特徴、修辞法の解説、歌人の逸話等を説明します。古人の心情にふれ、日本人の心のふるさとを再発見しましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第一講 百人一首の世界	○百人一首と藤原定家を学ぶ。 ○百人一首と歌留多			小クイズ
	第二講 『万葉集』時代の歌人	○『万葉集』時代の理解 ○それぞれの歌人の特徴			小クイズ
	第三講 『古今集』時代の歌人	○『古今集』の時代の理解 ○『古今集』の歌の特徴			小クイズ
	第四講 平安三才女	○平安三才女とは ○平安女流文学の理解			小クイズ
	第五講 和歌と漢詩	○日本人と漢詩 ○和歌の表現の中の漢詩的表現			小クイズ
	第六講 歌合と歌会	○歌合の理解 ○歌会の理解			小クイズ
	第七講 和歌の修辞	○和歌の修辞法の理解 ○掛詞・縁語・序詞の理解			小クイズ
	第八講 歌枕	○歌枕の理解			小クイズ
	第九講 『新古今集』時代の歌人	○『新古今集』時代の理解 ○『新古今集』の歌の特徴			小クイズ
成績評価方法	各講の小クイズ (50%) と単位修得試験の結果 (50%) により評価する。				
教科書	著書 『百人一首』 著者 鈴木日出男他 出版社 文英堂 出版年度 2011年 CD なし ISBN 9784578100829				
参考書(任意購入)	『百人一首大事典』、吉海直人監修、あかね書房、5,250円(税込)、2006年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	アメリカ文学	担当教員	稲積 包昭
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	イギリスの植民地時代から、独立革命期、第二次対英戦争、南北戦争、西漸運動、フロンティアの消滅、金びか時代、革新時代、第一次世界大戦、ジャズ・エイジ、大恐慌時代、第二次世界大戦、東西冷戦時代、ベトナム戦争、ソ連邦の解体、と世界とアメリカの歴史を背景に、その時代時代にアメリカ人によって英語で書かれた代表的な文学作品を取り上げます。				
学習の進め方	この授業では、英語で書かれた散文作品を学習の対象にしほります。「詩」と「演劇」も文学を学ぶ際に無視できないものですが、まずはアメリカ文学の主流をなし、かつまた、今日まで世界中で多くの人々に愛読されている「散文作品」がアメリカ文学を理解する上で最も効果的であると思うからです。全体を6講に分け、各講は教科書の教材材料に応じて無理なく学習できるように配分しています。各講で、まず教科書の解説を読み、作品が書かれた時代背景を理解し、次に引用されている原作の一部を日本語訳を参考によんでください。引用された英文は短いですが、作品の特徴をよくとらえた部分が選ばれています。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 植民地時代の文学				
	教科書 序章・第1章 アメリカ文学とは何か。時代背景とこの時代を代表する作品として「説教」が主体となる散文が選ばれた理由を理解しましょう。「アメリカにおけるキリストのたいなる御業」と「怒れる神の手のなかにある罪人たち」。次に、独立戦争でも重要な働きをした、アメリカン・ドリームの人祖、ベン・フランクリンの『自叙伝』を読み、彼の自信に満ちた成功談から、この時代の雰囲気を感じ取ってください。				
	第2回 アメリカ文学の独立期				
	教科書 第2章 ヨーロッパの芸術や文学の模倣時代を経て、アメリカ独自の文学が芽生え根をおろし始めた時代です。アメリカン・ゴシックの人祖、ブロックデン・ブラウンの『ウィーランド』、ヨーロッパで高く評価されたワシントン・アーヴィングの「リップ・ヴァン・ウィウクル」、アメリカン・ヒーロー像を描いたフェニモア・クーパーの皮脚絆物語の一つ、『大草原』の原文に触れ、時代の息吹を感じてください。				
	第3回 アメリカ文学の開花時代				
	教科書 第3章 第2回で学んだアメリカ文学独立期の代表的作家によって切り開かれた文学的土壌は、社会の変化発展とともに、ニューヨーク州を中心とした多様性においても独自の発達を遂げました。「アメリカン・ルネサンス」と呼ばれる文学開花期です。その思想的な指導者が、超絶思想で有名なエマソンです。彼のもとに集まった人々の中には、『森の生活』を書いたヘンリー・ソロー、小説の構成ばかりでなく、人間性の原点を明らかにしようと試み、今日でも古さを感じさせない傑作『緋文字』の作者、ナサニエル・ホーソン、巨大鯨への復讐に命を賭けた船長の姿に人間の暗黒部を明らかにしようとした大作『白鯨』のハーマン・メルヴィルなどがいます。また、南部出身ですが、フランスでその文学性・芸術性を高く評価された『アッシュ家の崩壊』の著者、エドガー・アラン・ポーも挙げねばなりません。				
第4回 リアリズムから自然主義					
教科書 第4章 ホーソンやメルヴィルはロマン主義の作家として位置付けられています。農業国から工業国へと急速に変貌を遂げたアメリカ社会は、多くの矛盾を抱え、その状況下で作家は冷静な目で社会を見つめます。「アメリカ小説の父」と言われ、後の作家たちにも影響を与えた、リアリズム作家マーク・トウェイン、アメリカ自然主義の代表的な作家、フランク・ノリス、ステューヴン・クレイン、そして、セオドア・ドライサーの作品を読んでください。					
第5回 アメリカ文学の成熟期					
教科書 第5章 第一次世界大戦から大恐慌を経て、第二次世界大戦前までのアメリカ社会の中から生まれしてきた作家とその作品を取り上げます。国土が戦争の被害を受けなかったアメリカは、それまでの負債国から債権国へ、そして、世界の大国へと変貌します。しかし、戦争の後遺症は伝統的な道徳観、旧来の権威を否定する若者を生み出し、経済的繁栄と退廃的な風潮が独特の時代を作り出しました。シャーウッド・アンダーソン、スコット・フィッツジェラルド、アーネスト・ヘミングウェイ、ウィリアム・フォークナー、ジョン・スタインベックの代表的な作品を鑑賞してください。					
第6回 第二次世界大戦後の文学					
教科書 第6章 1920年代の特色をなす「ジャズと酒とダンス」の繁栄の時代は、1929年の大恐慌によって終わりをむかえました。ナチズム、ファシズム、軍国主義が台頭し、世界は戦争の時代へと突入しました。共通の敵を前に共に戦ったアメリカとソ連はこの第二次世界大戦後、自由主義世界、社会主義世界の代表として激しく対立し、「冷戦」と呼ばれる時代をもたらした。植民地の独立、革命、ベトナム戦争、中東戦争は世界中に暗い影を落としたが、アメリカ国内でも公民権運動、草の根民主主義、性革命、麻薬、ヒッピーと社会は大きな変化をこうむった。このような時代は文学の中にも色濃く繁栄されている。ノーマン・メイラー、ソール・ベロー、バーナード・マラマッドらの名前をあげることができる。時代に逆らい、清くありたいと大人の欺瞞に抵抗する若者を描いた『ライ麦畑でつかまえて』のサリンジャーも忘れてはならない。					
成績評価方法	単位修得試験 (100%)				
教科書	著書 『はじめて学ぶアメリカ文学史』 著者 板橋好枝/高田賢一 編著 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2009年12月20日 初版 ISBN 9784623021055				
参考書(任意購入)	『アメリカの文学』、八木敏雄・志村正雄著、南雲堂、1,835円(税込)、1983年 『アメリカ文学史入門』、大橋吉之輔著、研究社、2,415円(税込)、1987年 『アメリカ文学 名作と主人公』、北山克彦編、自由国民社、1,785円(税込)、2009年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	イギリス文学	担当教員	森 道子
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	イギリスの文学作品を読み、味わう。文学は芸術の1分野で、自然や人生をテーマに、想像力を働かせて、美を創造する。独自の特色は「ことば」を素材とすることで、ことばの美しさ、面白さを堪能させてくれる。文学作品を理解し鑑賞することは想像力の開発、未知の体験に繋がる。それが外国文学の場合、異文化交流の基礎を築く。				
学習の進め方	全体を6回に分ける。各講に教科書の1章～2章を配する。教科書はイギリス文学史だが、学習目的は文学の歴史ではなく、イギリス文学を代表する作品の味読・理解である。したがって、取り上げる作品を各回で明記するので、可能な限り全文を読了してほしい。また、各章の「時代思潮」「詩概説」「劇概説」「小説・散文概説」は必ず読むこと。 イギリス文学は当然ながら、英語で書かれている。イギリス文学を真に味わうためには原典に触れることが必至である。ぜひ教科書の原典引用文を日本語訳と対訳しつつ読んでほしい。また、掲載された引用は作品のごく一部にすぎない。入手しやすい翻訳を挙げておくので、興味を持った作品の完読を勧めたい。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1講 アーサー王伝説とシェイクスピア		ディスカッション		
	教科書の第1章・第2章 中英語による長詩『カンタベリ物語』と散文『アーサー王の死』について。イギリス・ルネッサンスの宮廷文学『妖精女王』とソネット(定型詩)、およびマロウとシェイクスピアの悲劇、喜劇、詩劇。				
	第2講 ミルトンと17世紀の詩人・作家		ディスカッション		
	第3章、キリスト教信仰に基づいていながら対照的な文体の叙事詩『失楽園』と散文『天路歷程』について、また、その対極ともいえる異教的恋愛詩について。				
	第3講 ジャーナリズムと小説の誕生		確認テスト		
	第4章・第5章、理性と散文に重点を置く都会(ロンドン)中心に繁栄する文化と市民階級の社会。現在の新聞と雑誌の中間のような新聞の発行。『ロビンソン・クルーソー』『ガリヴァー』など冒険旅行記から始まり、本格的な小説の誕生とその隆盛について。				
	第4講 ロマン主義の詩人と小説家		ディスカッション		
	第6章、理性と散文への反動。都会より自然に、社会より個人に焦点を当てるロマン派運動。想像力を重要視する。各自各様に自由と美を求める5人の主要詩人たちについて。小説は歴史小説と教養小説の代表作家であるサー・ウォルター・スコットとジェイン・オースティン。				
	第5講 ヴィクトリア朝の詩人と小説家		ディスカッション		
第7章、自由奔放なロマン派とは対照的な質実で廉潔の詩人テニソンは科学と宗教の間で苦悩するものの、国家詩人(桂冠詩人)に選出。D・G・ロセッティは美術と文学の両芸術で理想を追求する。小説の全盛期で、ディケンズはヴィクトリア朝市民階級の代表者であり、ブロンテ姉妹など女流作家の活躍も目覚ましい。					
第6講 世紀末から20世紀の小説 おわりに		確認テスト			
第8章・第9章、「世紀末」と言われた時代を経て、20世紀へ。ハーディの運命悲劇的小説やワイルドの怪奇小説と軽妙洒落な喜劇。エリオットの詩「荒地」とジョイスの小説『ユリシーズ』はそれぞれのジャンルでのランドマーク。演劇は世の不条理を扱う不条理劇流行。最後に、教科書に引用のない、興味深い小説、「ゴシック小説」「推理小説」「ファンタジー小説」について触れる。					
成績評価方法	各講の課題状況(40%)と単位修得試験の結果(60%)により評価する。				
教科書	著書 『はじめて学ぶイギリス文学史』 著者 神山妙子 編著 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2011年1月30日 初版 ISBN 9784623018734				
参考書(任意購入)	『たのしく読めるイギリス文学』、中村邦夫ほか、ミネルヴァ書房、2,940円(税込)、1994年 『要説 イギリス文学史』、佐瀬順夫、英宝社、2,205円(税込)、1987年 『イギリス小説入門』、川口喬一、研究社、1,950円(税込)、1989年 『英詩鑑賞入門』、新井明、研究社				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	茶道の心得	担当教員	千 宗守
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格				資格名
	実施方法				
	試験会場	—			

学習目標		
学習の進め方		
学習内容	概 要	課 題
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 現在内容は未定です。詳細が決まり次第、el-Campusにて、お知らせいたします。 </div>	
成績評価方法		
教科書		
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	マンガ文化論		担当教員	佐藤 晴美 谷村 要 倉田 芳美 石原 基久 平井 りゅうじ 山田 典昭 山森 宙史	
レベルナンバー	100	単位数	2				
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		資格名		
単位修得試験	受験資格	全授業へ出席					
	実施方法	レポート及び実習成果物					
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)					

学習目標	日本では身近な存在である「マンガ」についてその歴史、現在の状況、制作について発想から表現技法、出版編集などマンガ、アニメーションを幅広く学ぶ。					
学習の進め方	講義と実演による実習					
学習内容	概 要					課 題
	第1回 マンガ概論1	マンガとは、基本事項。マンガとはどういうものであるか、その定義。				
	第2回 マンガ概論2	マンガとは、進化と発展。過去から現在・未来へ。				レポート
	第3回 マンガ表現1	マンガの制作現場より。マンガができるまでその制作工程。				
	第4回 マンガ表現2	マンガの多様な表現方法。マンガ表現、作画体験。				
	第5回 マンガ概論3	日本のサブカルチャーその文化的意味。				
	第6回 マンガ概論4	マンガとアニメーション。マンガ・原作とアニメーション脚本I				
	第7回 マンガ概論5	マンガとアニメーション。マンガ・原作とアニメーション脚本II				レポート
	第8回 マンガ表現3	マンガにおけるデフォルメの考え方とその表現意味。作画体験。				
	第9回 マンガ概論6	「文化」と「サブカルチャー」I				
	第10回 マンガ概論7	「文化」と「サブカルチャー」II マンガ分析。				レポート1
	第11回 マンガ概論8	メディア・コミュニケーションI 出版メディア。				
	第12回 マンガ概論9	メディア・コミュニケーションII コミックスのメディア史。				レポート
	第13回 マンガ表現4	マンガにおけるストーリー展開と構成。				
	第14回 マンガ表現5	マンガ制作現場より、マンガ制作体験。				
	第15回 まとめ	マンガ制作現場より、マンガ制作体験。まとめ、マンガの現状と可能性についてレポート。				レポート2
成績評価方法	レポート(60%)、実習成果物(40%)					
教科書	著書： 著者： 出版社： 出版年度： 年 版 ISBN：					
参考書(任意購入)	必要があれば授業内にて紹介					
必須ソフト・ツール	—					
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義 40名					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	ジャパノロジー入門	担当教員	ウィリアム・リード
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	

学習目標	世界で日本語を学ぶ人の数が年々増加の一途をたどり、2006年には300万人を超えました。日本人にとって、日本の文化や伝統は、空気のように当たり前 に存在していて、その素晴らしさを忘れがちです。その道を極めている人の話を聞くことで、日本の文化や伝統の素晴らしさを再認識し、自分の生活に 取り入れるきっかけにすることを目標とします。
学習の 進め方	当たり前と思っていることや、すでに知っていると思っていることも、その道を極めている人の視点や発想で見直すと新鮮な発見や気づきが生まれます。 それを自分の生活や生き方に向きかしていかうのかという視点で聞いていくと、実学としてのジャパノロジーを学ぶことができます。

	概 要	課 題
学習内容	オリエンテーション 外国人からみた日本文化の魅力について	
	第1回 Le Japon 「写真を通じてもう一つの日本の魅力に出会う」 我々が毎日みているはずの日常の風景が、日本を愛するフランス人のカメラマン、デビッド・ミショーの手にかかると、 思いがけない表情を見せます。彼が切り取ったひとコマひとコマを通じて、もう一つの「日本」に出会いましょう。	確認テスト
	第2回 キャレモジ「インテリアアートとしての書の魅力」 書は、書く人の心をうつし出す鏡であると同時に、見る人の心の余白を膨らませるものでもあります。インテリアア ートとして書に新たな舞台を与えたキャレ文字の書家として活躍している清水恵氏に、その魅力を伺います。	確認テスト
	第3回 ナンバ「心も身体も気持ちいい！疲れを知らないナンバ式元気生活」 「ナンバは感性だ。ナンバは対話だ。ナンバは自由だ。」こう語るのは、ナンバの第一人者である矢野龍彦氏です。着物を 着て、草履や下駄をはきながら、日常生活をしていた日本人が生み出した日本独特な動きであるナンバを、ストレス一杯 の現代の生活に無理なく活かす方法を伺います。	確認テスト
	第4回 マンガ「現代におけるマンガが果たす新たな役割」 フランスで昨年行われたジャパン・エキスポの入場者数は、16万人を超えました。来場者の多くの関心を集めたのは、日 本のアニメやマンガで、日本に興味を持ったきっかけになっている外国人も多い今日この頃です。日本文化を語る時に、 伝統文化と共に欠かせない存在となっていると同時に、ビジネスや教育の理解を深める上でも新しい役割をになっています。 現代におけるマンガが果たす役割について、アドマンガの岡崎充氏に伺います。	確認テスト
	第5回 江戸しぐさ「江戸しぐさに学ぶ、異文化と共生する知恵」 江戸時代は、世界の歴史においても、希に見るほど内乱のない平和な時代が長く続きました。その平和で安心な世の中を つくり、支えるのに貢献したのが、「江戸しぐさ」に見られるような異文化と共生する思いやりの知恵だと考えると、スト レスや争いごとの多い現代こそ学ぶべき点が多いのではないでしょうか。「江戸しぐさ語り部の会」を主催している越川 禮子氏に伺います。	確認テスト
	第6回 道「道を極める」 茶道、華道、書道、そして武道。日本の伝統文化を考える時、終わることなく磨き続ける「道」になるまで昇華させる日 本人の特質は、他に類を見ないものです。合気道の創始者、故植芝盛平翁の直弟子でもあり、半世紀以上もの間合気道を 極め続けている丸山維敏氏にその魅力と真髓について伺います。	確認テスト
	第7回 日本語「日本語の面白さに気づく」 言葉と文化は密接な関係があります。日本語を英語に翻訳するとき、伝えきれないニュアンスやエッセンスは、日本独 自の文化に由来するものが多いです。そこを深掘すると、日本人の繊細な世界観や生き方、感じ方が、日本語を通じて見 えてきます。日本を愛し、日本語と40年近く関わって来たウィリアム・リード氏が日本語の奥深さと面白さについて語り ます。	確認テスト
成績評価 方 法	単位修得試験の結果（100％）から評価する。	
教科書	著書 「『縮み』志向の日本人」 著者 李御寧 出版社 講談社文庫 出版年度 2010年12月6日 ISBN 9784061598164	
参考書 (任意購入)	授業内で案内する。	
必須ソフト・ ツール		
備 考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	物理学概論	担当教員	庭瀬 敬右
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	物理学は物に関する考え方を教えてくれる学問です。飛行機や携帯電話などの人が創り出したものは、物理学の発展に依るところが大きいものです。現代社会は物理を基礎とした科学技術の上に成り立っていますが、多くの人は物理の学習を無味乾燥に感じてしまうようです。これは、物理現象に対してのイメージを持って学習を行っているところに原因があるようです。この授業では、図解を特徴とした教科書を用いて、物理学の発展の歴史から、ニュートン力学や熱力学、波動、電磁気学、そして相対性理論に関しての教養レベルでの基礎知識を獲得することを目標としています。					
学習の進め方	本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントは小テストを行うことによって確認できるようになっています。補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。					
学習内容	概 要			課 題		
	第1章 物理学のはじまり	物理学は、様々な星の動きを説明することで発展しました。古代ギリシャで地球を中心に天体が動くと考えた天動説は、以後千数百年にわたり信じられました。中世に太陽のまわりを地球が運動するという地動説に大転換しました。精密な天体観測の解析結果をもとに、ニュートンは万有引力の法則を見いだしました。ここでは、物理学誕生の歴史とその探求の過程について学習します。			小テスト	
	第2章 ニュートン力学	物体の運動に関する基本的な法則であるニュートン力学を学習します。ニュートン力学の確立によって、人類は月に行って、帰ってくるまでになりました。物体を動かす力に関する考察やガリレオの自由落下の考察、そして物体の運動の基本法則である、ニュートンの運動の3法則を学習します。また、衝突現象に関係する運動量保存則やエネルギー保存則を学習します。			小テスト	
	第3章 熱力学	水が凍ったり、沸騰したり、冷房や暖房など、身のまわりには熱的現象がたくさんあります。熱力学は、熱と温度の違いを理解することで発展してきました。物質への熱の流入によって、物質は、固体、液体、気体の状態へと変化します。熱の伝わり方も物質によって違いがあります。気体は温度や圧力の変化に対して大きな変化が現れます。ここでは、熱力学の基本法則から熱エネルギーの利用までを学習します。			小テスト	
	第4章 波動	海辺の波と同様に音や光も波の性質をもっています。波は、重なり合って強めあったり弱めあったりする独特の性質があります。救急車が近づくとときと遠ざかるときで音の高さが変化することも波の性質に起因しています。空の青さや虹の七色も波の性質です。地震も波として地中を伝わります。ここでは、これらの現象を記述する波の基本法則について学習します。			小テスト	
	第5章 電磁気学	私たちの身のまわりには、電気製品や通信機器など電気や磁気に関係したもので溢れています。モーターや発電機は、電気や磁気の性質を明らかにすることによって作られました。電気や磁気では空間を通して力が伝わり、その連携によって電磁波として伝わります。電磁波は、テレビやラジオの電波として使われています。このような電磁気学の基本法則を学習します。			小テスト	
	第6章 相対性理論	時間は過去から未来に誰にも等しく進んでいくような絶対的空間が存在していると私たちは考えがちです。しかしながら、マイケルソンとモーリーの実験によって絶対空間は確認できませんでした。アインシュタインは、この実験事実を説明するために相対性理論を構築しました。この理論では、物体の動きが光の速度に近づくと時間と空間が結び付いた時空での考えが必要となることが示されました。ここでは、相対性理論の基礎的な内容を学習します。			小テスト	
成績評価方法	単位修得試験の結果（100％）により評価する。					
教科書	著書 『図解雑学 物理のしくみ』 著者 井田屋文夫 出版社 ナツメ社					
参考書 (任意購入)						
必須ソフト・ツール						
備考						

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	宇宙科学	担当教員	山田 義弘
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	教科書とデジタル教材から「宇宙科学」全般を学ぶことにより、宇宙の過去・現在・未来を理解する。				
学習の進め方	教科書とデジタル教材を活用します。「太陽系」、「恒星」、「銀河」、「宇宙論」、「宇宙開発」を学習しますが、天体の概説、宇宙論の基礎、宇宙開発の諸分野で、理解の難しい現象や概念は、デジタル教材で数式を使わないで説明しますから、容易に理解できると思われます。				
学習内容	概 要				課 題
	第1回 オリエンテーション	「宇宙科学」の概要説明 各自が掲示板に感想を掲載する			ディスカッション
	第2回 太陽系	★約46億年前、太陽を中心とする太陽系ができた。太陽系には8個の惑星（水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星）が太陽の周りを回り、160個以上の衛星が惑星の周りを回っていることを理解する。 ★小惑星は火星軌道と木星軌道の間の小惑星帯に集中している。 軌道が確定した小惑星の数は、約50万個（2011年12月現在）ある。 また“ほうき星”とも呼ばれる彗星も小惑星と同様に太陽系の一員であることを理解する。			確認テスト
	第3回 恒星	★1年間の星の動きを追うと見える星の位置は変わる。地球が太陽の周りを公転しているからだ。太陽が天球上を通る道を黄道と呼ぶ。星占いでも使われる“黄道12星座”とか全天に88星座があることなどを理解する。 ★人に誕生と死があるように、夜空に輝く恒星にも誕生と死がある。太陽の誕生も別の恒星の死がきっかけだった。星々の生と死は連綿とつながっている。恒星の一生とは、いったいどのようなものかを理解する。			確認テスト
	第4回 銀河	★私たちがいる銀河を「銀河系」と呼ぶ。銀河系は直径10万光年（1光年は光が1年間に進む距離）、数本の腕をもつ渦巻状の銀河だと考えられている。その中で私たちの太陽系はどのような位置にあるのかを理解する。 ★現在、最も遠くの銀河をとらえたのは、日本の“すばる望遠鏡”（国立天文台ハワイ観測所の口径8.2m 反射望遠鏡）だ。2003年3月、約128億年前の銀河をとらえることに成功した。遠い銀河について理解する。			レポート
	第5回 宇宙論	★宇宙が膨張していることを発見したのは、エドウィン・ハッブル。それまで宇宙は大きさの変化しない定常宇宙という考え方が主流だった。ハッブルによって、宇宙は膨張し進化することが明らかになったことを理解する。 ★宇宙の終わりはいったいどうなるのだろうか。50億年後には、太陽の膨張によって地球は太陽に飲み込まれる。宇宙はお構いなく膨張を続ける。現在の宇宙は加速膨張しているとさえいわれていることを理解する。			レポート
	第6回 宇宙開発	★宇宙に思いを馳せ、その謎を一步一步解き明かしてきた無数の科学者がいるのと同じように、宇宙へ行きたいという夢が人を突き動かし、その夢と技術がリレーされて宇宙開発が進められてきたことを理解する。 ★日本の宇宙開発は、全長23cmの「ペンシルロケット」から始まった。いま日本の宇宙開発は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）が担い、世界でもトップクラスの宇宙開発と宇宙探査を目指していることを把握する。			レポート
成績評価方法	確認テスト（50%）、単位修得試験（50%）より総合評価する。				
教科書	著書 『宇宙のしくみ』 著者 渡部潤一（監修）、坂元志歩（執筆・編集） 出版社 新星出版社 出版年度 2010年6月15日 ISBN 9784405106512				
参考書（任意購入）	『宇宙のふしぎ』、渡部潤一著、ソフトバンク クリエイティブ、1,000円（税込）、2009年 『宇宙の物語』、藤井 旭著、PHP 研究所、2,625円（税込）、2009年 『宇宙論の飽くなき野望』、佐藤勝彦著、技術評論社、1,659円（税込）、2008年				
必須ソフト・ツール					
備考	天文台の大型望遠鏡で月面、惑星、星雲・星団を見たい人が多ければ、兵庫県内の天文施設で1泊2日の観測体験ツアー（実費）を実施したい。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	生物学概論	担当教員	樋口 文嗣
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標 さまざまな生命現象について基礎的な知識を学習し、我々の生活との関連について理解を深める。高等学校で「生物」を学習する機会が無かった方々を主なターゲットとして、興味を持ち、理解できる様に講義を展開したい。この講義によって、我々の生活の様々な断面において出会う、生物（ヒトを含めて）に対して楽しみをもって、様々な問題を解決する能力を養うことを目指す。

学習の進め方 教科書として武村政春著『一般生物学』と数研出版の『生物図録』を使用するが、授業構成は教科書通りではないので、参考書として利用下さい。不明な用語などは『生物図録』の索引から探し出して、必要な用語及びその周辺の学習をされることをお勧め致します。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 細胞と進化 細胞の構造と働き、細胞の進化、生物の進化	確認テスト
	第2回 代謝 光合成、呼吸、酵素	確認テスト
	第3回 恒常性の維持 自律神経とホルモン、体液と循環、肝臓・腎臓の働き	確認テスト、前半のまとめ
	第4回 生殖と発生 細胞分裂、生殖の方法、動物の初期発生	確認テスト
	第5回 遺伝と変異 遺伝のしくみ、様々な遺伝現象、分子遺伝、突然変異	確認テスト
	第6回 免疫 老化、ウイルス、免疫	確認テスト

成績評価方法 単位修得試験のみを評価対象とします。(100%) 単位認定は60%以上の得点とします。

教科書
 著書 『人間のための「一般生物学」』
 著者 武村政春
 出版社 裳華房
 出版年度 2010年3月10日 3版
 ISBN 9784785352141
 著書 『フォトサイエンス「生物図録」』
 著者 鈴木孝仁監修
 出版社 数研出版
 出版年度 2011年4月10日
 ISBN 9784410281433

参考書 (任意購入)

必須ソフト・ツール

備考

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スターリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	化学概論	担当教員	岡本 摩耶
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	この科目で習得した化学の知識によって、日常生活における化学の役割を理解できるようになる。 身のまわりに存在する化学物質について正しい知識を得ることで、健康や環境を害する危険性の少ない生活を送る「賢い消費者」になることができる。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 食の化学 フグはなぜ自分の毒で死なないのか？握り寿司は化学の宝庫だった!? 食生活における化学の役割について学習する。	確認テスト
	第2回 環境の化学 環境にやさしい農薬とは？空から「鬼」が降ってくる!? 私たちの身近な環境における化学の役割について学習する。	確認テスト
	第3回 化学の不思議 焦げ付きにくいフライパンとは？悪臭を消す魔法とは？ 私たちの身の回りに存在する便利な製品に使われている化学物質や技術について学習する。	確認テスト
	第4回 魔法の化学 微生物が食べるプラスチックとは？味覚を変える魔法の物質!? 私たちの生活の中に存在する不思議な物質や現象に隠された化学の秘密を探る。	確認テスト
	第5回 健康と薬の科学 DHA を食べると頭がよくなる!?上手なお酒の飲み方とは？ 私たちの健康に関与する化学物質やメカニズムについて学習する。	確認テスト
	第6回 生物の不思議なしくみ 植物の色や香りの仕組みとは？ゲノムってなんだろう？ 生命誕生と進化、子孫を残すための工夫など生物の不思議について学習する。	確認テスト
成績評価方法	各回の課題（30%）と単位修得試験（70%）による総合評価	
教科書	著書 「マスコミに見る化学」 著者 津波古充朝、小山淳子、上地真一 出版社 廣川書店 出版年度 2003年9月20日 ISBN 9784567203005	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：教養の理解	授業科目名	数学	担当教員	花島 健吾
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	現代社会のビジネスにおける「数学」の活用を知る。また、実務や実生活で「数学」を使いこなせるようになることを目標にする。				
学習の進め方	教科書に沿ったデジタル教材を主として学習を進めます。教科書の該当箇所を読んでからデジタル教材を閲覧して下さい。なお、数学に自信がない人、長い間遠ざかっている人、数学アレルギーの方も無理なく楽しく学習できるカリキュラムになっています。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 微分積分				
	1-1 関数とは？ 関数とは何か？グラフの読み方は？など、数学を学習する上での基本事項をおさらいする。				
	1-2 微分 「微分」の意味を理解し、株価変動の分析などの実生活での実用例を考察する。			確認テスト	
	1-3 積分 「積分」の意味を理解し、v-t グラフなど実生活での実用例を考察する。				
	第2章 確率				
2-1 確率とは？ 確率の基本的な考え方を学ぶ。					
2-2 条件付き確率 誤解しやすい条件付き確率を、トランプゲームを用いて考察する。			確認テスト		
2-3 期待値 期待値の基本的な考え方を理解し、実生活での活用を目指す。主に丁半・ルーレット・競馬などのギャンブルを例にとり研究する。					
第3章 PERT/CPM					
3-1 PERT 代表的なスケジュール管理法である PERT の基本をマスターする。			確認テスト		
3-2 CPM PERT をさらに発展させた、積極的な納期・コスト管理のフレームワークを習得します。					
第4章 ゲーム理論					
4-0 ゲーム理論とは？ 近年、ビジネス界で脚光を浴びているゲーム理論とは何か？を考察する。					
4-1 同時ゲーム 出店競争の事例を用いて、同時ゲームの解き方をマスターする。			確認テスト		
4-2 事例研究 「囚人のジレンマ」「コミットメント」などをテーマに発展的な同時ゲームの事例研究をします。					
4-3 交互ゲーム 出店競争のビジネス事例を用いて、交互ゲームの解き方をマスターする。					
第5章 線形代数					
5-0 線形代数の基礎 線形代数の基本的な考え方をマスターする。			確認テスト		
5-1 行列式 行列式の仕組みについて学習する。					
5-2 行列式 行列式の計算方法を習得する。					
成績評価方法	単位修得試験 (100%) により総合評価する。				
教科書	著書 『ラストリゾート数学』 著者 花島健吾 出版社 ジャあそれで堂 出版年度 2011年6月10日 1版				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	社会を考える	担当教員	坂本 真司
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 グローバリゼーションという言葉が使われるようになって久しいが、それがどのようなものであり、私たちの日常生活において、どのような形で見出し、理解することができるか。また、それにどのように対応すべきか。これらの問いに対して、若者文化と労働の世界をとおして具体的に検討しながら、グローバリゼーションの意味するところを適切に理解することが、ここでの目的となる。

学習の進め方 授業は、下記教科書の本文の解説をする形で進行する。解説は、登場するキーワードの解説、本文文章の各所に対する解釈の提示が主となる。基本的には、なるべく文献本文の構成に沿う形で解説をおこなうが、必要とあれば、順番を変え「あっち行き、こっち行き」することもある。適宜参考資料をファイルほかでアップする。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 現代文化におけるグローバリゼーション/ローカリゼーションのねじれ 本講義の狙い、内容、進め方に関する概要を述べた後、講義全体のあらましをつかむ。	クイズ
	第2回 重層モラルコンフリクト テキスト全体を理解するためのキーワードのひとつ、「重層モラルコンフリクト」の概念を検討する。	クイズ
	第3回 オルトエリート 重層モラルコンフリクトの主体である「オルトエリート」の概念を検討する。	クイズ
	第4回 現代東アジア社会における重層モラルコンフリクトとオルトエリート 日本、中国、韓国の3カ国の場合を検討しながら、「重層モラルコンフリクト」と「オルトエリート」がどの程度現実を説明できているのかを吟味する。	クイズ
	第5回 ファッションとグローバリゼーション ジーンズの世界的普及の歴史を素材にして、ファッションの世界における文化のグローバリゼーションの実像、すなわちファッション界での重層モラルコンフリクトの存在を検討する。	クイズ
	第6回 趣味とグローバリゼーション 趣味の世界における文化のグローバリゼーションのありようを検討する。	クイズ
	第7回 趣味とオルトエリート 趣味をめぐるオルトエリートの存在や、それが現代社会に与えた影響に関して考える。	クイズ
	第8回 前半のまとめ 講義前半部分の要点整理をして、後半の学習の準備をする。	クイズ、 前半のまとめ
	第9回 パンクロックにみる重層モラルコンフリクトの実態 韓国でのパンクロックバンドの活動の変遷を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第10回 日本のラップ文化にみる文化のローカル化 日本におけるラップ音楽の普及過程を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第11回 経済のグローバリゼーションと地域小売業 日本における昨今の小売業の構造転換を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第12回 バイク便にみる労働世界の文化のローカライゼーション 日本におけるバイク便文化を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第13回 フィフティーズ・ファッションのローカライズ化とローカル化 日本におけるフィフティーズ・ファッションの受容の歴史を素材にして、「重層モラルコンフリクト」モデルへの理解を深める。	クイズ
	第14回 全体のまとめ 講義後半部分の要点整理をして、重層モラルコンフリクトやオルトエリートといったキーワードが、文化のグローバリゼーションの実態をどの程度論理的に説明できているのかを確認する。	クイズ

成績評価方法 各授業でのクイズの結果 (14%)、前半のまとめの結果 (36%)、単位修得試験の結果 (50%) により総合評価する。

教科書 著書 『グローバリゼーションと文化変容—音楽、ファッション、労働からみる世界—』
著者 遠藤薫編
出版社 世界思想社
出版年度 2010年4月30日
ISBN 9784790712374

参考書(任意購入) 適宜紹介する。

必須ソフト・ツール

備考 身近な具体例を多く盛り込んでおり、読みやすい本といえる。自身の日常生活に照らして中身を吟味し、そのいわんとすることを適切に理解することを期待する。

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	社会を知る	担当教員	坂本 真司
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 現代社会の社会問題をめぐって考察をする。対象となる社会問題とは、主に環境問題と貧困問題である。これらの2つの問題の具体的な内実、その背景と、それらの克服の道筋について考察する。ここでとりわけしっかり取り組んでみたいのは、問題の克服の道筋である。どうやって問題を乗り越えられるかを考えていきたい。

学習の進め方 授業は、下記教科書の本文の解説をする形で進行する。解説は、登場するキーワードの解説、本文文章の各所に対する解釈の提示が主となる。基本的には、なるべく文献本文の構成に沿う形で解説をおこなうが、必要とあれば、順番を変え「あっち行き、こっち行き」することもある。適宜参考資料をファイルほかでアップする。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 ゆたかな社会 本講義の狙い、内容、進め方に関する概要を述べた後、講義全体のあらましをつかむ。	クイズ
	第2回 情報化と消費社会 消費社会は「シンボル」消費の社会である。この点を「情報化」なるキーワードを用いて考察する。	クイズ
	第3回 消費社会と資本主義 消費社会は、資本主義という契機をもって進行している。現代社会と資本主義の関係について考察する。	クイズ
	第4回 『沈黙の春』と水俣病 R・カーソンの『沈黙の春』を検討して、現代社会における環境問題の具体的なありようを把握する。	クイズ
	第5回 成長の限界 ローマクラブの『成長の限界』を参考にしながら、現代社会の資源問題の内実を把握する。	クイズ
	第6回 南の貧困 開発途上国における貧困問題を取り上げる。先進国との関係をもとに、貧困問題の本質を考察する手がかりを得よう努める。	クイズ
	第7回 飢饉と飢餓輸出 開発途上国の大規模な飢饉、すなわち貧困問題が起こる背景について、先進国との関係をもとに検討する。そうして、貧困問題の本質がどこにあるのかを考察する。	クイズ
	第8回 北の貧困 先進国内部にみられる貧困問題の実態について、いわゆる「格差社会」の観点も交えて考察する。	クイズ、 前半のまとめ
	第9回 消費と消尽 消費社会と呼ばれる現代社会において、消費という概念はどのような内実をもっているか。今一度振り返って、消費概念がもつ論理的な構造を検討する。	クイズ
	第10回 生の充溢と消費 G・バタイユの議論を検討して、彼が示す消費の概念について考察する。	クイズ
	第11回 消費の概念と社会問題 消費社会と社会問題の関連性について、J・ボードリヤールの消費の概念と、G・バタイユが示すそれを用いて検討をする。	クイズ
	第12回 『方法としての消費社会』の可能性 問題克服の構想とされる「方法としての消費社会」の可能性を探る。	クイズ
	第13回 方法としての情報化 情報ならびに情報化の概念の再検討を経て、「方法としての消費社会」の方向性をつかむための知識を獲得する。	クイズ
	第14回 情報化/消費化社会の転回 最終的な検討作業を加えて、「方法としての消費社会」の方向性を把握する。	クイズ
	第15回 各回の要点整理 講義全体を振りかえり、要点整理をおこなう。	クイズ
成績評価方法	各授業でのクイズの結果 (14%)、前半のまとめの結果 (36%)、単位修得試験の結果 (50%) により総合評価する。	
教科書	著書 『現代社会の理論—情報化・消費化社会の現在と未来—』 著者 見田宗介 出版社 岩波書店 (岩波新書) 出版年度 2011年4月5日 ISBN 9784004304654	
参考書 (任意購入)	適宜紹介する。	
必須ソフト・ツール		
備考	難しい本であるが、面白い本である。最後まで意欲的に読み進める姿勢を期待する。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等にご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	現代の社会	担当教員	坂本 真司
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	「消費」というありふれた営みから社会の流れを看取り、当の流れがどのようなものであるかを適切に説明しようとする意欲を養う。				
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進める。 各回の学習の最後には課題がある。課題を終わらせてから、次の回に進むこと。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 20世紀の消費社会論	本講義の狙い、内容、授業の進め方に関して概要を説明する。併せて、前半授業の内容のあらましを述べる。			レポート
	第2回 記号的消費と消費の多様化/個性化	消費社会論のアプローチの中から、「記号的消費」論と「多様化/個性化」論について、詳しく検討する。			レポート
	第3回 プロシューマーとゆとり消費	消費社会論のアプローチの中から、「プロシューマー」論と「ゆとり消費」論について、詳しく検討する。			レポート
	第4回 社会的消費と文化の消費	消費社会論のアプローチの中から、「高度社会的消費」論と「文化消費」論について、詳しく検討する。			レポート
	第5回 情報消費	消費社会論のアプローチの中から、「情報消費」論について、詳しく検討する。			レポート
	第6回 駄菓子屋消費文化と下流社会	消費社会論のアプローチの中から、「駄菓子屋消費文化」論について、詳しく検討する。			レポート
	第7回 前半のまとめ	教科書前半部分（第Ⅰ部全般）の内容を簡単に振り返り、要点整理をする。			レポート
	第8回 脱物質主義	後半部分での議論のキーワードである「脱物質主義」の中身を把握する。			レポート
	第9回 衣食住における脱物質主義	衣食住における脱物質主義の具体的様相を探る。			レポート
	第10回 レジャーにおける脱物質主義	レジャーにおける脱物質主義の具体的様相を探る。			レポート
	第11回 消費における自然志向	消費と環境の関係という観点から、脱物質主義の現状と可能性を探る。			レポート
	第12回 現代社会における消費と身体の関係	身体という観点を用いて、消費における脱物質主義の現状と可能性を探る。			レポート
	第13回 「こころの時代」における消費	精神という観点を用いて、消費における脱物質主義の現状と可能性を探る。			レポート
	第14回 講義のまとめ	主に教科書後半部分（第Ⅱ部全般）の要点整理をすることで、本講義のまとめの作業をする。			レポート
成績評価方法	授業各回での課題（各回3点×全14回＝42点）と単位修得試験（58点満点）の結果により総合的に評価する。				
教科書	著書 『消費社会のゆくえ 記号消費と脱物質主義』 著者 間々田孝夫 出版社 友斐閣 出版年度 2005年12月20日 1版 ISBN 9784641173156				
参考書(任意購入)	特に指定しない。授業にて関連する文献を紹介するが、学習は任意とする。				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	現代社会と文化	担当教員	谷村 要
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	現代社会の特徴とは何か？端的に説明できる。 戦後日本社会の変遷を踏まえて現在の日本社会で見られる「文化」を捉えることができる。 現代社会の様々な問題について、把握することができるようになる。さらにその処方箋について提示できるようになる。				
学習の進め方	「現代社会と文化」を捉える上で特に重要な用語について、まず学んでいきます。 さらに、戦後日本社会の様々な文化の局面をおさえた上で、近年の日本社会に起こっている諸問題について捉えていくことになります。 各回の最後には確認テストがありますので、それを終えてから次の回へと進むようにしてください。				
学習内容	概 要	課 題			
	第1回 「現代社会」の特徴とは	現代社会の特徴である「流動性」と「非対面接触」について説明する。 具体的にその意味をとらえていくことが学習目標となる。			確認テスト
	第2回 流動化する社会	「後期近代」「リキッド・モダニティ」「脱埋め込み化」といった現代社会を読み解く上で重要な用語について説明する。 その上で、「後期近代社会」における流動性がもたらすものをとらえることが学習目標となる。			確認テスト
	第3回 「非対面接触」の社会的影響	さまざまな「メディア」の定義とその機能について説明する。 現代社会におけるメディアの大きさの役割を具体的に捉えることが学習目標となる。			確認テスト
	第4回 「文化」と「サブカルチャー」	「文化」の定義を把握したうえで、「サブカルチャー」の位置づけについて簡単に説明する。また、日本社会において「サブカルチャー」がどのように捉えられているかも解説する。 今後取り扱うサブカルチャーに関する議論を抑える基礎知識を身につけることが学習目標となる。			確認テスト
	第5回 戦後日本社会の変遷	戦後日本社会がどのように進展して現在に至るのか、概観を解説する。 現代の社会において一つの価値判断の基準としても機能している「新自由主義」について、説明できるようになることが学習目標となる。			確認テスト
	第6回 戦後家族の変遷	戦後の「家庭」の特徴について、家の中のメディアとの関係なども踏まえて解説する。 上記の内容を踏まえて、近年の家族意識の特徴について、説明できるようになることが学習目標となる。			確認テスト
	第7回 戦後における若者の自己実現の変遷	連合赤軍事件によって「政治の季節」が終焉した後、若者たちのアイデンティティの源となるものが「消費」へ、さらに「つながり」へと変容していったことについて解説する。 現代社会の「自己実現」の対象とは何かを、歴史的経緯を踏まえて説明できることが学習目標となる。			確認テスト
	第8回 戦後サブカルチャーの変遷	日本のサブカルチャー（「～族」、「～系」）について概観していく。 戦後サブカルチャーの変遷から、日本のサブカルチャーの特徴を説明できるようになることが学習目標となる。			確認テスト
	第9回 監視社会化	監視カメラが街のさまざまな場所に設置され、我々はむしろそれを望んで受け入れている。このような監視はなぜ行われるのか？（あるいは、必要とされるのか？）について、現代社会の特徴を踏まえながら解説する。 「監視」の定義や、近年の意味変容、さらには監視社会に対してどのような批判が可能かを説明できることが学習目標となる。			確認テスト
	第10回 ファスト風土化	「ファスト風土」という用語の意味と、それが郊外にもたらしている影響、さらには、独特の「地域イメージ」構築を狙う地域の具体的事例についても解説する。この授業の内容を踏まえて、現代社会の地域の問題、さらにはそれを克服しようとする地域の取り組みの狙いや課題について説明できるようになることが学習目標となる。			確認テスト
	第11回 クリエイティブ至上主義化	「ソフトパワー」や「クリエイティブ産業」といった近年の文化政策に影響を与えている用語について解説し、クリエイティビティの重要性の増大と、それによる社会への影響を論じる。 クリエイティビティの重要性の増大は何をもたらしているか、説明できるようになることが学習目標となる。			確認テスト
	第12回 若者の保守化	近年の「若者の保守化」について、統計データから解説していき、その「保守化」を生んでいる日本の労働状況や労働から「疎外」された人々がとる考え方を捉えていく。 若者たちの今の生き方について把握することが学習目標となる。			確認テスト
	第13回 現代社会で生きるために	流動化する現代社会を生きる上で「コミュニティ」（ただし、その意味は従来のものと異なる）＝「ジモト」が望まれていることについて、理論や事例（「ゼロ年代の想像力」など）を用いて解説する。 現代社会を生きる力について考えるべき要点を指摘できることが学習目標となる。			確認テスト
成績評価方法	確認テスト（40%）と単位修得試験（60%）をあわせて評価する。				
教科書	著書 『カーニヴァル化する社会』 著者 鈴木謙介 出版社 講談社 出版年度 2011年2月4日 ISBN 9784061497887				
参考書(任意購入)	講義内で適宜指示するが、下記の文献は特に参考になる。 『サブカル・ニッポンの新自由主義—既得権益批判が若者を追い込む』、鈴木謙介、筑摩書房、777円（税込）、2008年 『ポスト戦後社会—シリーズ日本近現代史〈9〉』、吉見俊哉、岩波書店、819円（税込）、2009年 『族の系譜学 ユース・サブカルチャーの戦後史』、難波功士、青弓社、2,730円（税込）、2007年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	経済を知る	担当教員	川端 勇樹
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	「経済を知る」では、ミクロ経済およびマクロ経済を履修する前の段階にある皆さんに、経済学という学問への入門と、日本をはじめとする現実の経済を見る目を養うことを目的とします。この講義を通して、受講生の皆さんが、経済現象の意味を解釈し、問題の本質を理解するための枠組みについて学んでいきます。				
学習の進め方	本授業は、教科書を中心に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。各章の確認テストはel-Campusで実施します。成績評価は単位修得試験と第1章から第10章までの確認テストの結果による総合評価とするので、確認テストは必ず確認して受験してください。				
学習内容	概 要				課 題
	第1章 経済学とは何か？	世界・日本の経済、経済問題とは、経済学の対象			確認テスト
	第2章 GDP（国内総生産）を理解する	マクロの経済指標、三面等価、GDPの決まり方、名目・実質GDP、GDPが大きいことはよいことか			確認テスト
	第3章 景気の動きをつかむ	景気とは、日本の景気、景気変動、景気対策			確認テスト
	第4章 個人・家計の選択	消費の決定要因、効用最大化仮説、所得と価格の変化、消費と貯蓄の選択、貯蓄残高と資産運用			確認テスト
	第5章 企業の営み	企業・会社とは、企業の業績、設備投資・研究開発投資、雇用調整、生産・出荷・在庫・資金繰り、利潤最大化と株価最大化			確認テスト
	第6章 市場メカニズムの動き	市場均衡、消費者余剰・生産者余剰、資源配分の効率性、完全競争と独占・寡占、市場メカニズムの限界、市場メカニズムの貫徹と資本主義の多様性			確認テスト
	第7章 金融を理解する	貨幣の役割、金融の仕組み、資金循環と信用創造、日本銀行の3つの顔、金融政策と金融システムの安定、金融ビックバンと金融再生			確認テスト
	第8章 財政・社会保障を理解する	財政の3つの機能、予算の仕組み、歳出入の状況、財政投融资と地方財政、社会保障改革、財政構造改革			確認テスト
	第9章 経済の開放・グローバル化	貿易の利益、WTOとFTA、国際収支、ISバランス論と経済収支、為替レートの決まり方、国際金融システム			確認テスト
	第10章 残った話題	価格形成、経済学で説明できること・できないこと、日本経済のゆくえ			確認テスト
成績評価方法	各章の確認テストの結果（30%）、単位修得試験の結果（70%）により総合評価する。				
教科書	著書 『グラフィック経済学』 著者 浅子和美・石黒順子 出版社 新世社 出版年度 2011年2月10日 1版 ISBN 9784883841066				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	現代の経済	担当教員	大沼 穰
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	この授業は通信教育で学べる経済学の科目のうち、まとめや応用編の役割をめぐり、理論と現実の橋渡しをする「経済政策論」という内容です。経済理論はそれぞれの政策分野の現実に合わせてないと適用できません。具体的な事実を覚えるよりも、経済学的な発想そのものを学ぶのが最大の目標です。				
学習の進め方	本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用して下さい。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 経済政策の時代	対立する利害の中で納得性ある経済政策を実行するのは難しいものです。経済学は様々な具体的な経済政策を正当化する役割を持っています。第1章は経済政策を思想的に裏付けるキーワードを学んでゆきます。			レポート
	第2章 政府はなぜ必要か	政府があるのは当たり前のような気がしますが、経済学上は売り手買い手を越えて財政・金融政策を展開する不可欠な存在です。その政策の決定にまつわる問題を学びます。			レポート
	第3章 産業と企業を考える	現実には経済学に登場する「完全競争」はありえません。競争の勝者による独占・寡占が生じます。それを独占禁止法でどう規制するのか、なぜ規制してよいのか深く学びます。			レポート
	第4章 「市場の失敗」と公共政策を考える	電力・ガス・水道・郵便など公益事業はなぜ公共料金を取るのでしょうか。そしてその料金はどのように決められるのでしょうか。公益事業を中心に深く学びます。			レポート
	第5章 雇用問題を考える	「日本的雇用」は教科書刊行時点から大きく変化を遂げ、近年は非正社員の雇用不安定が問題化しています。当初の状態はどうだったかを中心に学びます。			レポート
	第6章 福祉政策を考える	年金と健康保険の仕組みと問題点を、政府・家族・市場の役割分担という視点から、そもそもの時代に戻って学んでゆきます。			レポート
	第7章 日米経済摩擦を考える	1990年代は日本の対米輸出による巨額の貿易黒字がアメリカ側から批判されていました。貿易黒字・赤字はなぜ問題になるのか、円高円安(ドル安ドル高)とはどう関連するのかを学びます。			レポート
	第8章 国際相互依存と貿易・通貨・金融	貿易交渉・通貨統合など各国は政策協調を進めてきました。2010年の国際経済の原型を少しさかのぼって探ってゆきます。			レポート
	第9章 「豊かさ」と経済政策	物質的な「豊かさ」はそれを支える社会資本のコストを高めがちです。我々は物質面のみで生きているわけではありませんが、真の豊かさのために経済政策ができることを学んでゆきます。			レポート
成績評価方法	9章分のレポート課題(72%)、単位修得試験(28%)により総合評価する。				
教科書	著書 『経済政策の考え方』 著者 河合正弘、武蔵武彦、八代尚宏 出版社 有斐閣 出版年度 2003年1月20日 初版 ISBN 9784641120020				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	単位修得試験は、推薦図書15冊(全て新書サイズ)から3冊を選択してレポートを作成することとする。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	政治を知る	担当教員	前田 春樹
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	教科書に選んだ「政治学の基礎」は、政治学を初めて学ぶ人のための基礎的なテキストであるが、政治学について重要な論点を網羅しており、体系的な政治学の知識を得るのに非常に役立つ文献である。	
学習の進め方	各章ごとに設定されたテーマをもとに、関連書籍や論文集をも熟読し、理解を深めるとともに課題により、政治学的な思想を身につけること。	
学習内容	概 要	課 題
	第1講 政治権力 [教科書] 第1章 政治権力 第2章 支配の正統性と政治的リーダーシップ ポイント：支配の正統性はどのようにして得られるかを理解する	ディスカッション
	第2講 イデオロギーと政治意識 [教科書] 第3章 イデオロギー 第4章 政治意識 ポイント：政治意識の今日的状況はどのようなものであるかを検討する	ディスカッション
	第3講 議会政治 [教科書] 第7章 議会政治 第8章 政治制度 第9章 政党 第10章 政党制 第11章 選挙制度 第12章 投票行動および政治資金 ポイント：議会政治の形骸化はなぜ生じるかを考察する	ディスカッション
	第4講 行政国家 [教科書] 第15章 現代の行政国家 第16章 官僚制 ポイント：現代日本における官僚制はどのようなものかを考察する	ディスカッション
成績評価方法	第1講から第4講までのディスカッションの参加状況（30%）と単位修得試験（70%）	
教科書	著書 「新版 政治学の基礎」 著者 加藤秀治郎 4名 出版社 一藝社 出版年度 2011年4月5日 1版 ISBN 9784901253246	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	NPO 概論	担当教員	前田 佐保
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	レスター・サラモンが「世界的非営利革命」と呼び、成長を続ける NPO。深化する地域および地球的規模の課題や、多様化する人々の価値観やニーズに効果的かつ効率的に対応できる、新たな「公共の担い手」として注目され、わが国でも1990年代以降、急速に台頭してきた。1995年の阪神・淡路大震災を契機としたボランティアや NPO への関心の高まりは、1998年の特定非営利活動促進法制定へと結実、着実に発展を遂げている。一方、新公益法人制度が2008年12月に施行され、NPO セクターは新たな段階へ突入した。 本授業では、最新の動向にも触れながら、NPO とは何か、ダイナミックに動いている NPO の世界を多角的に理解することをめざす。	
学習の進め方	本授業では、教科書を主教材として学習を進めます。学習を始める時にはオンデマンド教材で各回の学習概要を確認してから進めてください。また、参考資料・文献なども参照してください。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。前半と後半に2回ディスカッションを設けていますので、積極的に参加して議論を深めましょう。	
	概 要	
	課 題	
学習内容	第1回 NPO とは何か NPO の定義や概念、特徴、NPO 法人や公益法人などさまざまな非営利組織の法人制度を理解する。「NPO」という考え方に触れ、実は身近な存在である NPO を“発見”し、NPO の輪郭を掴むことをめざす。	小テスト ディスカッション
	第2回 NPO セクターの歴史、背景 NPO のルーツ、市民活動の変遷・発展の歴史を辿り、NPO セクターがなぜ台頭してきたのかを理解する。	小テスト
	第3回 NPO セクターの現状 国際比較も踏まえ、世界および日本の社会における NPO セクターの位置づけを学び、NPO 独自の存在意義・役割、課題や可能性について理解を深める。	小テスト
	第4回 NPO の活動 福祉、青少年、環境、まちづくり、国際交流・協力など多岐にわたる NPO の活動を知る。セクターの発展に重要な役割を果たす中間支援組織についても取り上げる。社会変革の触媒としての NPO の特徴を理解する。	小テスト
	第5回 NPO の組織、マネジメント 人・物・金などの経営資源を有効に活かしてミッションを達成するためには組織のマネジメントが重要である。固有の組織形態や意思決定構造などを踏まえた上で、NPO のマネジメントについて考える。NPO でのキャリア、ボランティア、資金調達、NPO 支援制度・施策についても触れる。	小テスト ディスカッション
	第6回 協働・連携 社会課題の解決に多セクターの連携は不可欠であり、従来その橋渡しを担ってきたのが NPO であるが、近年は CSR や協働の機運の高まりで企業や行政も NPO との連携を模索してきている。その現状や課題について考察する。	小テスト
	第7回 社会的企業/社会起業家の台頭 社会イノベーションの担い手として世界的に注目が集まる社会的企業/社会起業家の最新動向（ソーシャルファイナンス含む）について触れる。特にその台頭の背景と NPO の関係について概観する。	小テスト
	第8回 基盤整備の新しい動きと NPO の未来 発展に向けて NPO セクター内外でさまざまな基盤整備が進められている。世紀の改革といわれる新公益法人制度の概要や寄付税制、会計基準策定や評価など信頼性向上・アカウンタビリティへの NPO 側の自主的な動きにも触れながら、NPO セクターの今後を展望する。	小テスト
成績評価方法	小テスト (30%)、ディスカッション (30%)、単位修得試験 (40%) により総合評価する。	
教科書	著書 『テキストブック NPO～非営利組織の制度・活動・マネジメント』 著者 雨森孝悦 出版社 東洋経済新報社 出版年度 2010年2月18日 ISBN 9784492100196	
参考書(任意購入)	『NPO マネジメントハンドブック』、柏木宏著、明石書店、2,310円(税込)、2004年 『NPO ジャーナル』 vol.1～24、関西国際交流団体協議会編、明石書店、700円(税込)、2003～2009年 『ソーシャル・エンタープライズ』、谷本寛治編著、中央経済社、2,940円(税込)、2006年 『台頭する非営利セクター』、レスター・M・サラモン/H・K・アンハイアー著、ダイヤモンド社、2,446円(税込)、1996年 『NPO データブック』、山内直人編、有斐閣、3,150円(税込)、1999年 『NPO 入門<第2版>』、山内直人著、日本経済新聞出版社、872円(税込)、2004年	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	NPO/NGO 事例研究	担当教員	前田 佐保
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	出席状況 2/3以上の出席 ディスカッションへの参加、事例報告とファシリテーションの実施			資格名
	実施方法	レポート(与えられたテーマに基づいて作成したレポートを提出すること)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標 地域および地球的規模の課題解決に取り組むNPO/NGOの多様な活動について、先進的な事例の研究(ケーススタディ)を通じて考察を深める。どのようなビジョンや理念を掲げ、いかにマネジメント上の課題を克服しながら、組織と人の成長戦略を描き、社会的インパクトのある事業を生み出してきたのか、その成功と失敗・挫折から学ぶ。近年注目を集める社会的企業/社会起業家の事例にも焦点を当てる。本授業を通して、NPO/NGOや社会的企業の組織運営において重要な問題解決力、提案力、分析力などを培うことをめざす。

学習の進め方 NPO/NGOに関する基礎知識の習得のために、教科書で自宅学習しておくこと。授業では、個別の先進事例を取り上げ(適宜、AV教材も活用)、ディスカッション形式で理解を深めることを中心とする。また、受講生各自が関心をもった事例を報告し、ディスカッションをリード(ファシリテーション)する回も設けている。事例のリサーチにあたっては、シラバスに掲げた教科書や参考書、授業で紹介する情報などを参照して進めること。受講生には、多様な意見に耳を傾けながら、建設的に意見を述べ、積極的に議論に参加・貢献する姿勢が求められます。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 オリエンテーション 授業の概要やねらい、自己紹介、スケジュールなど	
	第2回 組織体としてのNPO/NGO 背景、社会的意義や役割、組織としての特徴、マネジメント上の課題、企業や行政との協働・連携、支援制度や政策など、最新動向も交えて概観する。	
	第3回 台頭する社会的企業/社会起業家 近年注目されてきた背景、定義(“現在進行形”の定義づけ)、従来のNPO/NGOとの違い、可能性と限界の検討(営利と非営利の間でのジレンマ)などを理解する。	
	第4回 事例研究① 環境問題に取り組むNPO/NGO	
	第5回 事例研究② 国際協力に取り組むNPO/NGO	
	第6回 受講生による事例報告① 受講生が選んだ事例の報告とディスカッションの進行	
	第7回 事例研究③ まちづくり・地域活性化に取り組むNPO/NGO	
	第8回 事例研究④ 福祉・医療に取り組むNPO/NGO	
	第9回 受講生による事例報告② 受講生が選んだ事例の報告とディスカッションの進行	
	第10回 事例研究⑤ 中間支援組織(人材、資金、情報、起業などにおける支援)	
	第11回 事例研究⑥ 企業や行政とのパートナーシップで取り組む	
	第12回 受講生による事例報告③ 受講生が選んだ事例の報告とディスカッションの進行	
	第13回 事例研究⑦ 組織開発、世代交代・事業継承問題に取り組む	
	第14回 事例研究⑧ NPOと企業の「組織ポートフォリオ」で取り組む	
	第15回 まとめ これまでの講義のふりかえり	

成績評価方法 出席状況(10%)、ディスカッション(30%)、事例報告とファシリテーション(30%)、単位修得試験(30%)により総合評価。

教科書 著書『テキストブック NPO 非営利組織の制度・活動・マネジメント』
著者 雨森孝悦
出版社 東洋経済新報社
出版年度 2012年6月14日 2版
ISBN 9784492100264

参考書(任意購入) [NPOジャーナル] 創刊号~24号、関西国際交流団体協議会、明石書店、700円(税込)、2003年~2009年
「好きなまちで仕事を創る: Address the Smile」ETIC編、TOブックス、1,260円(税込)、2007年
「ソーシャルビジネス・ケースブック: 地域に「つながり」と「広がり」を生み出すヒント」経済産業省、2011年
※公開URL http://www.meti.go.jp/policy/local_economy/sbcb/casebook.html
[[連続講義] 国際協力NGO: 市民社会に支えられるNGOへの構想] 今田克司・原田勝広編著、日本評論社、2,625円(税込)、2004年
[NPO実践講座: いかに組織を立ち上げるか] 山岡義典編著、ぎょうせい、2,000円(税込)、2002年
[NPOの新段階: 市民が変える社会のかたち] 末村祐子編著、法律文化社、1,890円(税込)、2007年

必須ソフトウェア

備考 受講者上限人数 グループワークを含む講義40名

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	NPO 法人の設立・運営事例研究	担当教員	岩山 仁
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	平常点(レポートなど)及び課題発表と提出			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	NPOとは何か。社会におけるNPOの役割とは何か。NPOとボランティアについての概念、社会における役割を考察し、社会における課題とNPOの具体的な活動を知ることによって、NPOについての理解を深め、その上で、社会において求められていること、自分にできることを考え、自らの具体的な活動をデザインし、実際の活動へ繋げて行くことを目標とします。				
学習の進め方	NPOの組織運営、活動に必要な基本的な事柄を学び、具体的な活動・運営事例を概観し、事業計画作成、NPOの設立に必要な知識を習得した上で、単なる知識で終わらせないように、社会の課題に対して取り組む具体的な活動をデザインし、実際に事業計画を作成していきます。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 NPOとボランティア	そもそもNPOとは何か？ボランティア活動とはどう違うのか？			
	第2回 NPOを必要とする社会	今なぜNPOが注目され、たくさんのNPOが設立されているのか？			
	第3回 NPOの社会的役割	現代社会において、NPOはどのような役割を期待されているのか？			
	第4回 社会における課題1	現在の社会においてどのような課題があり、解決を必要としているのか？ 具体的課題についての考察			
	第5回 社会における課題2	現在の社会においてどのような課題があり、解決を必要としているのか？ 具体的課題についての考察			
	第6回 NPO活動の構造分析	社会的使命をもってスタートしたはずの多くのNPOが、活動を続けていくことさえ困難な現状について			
	第7回 NPOをとりまく社会環境と社会起業家	人を幸せにしない社会環境を変革することを仕事とする「社会起業家」という生き方について			
	第8回 ソーシャル・マーケティングと事業計画	ソーシャル・マーケティングの基礎知識と事業計画の方法について			
	第9回 NPOの組織運営・具体例1	NPOの組織運営のポイントと具体的事例の研究			
	第10回 事業計画試案の作成と相互評価	具体的事例を参考に、受講生各自で事業計画の試案を作成し、相互評価を行う			
	第11回 NPOの組織運営・具体例2	さまざまな領域のNPOの組織運営の具体的事例の研究			
	第12回 NPOの組織運営・具体例3	さまざまな領域のNPOの組織運営の具体的事例の研究			
	第13回 事業計画作成演習	さまざまな領域のNPOの組織運営の具体的事例を参考に、事業計画を作成する			
	第14回 事業計画の発表	各受講生による事業計画の発表			
	第15回 NPO設立に関する知識	NPO設立に必要な知識の整理とまとめ			
成績評価方法	授業への積極的参加(15%)、課題提出(30%)、発表及び期末レポート(55%)により、総合的に評価。				
教科書	著書『NPOビジネスで起業する！』 著者 田中高輝 出版社 学陽書房 出版年度 2011年4月1日 ISBN 9784313550025				
参考書(任意購入)	『地宝論』、田中優、2011年、1575円 『非営利組織のマネジメント』、島田恒、東洋経済新報社、2009年、2520円 『田舎力』、金丸弘美、NHK出版生活人新書、2009年、735円 『日本を元気にするNPOのつくり方』、市村浩一郎、PHP研究所、2009年、1,470円				
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 グループワークを含む講義40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	自然環境論	担当教員	笠原 恵
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席(ただし、最終日は単位修得試験のため必ず出席すること。)			資格名
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	生物は常に自然環境の影響を受ける一方で、逆に自然環境へも影響を及ぼしています。この自然環境を形成している生態系に関する基礎的な内容を理解するとともに、自然環境に関する種々の問題等に興味を持ち、人間と自然環境のかかわりについて、自ら考えていく力を身に付けることを期待しています。				
学習の進め方	本授業は、大手前大学 さくら夙川キャンパスにて講義形式で行います。理解を深めるために映像資料等を利用して授業を進めます。スクーリング日程表を確認して、受講の申込みを行ってください。また、スクーリングへの参加前に教科書などで事前学習を進めておいてください。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 自然環境論とは	自然環境の概念と定義について学習します。			
	第2回 自然環境における生物の進化と多様性	生物の定義や生物界について、また、生物が多様性を持たなければならない必要性について学習します。			
	第3回 自然環境における生態系の構造と機能	自然環境を形成している生態系とは何か、その構造や機能について学習します。			
	第4回 自然環境における生態系の実例	陸域、水域、または、人工の生態系の実例を知ることにより、様々な生態系の存在について学習します。			
	第5回 自然環境における生態系内での生物のつながり	各生態系内での生物間の相互関係や食物連鎖などについて学習します。			
	第6回 自然環境におけるエネルギーの流れ	生態系において、生物により、どのようにエネルギーが固定され、利用されているのか、エネルギーの全体の流れについて学習します。			
	第7回 自然環境における物質の流れ	生態系における物質循環について学習します。			
	第8回 自然環境を左右する制限要因	生態系の状態に影響を及ぼす非生物学的要因について学習します。			
	第9回 自然環境における生態系の遷移と極相	時間とともに生態系はどのように変化するのかについて学習します。			
	第10回 地球上の自然環境	現在の地球上の自然環境について映像で学習します。			
	第11回 自然環境に与える人間活動の影響	人間による自然環境の変化について学習します。			
	第12回 環境要因の変動による生態系への影響	自然環境の変化による生態系の変化について学習します。			
	第13回 自然環境における生態系の保全	生態系の保全の意義、対象や目標について学習します。			
	第14回 自然環境と人間のかかわり	地球上の生物の多様性の保護について学習します。また、自然と人間のつながりについての新しい価値観を各自が確立することを望みます。			
	第15回 まとめ				
成績評価方法	単位修得試験の結果(100%)により評価する。				
教科書	著書 『環境生態学入門』 著者 青山 芳之 出版社 オーム社 出版年度 2010年2月20日 1版 ISBN 9784274205316				
参考書(任意購入)	『生態学入門』、日本生態学会編、東京化学同人、2,940円(税込)、2004年 『生態系のふしぎ』、児玉浩憲著、ソフトバンククリエイティブ社、1,050円(税込)、2009年 『地球からつくるあしたの地球環境』、本谷勲・滝川洋二・町井弘明・三輪主彦・山岡寛人編著、実教出版、880円(税込)、2008年				
必須ソフト・ツール					
備考	ニュースや新聞記事などを通して、「身のまわりでどのような自然環境問題が起きているか」ということについて目を向けておいて欲しい。 受講者上限人数 講義100名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	生命と環境	担当教員	潮田 嘉子
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	3/4以上の出席		資格名	
	実施方法	レポート			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標 地球において生命が誕生し、ヒトの出現に至るまでさまざまな環境に翻弄されてきたが、ヒトによる文明の発達、人間活動の拡大をグローバル化し、自然破壊による災害を生み出し恐るべき脅威を投げかけている。地球上に存在する生命体全ての危機である。これら危機の原因、現状を理解していただき、今人間は何をなすべきか考察する。

学習の進め方 本授業は、大手前大学 さくら夙川キャンパスで行います。スクーリング日程表を確認された上、受講登録をして下さい。教科書にそって進めていく予定です。必要に応じてビデオを使用します。また、適宜、参考資料を配布します。1回分の学習内容は多いため教科書を事前によく学習していただきます。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 生命の起原 地球上において、生命はいかにして生まれたか	
	第2回 人口過疎過密 人口の変動について過去、そして未来の予想	
	第3回 巨大化する災害 災害の定義、環境悪化と自然災害の実情	
	第4回 漁業資源の危機 海洋汚染、魚類の乱獲、養殖の問題点	
	第5回 食糧問題 人口増加に伴う飢餓、耕地面積の減少、バイオ燃料	
	第6回 生きるための水は十分にあるだろうか 地球上における水の量、日本における水資源	
	第7回 違法伐採 世界で何故伐採量が増加していくか	
	第8回 砂漠化問題 砂漠化の原因、そして、その影響	
	第9回 微生物による病気 ヒトの生命を脅かす細菌、ウイルスと病気	
	第10回 エマージングウイルス 20世紀後半に出現した恐るべきウイルス	
	第11回 環境問題が引き起こす動物への影響 動物の大量絶滅時代を迎えるのではなかろうか 外来生物による生態系の変異	
	第12回 生命を脅かす化学物質 歴史に見る化学物質汚染	
	第13回 12回の化学物質についての続き・放射線による影響 現在に見る化学物質汚染、地球への影響 放射線による影響	
	第14回 バイオテクノロジーは生命を救うだろうか 食糧問題、環境問題、医学問題に関わるバイオテックの技術	
	第15回 まとめ 14回の授業内容からレポートとしてのまとめ	

成績評価方法 授業中におけるレポート評価(40%)、第15回におけるレポート(60%まとめ)により評価する。

教科書 著書 『地球環境「危機」報告』
著者 石 弘行
出版社 有斐閣
出版年度 2008年3月20日 1版
ISBN 9784641173422

参考書 (任意購入)

必須ソフト・ツール

備考 教科書において予習をすること
受講者上限人数 講義100名

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	地球環境論	担当教員	貝柄 徹
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	高等学校などで地理や地学を履修していない学生であっても、地球科学の観点から地球環境の変遷を理解することを目標とする。詳細な専門用語の暗記よりはその事象を総合的に理解し、考察できるような力を養成したい。	
学習の進め方	記載してある専門用語よりも図や写真をよく観察し、テーマの話の流れを概観していくことが肝要である。どうしても理解できない用語等がある場合、あるいは興味をもったテーマの場合、各自インターネット等でより詳細に調べていけば学習度が深くなる。	
学習内容	概 要	課 題
	第1章 プレートとブルームのテクトニクス 大陸移動説からプレートテクトニクスへの変化	小テスト
	第2章 地球の歴史 地球の誕生と環境の変化	小テスト
	第3章 マグマと火山 火山の種類と地形	小テスト
	第4章 断層と地震 地震の特徴と災害	小テスト
	第5章 岩石と地球の調べ方 岩石から時代を知る	小テスト
	第6章 地球表面から宇宙まで 地球のシステム	小テスト
	第7章 地球の楽しみ方 景観地、博物館、ジオパーク	小テスト
成績評価方法	小テスト (50%)、単位修得試験 (50%) により総合評価する。	
教科書	著書 『地球のしくみ—地球の誕生から46億年の歴史と内部構造まで』 著者 平賀章三・宮嶋 敏・芝川明義・高木淳子・大木勇人 出版社 新星出版社 出版年度 2011年3月15日 ISBN 9784405106543	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	エネルギー環境論	担当教員	蒲生 孝治
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	

学習目標	私たちの生活や社会で普段使用しているエネルギー資源としてどのようなものがあるかを学び、それらの需要と供給の歴史的推移や現状、ならびに今後の課題を理解し、これからのエネルギー問題や省エネルギーに適切に対応できる知識と行動力を身につける。				
学習の進め方	この授業では、オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。 各回の最後には、確認テストがありますので、それをクリアしてから次の回に進みましょう。 なお、この授業の教科書は、オンデマンド教材をプリントアウトしたものです。確認テストや単位修得試験の際には、それを手元に置いておくことを勧めます。				
	概 要				課 題
学習内容	第1回 はじめに	現代社会を支えるエネルギーとエネルギーの定義			確認テスト
	第2回 エネルギーの種類と分類およびエネルギーの単位	各種分類法および Joule, kcal, kW など			確認テスト
	第3回 エネルギー需要と人口の推移、生活に必要なエネルギー	一人当たりエネルギー消費量と人口の指数関数的増加ならびに民生用エネルギーの増加			確認テスト
	第4回 ハードエネルギー資源の現状と利用方法①	石油と石炭の需要と供給の現状および可採年数			確認テスト
	第5回 ハードエネルギー資源の現状と利用方法②	LPG と LNG の需要と供給の現状および火力発電の原理			確認テスト
	第6回 ハードエネルギー資源の現状と利用方法③	核エネルギー利用の原理と軽水炉の構造および課題			確認テスト
	第7回 ソフトエネルギー資源の現状と利用方法①	水力発電の原理および地熱発電の現状と課題			確認テスト
	第8回 ソフトエネルギー資源の現状と利用方法②	太陽熱温水器と太陽光発電装置の構造と利用の現状			確認テスト
	第9回 ソフトエネルギー資源の現状と利用方法③	海洋エネルギーの種類と利用方法、および風車の種類と発電方法			確認テスト
	第10回 ソフトエネルギー資源の現状と利用方法④	欧米ならびに日本での風力発電の現状			確認テスト
	第11回 エネルギー資源の長所と短所	環境への影響、エネルギー密度等			確認テスト
	第12回 新エネルギーへの取り組み①	廃棄物発電、バイオマスエネルギー等			確認テスト
	第13回 新エネルギーへの取り組み②	コジェネレーション、クリーンカー等			確認テスト
	第14回 社会におけるエネルギー問題への取り組み①	省エネ法、省エネラベリング、新エネルギー導入補助金制度等			確認テスト
	第15回 社会におけるエネルギー問題への取り組み②	ライフサイクルエネルギー、省エネ行動と効果等			確認テスト
成績評価方法	単位修得試験 (100%)				
教科書	オンデマンド教材をプリントアウトして綴じて配布します。				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	本授業のコンテンツは2009年4月から製作を開始しました。でき得る限り図表化されている最新のデータを採用することを試みましたが、エネルギーに関連する事柄は日々変化しますため、古いと感じられる資料も含まれます点をご理解下さい。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word, Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	リサイクル問題	担当教員	渡辺 勉
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 世界人口が60億人を超え、限られた資源をいかに持続的に使っていくかは人類が生き残っているかどうかの問題といえる。それを可能にするのがリサイクルという環境の負荷を低減する方法だ。しかし、リサイクルには多くの問題がある。この講義ではリサイクルの現状を知り問題点を明らかにして、リサイクルについての理解を深めるとともに、将来的な望ましいリサイクル（循環型）社会のあり方を探る。

学習の進め方 本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。教科書には掲載されていない事項、学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明、新しいデータをオンデマンド教材に掲載しますので活用してください。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 リサイクルとは？ リサイクルの概要を知る	レポート
	第2回 リサイクルの歴史と背景 日本におけるリサイクルの歴史を知る	確認テスト
	第3回 日本におけるリサイクルの現状 リサイクルの関連法とデータでリサイクルの現状を知る	確認テスト
	第4回 捨てればごみ、分ければ資源 資源ごみの分別工場の現場。分別の重要性を知る	レポート
	第5回 紙のリサイクルの現場 古紙回収とリサイクルの現状と問題点を知る	確認テスト
	第6回 アルミや鉄のリサイクルの現場 アルミ、鉄のリサイクルの現状と問題点を知る	確認テスト
	第7回 ガラスのリサイクルの現場 ガラスのリサイクルの現状と問題点を知る	確認テスト
	第8回 プラスチックのリサイクルの現場 ペットボトルやDVDなどのリサイクルの現状と問題点	レポート
	第9回 食品廃棄物のリサイクルの現場 食品廃棄物リサイクルの現状と問題点を知る	レポート
	第10回 自動車のリサイクルの現場 自動車リサイクルの現状と問題点を知る	確認テスト
	第11回 家電製品のリサイクルの現場 家電リサイクルの現状と問題点を知る	確認テスト
	第12回 レアメタルのリサイクルの現場 レアメタルがなぜ注目されるのかを知る	確認テスト
	第13回 ゼロエミッションとは？ ゼロエミッションの模範ビール工場から現状を知る	レポート
	第14回 リサイクル批判を考える 武田邦彦さんのリサイクル批判を中心に問題点を探る	レポート
	第15回 循環型社会は可能か？ リサイクルを中心とした循環型社会の現状と将来を考える	レポート
成績評価方法	課題と平常の学習態度（40%）、単位修得試験の結果（60%）により総合評価する。	
教科書	著書 『シリーズ地球と人間の環境を考える06 リサイクル 回るカラクリ止まる理由』 著者 安井 至 出版社 日本評論社 出版年度 2007年5月20日 1版 ISBN 9784535048263	
参考書(任意購入)	学習内容に沿って適宜提示	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：現代社会と企業の理解	授業科目名	地球環境問題と対策	担当教員	内山 雄介
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 様々な地球環境問題の原因と影響について理解し、説明ができる 様々な地球環境問題の今後の進行を遅らせる方策について理解し、行動できる 	
学習の進め方	<p>この授業では、オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。各回の最後には、確認テストがありますので、それをクリアしてから次の回に進みましょう。なお、この授業の教科書は、オンデマンド教材をプリントアウトしたものです。確認テストや単位修得試験の際には、それを手元に置いておくことを勧めます。</p>	
	概 要	課 題
学習内容	第1回 序論	確認テスト
	第2回 環境問題の原因と取り組みの経緯	確認テスト
	第3回 地球温暖化と気候変動①	確認テスト
	第4回 地球温暖化と気候変動②	確認テスト
	第5回 予測される気候変動の影響①	確認テスト
	第6回 予測される気候変動の影響②	確認テスト
	第7回 健康への影響及び IPCC の長期予測と対策	確認テスト
	第8回 温室効果ガス排出の現状と対策	確認テスト
	第9回 低炭素社会実現への具体的方策①	確認テスト
	第10回 低炭素社会実現への具体的方策②	確認テスト
	第11回 地球温暖化以外の地球環境問題①	確認テスト
	第12回 地球温暖化以外の地球環境問題②	確認テスト
	第13回 地球温暖化以外の地球環境問題③	確認テスト
	第14回 地球温暖化以外の地球環境問題④	確認テスト
成績評価方法	単位修得試験 (100%)	
教科書	オンデマンド教材をプリントアウトして綴じて配布します。	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備 考	環境に関連する事柄は日々変化します。この授業の内容は、2010年10月から12月にかけて製作しました。手に入る限り新しい内容を盛り込む努力をしましたが、古くなっている内容もありますので、新聞やテレビの報道などにも注意して学習を進めていって下さい。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	メディア・コミュニケーション	担当教員	吉川 登
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	この授業ではまず、各マス・メディアの現状と特質を理解することを目的にしたい。成熟した高度情報化社会に生きる私たちにとって、マス・メディアによって形成される情報環境から受ける影響は大きい。マス・メディアをよく理解することは、よく生きることに直結しているのである。そして、マス・メディアによって作り出される社会現象を「マス・コミュニケーション」と言う。今日では特に、メディアのもつ社会的特質とその変貌に着目した、「メディア・コミュニケーション研究」と呼ばれるアプローチが提唱されるに至っている。この講義では、新しいアプローチのもたらした成果をふまえつつ、より深くマス・メディアの特質を追求したい。				
学習の進め方	テキスト各章の要点をつかみとり、紹介されている事例やデータを参考にして、自分自身でよく考えるようにしてほしい。丸暗記するためのテキストではない。章末にあげられている参考文献にできるだけ眼を通すことを望む。 単位修得試験は、教科書のすべてを範囲にしているため、熟読してから受験に臨むこと。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 文字メディアの発展と未来 (教科書 0章・3章)			レポート	
	・ことば、文字、視覚的動物 ・活版印刷の発明、近代化とメディア、第四の権力				
	第2回 電話コミュニケーションと人間関係 (教科書 1章・8章)			レポート	
	・音声、空間の克服、日常化 ・情報縁、逆説的人間関係、友達ネットワーク				
	第3回 放送メディアの特質 (教科書 2章・4章)			レポート	
	・娯楽のメディア、視聴率から視聴質へ ・声の効果、若者世代、深夜放送、地域とラジオ				
	第4回 映像と人間形成 (教科書 6章・7章)			レポート	
・子どもと情報化、人間発達の段階、言語と情緒 ・攻撃行動、暴力的表現、実写とアニメ					
第5回 インターネットの特質 (教科書 5章・9章)			レポート		
・新しいメディア、情報発信、コンテンツの多様化 ・ブログの普及、匿名性、集団の規範					
第6回 メディアと社会・政治参加 (教科書 10章・11章)			レポート		
・ゲマインシャフトとゲゼルシャフト、参加型の光と影 ・擬似環境、メディアが作る世論、オピニオン・リーダー					
成績評価方法	各回のレポート (60%)、単位修得試験 (40%)				
教科書	著書 『メディア・コミュニケーション学』 著者 橋元良明 (編著) 出版社 大修館書店 出版年度 2010年9月1日 初版 ISBN 9784469213201				
参考書 (任意購入)	教科書の各章末にあげられている参考文献				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スターリング受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	異文化コミュニケーション	担当教員	安藤 幸一
レベルナンバ	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	外国文化だけでなく、日本文化内のサブカルチャーも含めて、異なった「文化」間のコミュニケーションの考え方や技術を学びます。この講義終了後に、コミュニケーション能力の上達を実感できるような「学びの場」にしたいと思います。				
学習の進め方	本授業は、教科書（兼ワークブック）を主に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 「新しい常識発見」「ステレオタイプ」「異文化への態度」	自文化の発見、偏見を生み出すシステム			レポート
	第2回 「文化とコミュニケーション」	異文化コミュニケーションが対象とする文化			レポート
	第3回 「コミュニケーションスタイル」	コンテキスト、自己開示			レポート
	第4回 「言語コミュニケーション」	言葉の可能性と限界			レポート
	第5回 「非言語コミュニケーション」	コミュニケーションの広がり			レポート
	第6回 「価値観」	常識、価値観、文化			レポート
	第7回 「自分を知る」	意見の対立と解決			レポート
	第8回 「異文化コミュニケーションスキル」	コミュニケーションの実践的技術			ディスカッション
	成績評価方法	各回の課題（40%）、単位修得試験の結果（60%）により総合評価する。			
教科書	著書 『異文化コミュニケーションワークブック』 著者 八代京子、荒木晶子、樋口容視子、山本志都、コミサロフ喜美 出版社 三修社 出版年度 2011年3月20日 ISBN 9784384018516				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：コミュニケーションの理解	授業科目名	音楽とコミュニケーション	担当教員	萬 圭介
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	音楽の科学的な要素を理解し説明することができる。 音楽の効果、その仕組み等を理解し、その魅力を人に伝えることができる。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 音楽はどうやって私たちの耳に届くのか 音の性質を理解し、その伝わり方、その要素について学習します。	確認テスト・レポート
	第2回 音楽を作るもの 音楽の3要素についてとその役割、また様々な音階などを学習します。	確認テスト・レポート
	第3回 音楽を奏でる 発音方法により分類されたそれぞれの楽器の特徴を学習します。	確認テスト・レポート
	第4回 音楽の楽しみ方と技術革新(1) オーディオの仕組み、メディアの進化や歴史を学習します。	確認テスト・レポート
	第5回 音楽の楽しみ方と技術革新(2) 音響技術やその原理、レコーディングやエフェクターについて学習します。 また映像に対する音楽の影響についても学習します。	確認テスト・レポート
成績評価方法	各回の課題 (50%)、単位修得試験 (50%)	
教科書	著書 『CDでわかる 音楽の科学』 著者 岩宮眞一郎 出版社 ナツメ社 出版年度 2011年3月30日 4版 ISBN 9784816347771	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報人類学	担当教員	谷村 要
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標 高度情報社会と言われる現在の社会においては、人々の身近に存在するメディア環境は常に変化を続け、私たちに新しい「経験」をもたらしている。それに伴い、人々の行動様式やコミュニケーションのあり方も変化し多様化しつつある。それら多様な日常を読み解くための一つの技法として、文化人類学的アプローチがある。本講義では、文化人類学の様々な理論と方法を修得することとで、現代社会における様々な文化——とりわけ、メディア文化の解読をできるようにすることが学習目標となる。

学習の進め方 講義を通じて、情報社会を考える上での基礎的な知識を学習する。そのうえで人類学的な発想やアプローチを学び、情報社会をとらえるための視点を身につける。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 「情報社会」を見る視座として 現代社会の特徴である「流動性」と「非対面接触」について学ぶとともに、今後の講義の展開を理解する。	確認テスト
	第2回 「情報人類学」とは何か？ 「文化人類学」の一分野としての「情報人類学」はどのような研究対象を持ちうるのか。	確認テスト
	第3回 「情報社会」を捉えるために 「情報人類学」の対象となる「情報社会」とはいかなる社会なのか？先行研究等からその変遷を追う。	確認テスト
	第4回 「メディア」とは われわれの身近にある「メディア」とはどのような意味を持っているのか。「メディア」の語義、「メディア」と私たちの関係について考える。	確認テスト
	第5回 「情報縁」とは 電子コミュニティが紡ぎだす人間関係「情報縁」とは、これまでの社会における人間関係とどのように異なるのか。先行研究などから学ぶ	確認テスト
	第6回 「メディア・イベント」化する社会 先行研究を概観しながら、メディアが社会に与える影響について学ぶ。	確認テスト
	第7回 情報人類学の発想方法として —— 「中心」と「周縁」 社会や文化をとらえる上での有効な発想の一つ「中心と周縁」理論について学ぶ。	確認テスト
	第8回 社会調査 —— 「量的調査」と「質的調査」 「社会調査」について基礎的な知識を学ぶとともに、「量的調査」と「質的調査」の有効性と限界について学ぶ。	確認テスト
	第9回 「フィールドワーク」をやってみよう！ 情報人類学において用いられる社会調査法「フィールドワーク」について、その方法論や発想の仕方の概略を学ぶ。	確認テスト
	第10回 趣都を歩こう(1) 東京・秋葉原の変容はどのような過程でなされたか。そして、その社会的意味とは何か。「趣都」というキーワードから考える。	確認テスト
	第11回 趣都を歩こう(2) 「趣都」は秋葉原にとどまらず、日本の様々な都市文化でも見られるようになっていく。大阪・日本橋を事例として「趣都」の拡散を考える。	確認テスト
	第12回 趣都を歩こう(3) 埼玉県北葛飾郡鷺宮町(収録当時。現在は埼玉県久喜市鷺宮地域)における「聖地巡礼」現象について、「趣都」化現象と関連付けて理解する。	確認テスト
	第13回 「祭り」から「つながり」へ インターネットの「祭り」行動を概観しながら、その内実の変容を考える。	確認テスト
	第14回 「家族」の意味変容と、情報縁の可能性 メディア状況の変遷からみる家族の変容を見ながら、情報社会の人間関係「情報縁」の持つ可能性を考える。	確認テスト
	第15回 講義のまとめとして これまでの講義を振り返りながら、情報社会をどのようにとらえ、そして、そこでいかに生きていくべきなのかを考える。	確認テスト
成績評価方法	確認テストを総合した評価(40%)と単位修得試験(60%)をあわせて評価する。	
教科書	書名 『情報人類学の射程 フィールドから情報社会を読み解く』 著者 奥野卓司 出版社 岩波書店 出版年度 2009年8月25日 ISBN 9784000234696	
参考書(任意購入)	講義内で適宜指示する。	
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報活用 I (基礎)	担当教員	本田 直也 野波 侑里 奥田 雅信
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 第1回から第14回まですべて受講していることを単位修得試験受験資格とする。 実施方法 現地試験(課題) 試験会場 本学(さくら夙川キャンパス)			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	大学生活のあらゆる場面にに対して身につけておくべきコンピュータの基礎的な活用能力を養う。本学での授業参加に不可欠なコンピュータの適切な利用方法を学ぶ。ワープロソフトでのレポート作成、表計算ソフトを用いた数値の集計やグラフ等の図解表現、スライド作成ソフトでのプレゼンテーション資料の作成などの基礎能力を習得する。				
学習の進め方	本授業は、大手前大学 さくら夙川キャンパスにてパソコンを用いて実践形式で学習を行います。スクーリング日程表を確認して、受講の申込みを行ってください。また、スクーリングへの参加前に事前学習として基礎的なタイピング能力を身につけておいてください(備考欄を参照)。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 文字入力、基本操作	学内ネットワークの利用方法、テキストエディタでの文字入力、印刷、ファイルの保存、ネットワークドライブの利用等の演習を行い、大学生活において最低限必要なコンピュータ操作を習得する。			
	第2回 Word その1	文書作成に有用な Word について学習する。基礎的なスキルとして、画面構成の把握、文字の入力・装飾、罫線の挿入などを習得に向けた演習を行う。			
	第3回 Word その2	Word にて論理的で伝わりやすい文書作成を行う際に必要となる、「表」の作成・編集の基礎、および「クリップアート」や「図」などの挿入・編集の基礎を学習する。			
	第4回 Word その3	タブやインデント等のレイアウトに関するテクニックを学習する。			
	第5回 Word その4	これまでの学習のまとめとして、指示に基づいた資料作成の演習を行う。			Word によるパンフレット作成
	第6回 Excel その1	データの整理・計算に有用な Excel について学習する。Excel の基礎的なスキルとして、画面構成の把握、値の入力・訂正、数式の入力による計算を学習する。			
	第7回 Excel その2	絶対参照と相対参照について学習する。			
	第8回 Excel その3	基本的な組み込み関数などを習得するための演習を行い、Excel を用いたあらゆるデータの効果的・論理的な整理や計算についての演習を行う。			
	第9回 Excel その4	および視覚的な表現を行うために必要となる、表の作成・編集(書式、移動と複写など)とグラフの作成・編集についての演習を行う。			
	第10回 Excel その5	Excel を使用した総合的な演習を行う。			Excel についての課題
	第11回 PowerPoint その1	プレゼンテーションに有用なツールである PowerPoint について学習する。PowerPoint の基礎的なスキルとして、画面構成の把握、文字入力・装飾、スライド構成の編集、デザイン変更、オブジェクトの挿入などを習得するための演習を行う。			
	第12回 PowerPoint その2	Word、Excel と連動させた PowerPoint の操作について学習する。			
	第13回 複合課題 その1	これまでに習得した内容を総合的に活用するような複合課題に取り組む。			
	第14回 複合課題 その2	第13回と同じく複合課題に取り組む。			
第15回 まとめ				単位修得試験実施	
成績評価方法	授業態度(20%)、提出課題(30%)、課題単位修得試験の結果(50%)により総合評価する。				
教科書	著書 「繰り返し慣れて！ スピードマスター Office2007&情報モラル」 著者 noa 出版 出版社 noa 出版				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール	Microsoft Office Word、Microsoft Office Excel、Microsoft Office PowerPoint				
備考	受講者上限人数 演習40名 本授業は全員で足並みを揃えながら課題を解き学習を進めていきます。パソコンの操作や入力に手間取って遅れないように、最低限の文字入力スキルを身につけておいてください。特別な事情を抱えており修得が困難な場合は個別に連絡ください。 【文字入力】 日本語文章300文字を10~15分程度で入力できることが望ましいです。参考までに300文字の日本語文章入力サンプルを紹介します。 全国商業高等学校協会主催の「ワープロ実務検定試験」では、入力速度を測定する試験問題の過去問題を公開しています。下記のサイトより3級検定問題の速度問題を聞き、お試しくください。全部で11回分あります(2012年2月3日アクセス)。 http://www.zensho.or.jp/puf/examination/pastexams/wp.html 入力練習は、市販のタイピングソフト、タイピング練習 Web サイト等、何を利用いたいただいても構いません。おすすめの練習サイトは「基礎タイピング」(http://homepage3.nifty.com/asdf/)です。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報活用Ⅱ（応用）	担当教員	本田 直也 近藤 伸彦
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格 第1回から第14回まですべて受講していることを単位修得試験受験資格とする。 実施方法 現地試験（課題） 試験会場 本学（さくら夙川キャンパス）			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	実社会においてICT（情報通信技術）を実践的に活用するために必要な力として、情報の収集力、情報を効率的に扱うための整理力、情報を分析するための論理的思考力、その結果を他者に伝えるように表現するためのプレゼンテーション、等について習得する。
学習の進め方	本授業は、大手前大学 さくら夙川キャンパスにてパソコンを用いて実践形式で学習を行います。スクーリング日程表を確認して、受講の申込みを行ってください。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 情報検索 発展し続ける情報化社会を生きる上で特に重要なインターネットにおける情報の性質とそれを利用した情報収集の方法について、演習を通し実践的に習得する。	
	第2回 情報運用 情報を正しく安全に運用するために必要な知識とスキルの習得を目標とし、インターネットを活用する上で身につけておかなければならないモラルやマナー、またセキュリティについて学習する。	
	第3回 数値分析 その1 多種多様なデータを論理的に扱うために必要な数値化の方法を学び、それを基にした計算・分析の手法として、情報活用Ⅰ（基礎）で習得したExcelによる計算方法（関数など）と分析手法とを演習を通して習得する。	
	第4回 数値分析 その2 第3回に引き続き数値分析について学習する。	
	第5回 数値分析 その3 第3回、第4回に引き続き数値分析について学習する。	学習内容に基づく課題を出題
	第6回 データベース データの整理や蓄積、抽出を効果的に行うためのデータベースの利用について学習する。データベースの基礎となるリスト構造の理解と、Excelにおけるその表現方法、および並べ替え・抽出・データの挿入・削除などの基礎的スキルを習得する。	
	第7回 ファイル・データ管理 ファイルの取り扱い方について学習する。ファイルについての知識、効率的な作業を行うためのファイルの整理方法（ファイルの命名法、フォルダによる構造化など）、ファイルの共有方法などについて演習を通して習得する。	
	第8回 インターネットコミュニケーション その1 インターネットを通じたコミュニケーションツールとして代表的なメールや掲示板の利用に関するルールとマナーを実践的に習得する。	
	第9回 インターネットコミュニケーション その2 Webサイトの仕組みとhtmlの簡単な作成方法等について学ぶ。	
	第10回 文書表現 他者に誤解なく伝わるような、論理的な文章を作成するためのスキルを習得する。良い文章表現の特徴（語彙の選択、語順、レイアウト等）を学び、実際に文書の修正・作成を行うことでスキルを体得する。	学習内容に基づく課題を出題
	第11回 ビジュアル表現 文書表現と対をなす表現方法として、視覚に訴えるビジュアル表現について学習する。論文等に不可欠な図解表現、よいプレゼンテーションに必要な配色・図形の特徴などについて演習する。	
	第12回 プレゼンテーション その1 これまでに学習した「情報の収集、分析、整理、表現」の力をもとに、あるテーマについて「他者に効果的に伝える」ためのプレゼンテーションの基礎を学ぶ。その後、第13回の発表に向けてプレゼンテーションの資料作成（PowerPoint）を行う。	
	第13回 プレゼンテーション その2 第12回に引き続きプレゼンテーションの資料作成を行う。	
	第14回 プレゼンテーション その3 第11回・第12回で準備したPowerPointの資料をもとに発表を行う。	
	第15回 まとめ	単位修得試験実施

成績評価方法	授業態度（20%）、提出課題（30%）、課題単位修得試験の結果（50%）により総合評価する。
--------	--

教科書	著書『考える 伝える 分かちあう 情報活用力（noa出版）』 著者 noa出版 出版社 noa出版 出版年度 2008年9月 改訂版 ISBN 9784990242046
-----	---

参考書 (任意購入)	
---------------	--

必須ソフト・ツール	Microsoft Office Word、Microsoft Office Excel、Microsoft Office PowerPoint
-----------	--

備考	受講者上限人数 演習40名 情報活用Ⅰ（基礎）で学習する内容の修得を前提条件とします。受講済みの方はよく復習しておくこと。未受講の方は独自で修得すること。 本授業を受講した成果測定のひとつとして、情報活用力を診断するテスト「Rasti」の受験（費用は学生負担）を推奨する。「Rasti」の詳細は授業中に紹介予定。
----	--

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	Web サイト制作 I (基礎)	担当教員	畑 耕治郎
レベルナンバ	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	本授業では、Web ページ制作に必要とされるコーディング技術の基礎を学習します。はじめて Web 制作に取り組む方が HTML に加え、現在、主流とされるスタイルシートを用いた簡単な Web ページが制作できるレベルの知識とスキルの習得を目的としています。				
学習の進め方	本授業は、教科書を活用し、実際にパソコンを使って演習を進めます。演習を進めるうえで重要なポイントや補足説明は適宜、質問に答える形で資料に掲載しますので活用してください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 WEBの特徴を知ろう	Web サイト制作を行う前準備として、インターネットや WWW サービス、ブラウザについて学習するとともに、編集ソフトウェアの特徴や情報発信のマナーについても学習します。			レポート
	第2回 HTML 文章の基礎	HTML の基本となるタグについて学習します。ここでは、HTML 文章の基本となる html 要素、head 要素、body 要素について取り上げます。			レポート
	第3回 HTML 文章の構造化	HTML 文章の構造化について学習します。ここではブロックレベル要素とインライン要素について取り上げます。			レポート
	第4回 テーブル	テーブルについて学習します。ここではテーブルの基本構造について取り上げます。			レポート
	第5回 画像	画像について学習します。ここでは写真やイラストなどのイメージ画像の挿入について取り上げます。			レポート
	第6回 スタイルシート	スタイルシートの基本的な記述方法について学習します。ここでは「埋め込み型」、「インライン型」、「外部リンク型」の3つの記述方法について取り上げます。			レポート
	第7回 文字のデザイン	文字の装飾について学習します。ここでは文字の色やサイズ、スタイルなどの指定に加え、文字の配置位置の指定などについて取り上げます。			レポート
	第8回 ボックスモデルのデザイン	ボックスモデルについて学習します。ここではボーダー、マージン、パディングについて取り上げます。			レポート
	第9回 背景のデザイン	背景について学習します。ここではページや要素の背景色の指定やイメージ画像の挿入について取り上げます。			レポート
	第10回 テーブルのデザイン	テーブルの装飾について学習します。ここではテーブルの罫線の種類や背景の色などテーブルの装飾について取り上げます。			レポート
	第11回 ハイパーリンク	ハイパーリンクについて学習します。ここではリンク機能を用いた Web ページ間の移動と Web ページ内の移動について取り上げます。			レポート
	第12回 絶対パスと相対パス	ファイルの参照方法である「絶対パス」と「相対パス」について学習します。ここでは「相対パス」を用いたイメージ画像の指定やリンクの指定について取り上げます。			レポート
成績評価方法	課題 (50%)、単位修得試験 (50%)				
教科書	著書 「Web サイト制作 (基礎)」 著者 畑 耕治郎 出版社 ジャあそで堂 出版年度 2010年3月25日 1版				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	学習の際には、ファイルのコピーや移動、フォルダ作成、ファイルの解凍などの操作を必要とします。また、フリーウェアのソフトウェアをインターネットからダウンロードし、インストールする作業が伴います。教材は、Windows パソコンを想定して解説しています。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	Web サイト制作Ⅱ (応用)	担当教員	畑 耕治郎
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	本授業では、Web ページ制作に必要とされるコーディング技術について、基礎に続く応用的なレベルを学習します。特にスタイルシートの応用テクニックを学習し、現在、インターネットでよくみられるレイアウトのWEB ページが制作できるレベルの知識とスキルの習得を目的とします。				
学習の進め方	本授業は、教科書を活用し、実際にパソコンを使って演習を進めます。演習を進めるうえで重要なポイントや補足説明は適宜、質問に答える形で資料に掲載しますので活用してください。 各回の課題では、課題指示に従い、制作したWEB ページを提出していただきます。				
学習内容	概 要				課 題
	第1回 スタイルシート	スタイルシートの応用的な活用方法について学習します。			レポート
	第2回 要素の管理	特定の要素に名前を付けてデザインを指定する方法について学習します。			レポート
	第3回 領域の管理	複数の要素をまとめる領域に対してデザインを指定する方法について学習します。			レポート
	第4回 配置と回り込み	画像とテキストを組み合わせたレイアウトの仕方について学習します。			レポート
	第5回 ナビゲーションバー	ナビゲーションバーの作り方を学習します。			レポート
	第6回 WEB サイト充実テクニック	YouTube や Google マップを WEB ページに挿入する方法について学習します。			レポート
	第7回 レイアウトのデザイン	2 カラム、3 カラムの WEB ページの作り方について学習します。			レポート
	第8回 デザイン事例紹介	特徴的な WEB ページの事例をもとに、スタイルシートの応用テクニックについて学習します。			ディスカッション
	第9回 画像の編集	写真の加工など簡単な画像編集について学習します。			レポート
	第10回 WEB サイトの公開	実際に WEB サイトを公開する方法について学習します。			レポート
成績評価方法	課題 (50%)、単位修得試験 (50%)				
教科書	著書 『Web サイト制作 (応用)』 著者 畑 耕治郎 出版社 ジャあそで堂 出版年度 2011年4月18日 1 版				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	Web サイト制作Ⅰ (基礎) が履修済みであることが望ましいです。 フリーウェアのソフトウェアをインターネットからダウンロードし、インストールする作業が伴う場合があります。 教材は、Windows パソコンを想定して解説しています。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	文書作成応用演習	担当教員	村上 啓介
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	Wordの基本的な操作の確認を行う。 実践的な文書作成のための機能を学習する。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1章 文書の体裁を整える Wordの基本操作の復習	確認テスト・レポート
	第2章 Wordを活用したプレゼン資料の作成 図の挿入方法	確認テスト・レポート
	第3章 表が入った文書の作成 表の利用方法	確認テスト・レポート
	第4章 文書デザインの工夫 一歩進んだ文書作成テクニック	確認テスト・レポート
	第5章 その他の便利な機能 知っておけば役に立つ便利な機能	確認テスト・レポート
成績評価方法	各回の確認テスト・演習課題 (60%)、単位修得試験 (40%)	
教科書	著書 『できる Word2007Windows 7/Vista/XP 対応』 著者 田中 亘 出版社 インプレスジャパン 出版年度 2010年2月11日 ISBN 9784844327783	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール	Microsoft Office Word	
備考	このコンテンツは Microsoft Office Word2007をベースに設計されています。 各教材にあるトライアルは、Windowsでは Internet Explorer、Macでは Safariのみで動作します。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	表計算応用演習	担当教員	村上 啓介
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	Excelの基本的な操作と関数などの便利な機能、またマクロの基本を学び、実践的に表を作成することができる。		
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。		
学習内容	概 要	課 題	
	第1章 表の体裁を整える セルおよびワークシートの操作方法	確認テスト・レポート	
	第2章 グラフ作成 グラフ作成と体裁の調整方法	確認テスト・レポート	
	第3章 データベースの管理 エクセルでできるデータ処理	確認テスト・レポート	
	第4章 関数の基礎知識 便利な Excel 関数の利用例	確認テスト・レポート	
	第5章 その他の便利な機能 その他の便利な機能	確認テスト・レポート	
	第6章 補足編（マクロ編）～マクロの作成 Excel マクロとは何か	確認テスト・レポート	
	第7章 補足編（マクロ編）～マクロ記録機能の活用 Excel マクロの応用 1	確認テスト・レポート	
	第8章 補足編（VBA 編）～Excel VBA の基本的な記述方法 Excel マクロの応用 2	確認テスト・レポート	
	成績評価方法	各回の確認テスト・演習課題（60%）、単位修得試験（40%）	
	教科書	著書 『できる Excel2007Windows 7 /Vista/XP 対応』 著者 小館由典 出版社 インプレスジャパン 出版年度 2011年2月1日 1版 ISBN 9784844327776	
参考書 (任意購入)			
必須ソフト・ツール	Microsoft Office Excel		
備考	このコンテンツは Microsoft Office Excel2007をベースに設計されています。 学習内容に含まれているマクロ機能は、コンテンツ設計上「Windows」のみ動作します。Mac ではマクロ機能は動作しませんのでご注意ください。 各教材にあるトライアルは、Windows では Internet Explorer, Mac では Safari のみで動作します。		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	プログラミング演習Ⅰ（基礎）	担当教員	長行 康男
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	現地試験（課題）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標	家電製品、情報システム、コンピュータソフトなど、我々の身の回りには多くのものがプログラムにより動作しています。本授業では、このプログラムを、プログラミング言語の中でも最もメジャーな「C言語」を用いて作成することにより、プログラミングの基本をマスターすることを目指します。
学習の進め方	本授業は、説明と実習（プログラム作成）を交互に繰り返しながら進行していきます。実習時間を多くとり、基本的なプログラムを数多く作成してもらうことにより、プログラミングの基本を体得してもらいます。第15回には、プログラミング演習Ⅰの集大成として課題プログラムを複数個作成してもらいます。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 インTRODクシヨN プログラムとはどのようなものなのかについて理解する。	
	第2回 プログラミング環境と開発手順（テキストの Lesson 1） C言語のプログラミング環境と、C言語によるプログラムの開発手順について理解する。	
	第3回 C言語の基本Ⅰ（テキストの Lesson 2） main 関数、コメント、画面出力、インクルードといったC言語の基本について理解する。	
	第4回 C言語の基本Ⅱ（テキストの Lesson 2） テキストの Lesson 2 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第5回 変数Ⅰ（テキストの Lesson 3） プログラミングにおいてデータを記憶するときに必要な変数について理解する。	
	第6回 変数Ⅱ（テキストの Lesson 3） テキストの Lesson 3 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第7回 演算Ⅰ（テキストの Lesson 4） プログラムの中で演算を行うときに必要となる式、演算子について理解する。	
	第8回 演算Ⅱ（テキストの Lesson 4） 演算の優先順位や型変換などプログラム特有の演算の特徴について理解する。また、テキストの Lesson 4 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第9回 制御構造Ⅰ（テキストの Lesson 5） プログラミングにおいて最も重要である制御構造について理解する。ここでは、制御構造のうち、if 文制御について理解する。	
	第10回 制御構造Ⅱ（テキストの Lesson 5） プログラミングにおいて最も重要である制御構造について理解する。ここでは、制御構造のうち、switch 文制御について理解する。また、テキストの Lesson 5 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第11回 前回までの復習（簡易プログラム作成） 第10回までに学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第12回 制御構造Ⅲ（テキストの Lesson 6） プログラミングにおいて最も重要である制御構造について理解する。ここでは、制御構造のうち、for 文制御、while 文制御について理解する。	
	第13回 制御構造Ⅳ（テキストの Lesson 6） プログラミングにおいて最も重要である制御構造について理解する。ここでは、制御構造のうち、do～while 文制御について理解する。また、制御構造のネストについてと、break 文、continue 文の使い方について理解する。	
	第14回 制御構造Ⅴ（テキストの Lesson 6） テキストの Lesson 6 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第15回 課題プログラム作成 提示する課題のプログラムを作成する。	
成績評価方法	第15回の課題プログラム作成の結果（50%）と第1回～第14回までの授業受講状況（50%）により総合的に評価します。	
教科書	著書 『やさしいC 第3版』 著者 高橋麻奈 出版社 ソフトバンククリエイティブ 出版年度 2011年2月21日 3版 ISBN 9784797343663	
参考書 (任意購入)	『解きながら学ぶC言語』、柴田望洋監修・著、ソフトバンククリエイティブ、1,890円（税込）、2004年	
必須ソフト・ツール		
備 考	受講者上限人数 演習40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	プログラミング演習Ⅱ（応用）	担当教員	長行 康男
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	現地試験（課題）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標 プログラミング演習Ⅰで作成したプログラムより、本格的なプログラムを作成できるようになることを目標とします。具体的には、配列、関数、ポインタ、ファイルの入出力などを利用したプログラムが作成できるようになることを目標とします。また、計算量の概念について学習することにより、コンピュータで実現できること（プログラミングできること）の限界について理解することも目指します。

学習の進め方 本授業は、説明と実習を交互に繰り返しながら進行していきます。実習時間を多くとり、プログラムを数多く作成してもらうことにより、本格的なプログラミングを体得してもらいます。第15回には、プログラミング演習Ⅱの集大成として課題プログラムを複数個作成してもらいます。

	概 要	課 題
学習内容	第1回 オリエンテーション 本授業の到達目標、進め方について理解する。	
	第2回 復習 テキストの Lesson 1～Lesson 6 までを復習する。	
	第3回 配列Ⅰ（テキストの Lesson 7） 同じ種類の値を複数個記憶するための配列について理解する。	
	第4回 配列Ⅱ（テキストの Lesson 7） 配列を応用したプログラムについて理解する。	
	第5回 配列Ⅲ（テキストの Lesson 7） テキストの Lesson 7 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第6回 関数Ⅰ（テキストの Lesson 8） 本格的なプログラムを作成するために必要不可欠である関数について理解する。	
	第7回 関数Ⅱ（テキストの Lesson 8） 関数を利用した場合の変数の特徴と、関数ごとにファイル分割する手法を理解する。	
	第8回 関数Ⅲ（テキストの Lesson 8） テキストの Lesson 8 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第9回 ポインタⅠ（テキストの Lesson 9） C 言語における肝であるポインタについて理解する。	
	第10回 ポインタⅡ（テキストの Lesson 9） テキストの Lesson 9 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第11回 前回までの復習（応用プログラム作成） 第10回までに学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第12回 ファイルの入出力Ⅰ（テキストの Lesson 12） キーボード入力、ディスプレイ出力、ファイル入出力について理解する。	
	第13回 ファイルの入出力Ⅱ（テキストの Lesson 12） 条件付コンパイルを利用したデバッグについて理解する。 また、テキストの Lesson 12 で学んだ知識を利用して複数個のプログラムを作成する。	
	第14回 プログラミング総まとめ プログラミングについての総まとめを行う。 また、計算量の概念について理解する。そして、思いっくまにプログラミングした場合、処理結果が出るのに無限に近い時間がかかってしまうような問題が身近に沢山存在することを理解する。	
	第15回 課題プログラム作成 提示する課題のプログラムを作成する。	
成績評価方法	第15回の課題プログラム作成の結果（50%）と第1回～第14回までの授業受講状況（50%）により総合的に評価します。	
教科書	著書 『やさしいC 第3版』 著者 高橋麻奈 出版社 ソフトバンククリエイティブ 出版年度 2011年2月21日 3版 ISBN 9784797343663	
参考書 (任意購入)	『解きながら学ぶC言語』、柴田望洋監修・著、ソフトバンククリエイティブ、1,890円（税込）、2004年	
必須ソフト・ツール		
備 考	受講者上限人数 演習40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	コンピュータサイエンス	担当教員	佐々木 英洋	
レベルナンバー	100	単位数	2			
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆			
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名	プレゼンテーション実務士
	実施方法	Web 試験				
	試験会場	—				

学習目標 コンピュータサイエンスは、コンピュータのハードウェア、オペレーティングシステムなどの基本ソフトウェア、応用ソフトウェア、さらに、コンピュータの効果的な利用法まで、コンピュータに関連する広い領域をカバーする学問領域である。また、並列コンピュータ、ネットワークコンピュータなどに対する新たな計算パラダイムが提案されるたびに、コンピュータサイエンスがカバーする領域は拡張しつづけている。本講義では、これらの広い領域を横断的に、さらに、基礎から応用までを縦断的に深く探究し、平易に解説し、現代社会の様々な分野で必要とされる知識を学ぶことを目標とする。

学習の進め方 本授業は、教科書を主に活用して学習を進めます。学習を進めるうえで重要なポイントや補足説明をデジタル教材に掲載しますので活用してください。また、各回の確認テストはすべて受験して下さい。

	概 要	課 題
学習内容	第1章 コンピュータの基礎知識 コンピュータの基礎知識、情報とデータについての基本的事項を学ぶ	確認テスト
	第2章 ハードウェア パソコンの構造と、それらを取りまく機器についての基礎知識を学ぶ	確認テスト
	第3章 ソフトウェア ソフトウェアの種類と役割について学ぶ	確認テスト
	第4章 データ形式とマルチメディア 文字・画像・音声・動画のデータ量・圧縮形式について学ぶ	確認テスト
	第5章 コンピュータと情報システム 情報システムについての知識・役割を学ぶ。	確認テスト
	第6章 通信ネットワーク コンピュータネットワークの様々な知識を学び、それらがどのように社会で生かされているかを学ぶ	確認テスト
	第7章 インターネットとセキュリティ インターネットに関する基礎知識と、ネットワークセキュリティについて学ぶ	確認テスト
	第8章 データベースシステム データベースの概要と様々な演算について学ぶ	確認テスト
	第9章 システムの設計と開発 システム設計の概要、より効率的なシステム設計について学ぶ	確認テスト
	第10章 システムの運用と管理 システムの運用と管理に関する様々な知識について学習する。	確認テスト
成績評価方法	確認テスト [5% × 10回] (50%) 単位修得試験 (50%)	
教科書	著書 『コンピュータと情報システム』 著者 草薙信照 出版社 サイエンス社 出版年度 2011年2月25日 1版 ISBN 9784781911618	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	コンピュータと通信	担当教員	中崎 修一
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	情報通信ネットワークの長所、短所を説明できる 自分のコンピュータのネットワーク設定ができるようになる 情報通信技術を活用したシステムの検討ができる				
学習の進め方	本授業では、デジタル教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回の学習概要を閲覧してから学習を進めてください。教科書はデジタル教材の中でページを参照する指示がありますが、デジタル教材では取り扱わない情報も掲載されていますので是非、ご覧ください。回ごとに確認テストがありますので確認テストをクリアしてから次の回へ進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 情報社会とネットワーク概説	情報社会とネットワーク			確認テスト、意識調査
	第2回 情報通信ネットワーク	情報、情報通信、情報通信ネットワーク、通信階層モデル、クライアント/サーバシステム			ディスカッション、確認テスト
	第3回 通信の基礎	2進数・16進数、情報通信、通信のしくみ			確認テスト
	第4回 伝送媒体	伝送媒体、プロトコル			確認テスト
	第5回 通信制御	データリンク、パケット、MAC フレーム、イーサネット、データリンク層			確認テスト
	第6回 IP (Internet Protocol)	ARP、IP、ネットワーク層			確認テスト
	第7回 TCP、UDP	TCP、UDP、トランスポート層			確認テスト、レポート
	第8回 通信用アプリケーション(1)	Web ページ、HTTP (Hyper Text Transfer Protocol)、アプリケーション層			確認テスト
	第9回 通信用アプリケーション(2)	電子メール、SMTP、POP、IMAP			確認テスト
	第10回 インターネット	TCP/IP、インターネット			確認テスト
	第11回 ブロードバンド	ADSL、FTTH、無線通信			確認テスト
	第12回 LAN 構築	LAN、Windows、Macintosh、Linux			確認テスト
	第13回 セキュリティ	セキュリティ、Firewall、NAT、通信ポート、アドレス変換			確認テスト
	第14回 様々な問題点	問題、ネットワーク運用管理			ディスカッション、確認テスト
	第15回 応用技術とまとめ	身近なネットワーク応用技術の紹介			確認テスト、アンケート
成績評価方法	授業期間内完了 (30%)、レポート課題 (2回) (30%)、単位修得試験 (40%)				
教科書	著書 『世界でいちばん簡単なネットワークのe本』 著者 金城俊哉 出版社 秀和システム 出版年度 2011年4月15日 3版 ISBN 9784798006635				
参考書(任意購入)	『情報がひらく新しい世界④ 情報ネットワークとLAN』、長坂康史、共立出版、2,835円(税込)、2001年 資料用ウェブページ作成予定				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	インターネット活用	担当教員	中崎 修一
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	インターネットの歴史やしぐみを理解する。 インターネットにおけるサービス提供に関するシステム構成を理解する。 インターネットに関する最新技術を知る。				
学習の進め方	教科書と資料を中心に学習し、毎回確認テストを行い、80%以上の正解を目指す。 単位修得試験はレポート課題の提出とする。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 インターネット概説	インターネット概説			確認テスト
	第2回 インターネットの歴史と今後	インターネットの歴史・管理運営・今後			確認テスト
	第3回 インターネットを支える技術	プロトコル（通信規約）、IP アドレス、ドメイン名、DNS			確認テスト
	第4回 World Wide Web	Web の概要・基礎技術・しぐみ			確認テスト
	第5回 SSL/TLS	セキュリティ技術概要、暗号化、SSL/TLS			確認テスト
	第6回 HTML, CSS	HTML, CSS			確認テスト
	第7回 Web プログラミング	サーバサイドプログラミング、JavaScript			確認テスト
	第8回 データベース	データモデル、データベース、SQL、XML データベース			確認テスト
	第9回 Web アプリケーション	スクリプト言語、Web アプリケーション			確認テスト
	第10回 Web システム構成	Web サーバ構成、HTTP 応答、大規模 Web システム			確認テスト
	第11回 ネットワークのセキュリティと心得	ネットワーク利用における心得、セキュリティ			確認テスト
	第12回 インターネットとオープンソースソフトウェア	オープンソースソフトウェア			確認テスト
	第13回 ウェブの時代からクラウドの時代へ	利用形態の変化、Web2.0			確認テスト
	第14回 まとめ	インターネットの現状と今後			確認テスト
成績評価方法	各回の確認テスト（50%）、単位修得試験（50%）				
教科書	著書 『インターネットと Web 技術』 著者 松尾啓志 出版社 オーム社 出版年度 2009年3月15日 1版 ISBN 9784274206771				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	マルチメディア活用	担当教員	畑 耕治郎
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	普段の生活の中に溶け込んださまざまな IT 技術やマルチメディアによるサービスや製品の仕組みを学び、その魅力を周りの人に説明できるようになることを学習の目的とします。				
学習の進め方	この授業では、オンデマンド教材を主教材として学習を進めます。教科書は、オンデマンド教材の中で適宜、参照するように指示していますが、一度はすべてのページに目を通すように努めてください。 課題はレポート課題が中心ですが、1部の回では、ディスカッションやメディア編集作業が伴う課題があります。 単位修得試験は論述式のレポート試験です。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 日常に広がるマルチメディア	我が国における情報化社会への取組みに触れながらユビキタスネットワーク社会への歩みを学習します。			ディスカッション
	第2回 話題のマルチメディア	現在、注目されているマルチメディア商品や IT 技術をトピック的に取り上げます。			レポート
	第3回 マルチメディア	そもそもマルチメディアとはどのようなものなのかを考察し、マルチメディアの特徴やその魅力について学習します。			レポート
	第4回 デジタル情報	アナログとデジタルの違いやアナログからデジタルに変換する工程などデジタル情報について学習します。			レポート
	第5回 0と1の世界	2進数などにも触れながらデジタルを表す0と1の世界について学習します。			レポート
	第6回 メディアにみる0と1の世界	ハードディスクやDVD-ROM、メモリなどのメディア媒体の仕組みについて学習します。			レポート
	第7回 音声メディア	デジタルにおける音声メディアの仕組みと特徴を学習します。			レポート
	第8回 画像メディア	デジタルにおける画像メディアの仕組みと特徴を学習します。			レポート
	第9回 動画メディア	デジタルにおける動画メディアの仕組みと特徴を学習します。			レポート
	第10回 テキストメディア	デジタルにおけるテキストメディアの仕組みと特徴を学習します。			レポート
	第11回 メディア編集	実際にソフトウェアを用いて簡単な画像編集について学習します。			レポート(演習)
成績評価方法	課題(75%)、単位修得試験(25%)				
教科書	著書 『第二版 入門マルチメディア—ITで変わるライフスタイル—』 著者 西原 清一 出版社 CG-ARTS 協会 出版年度 2010年9月21日 2版 ISBN 9784844370949				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	フリーウェアのソフトウェアをインターネットからダウンロードし、インストールする作業が伴います。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にご注意ください。

※課題(レポート等)作成時に Word、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	データベース論	担当教員	森本 雅博
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	メディア授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	データベースの意義や基本的な考え方を理解し、データベースを作成および操作できる。				
学習の進め方	デジタル教材を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には課題を用意してあるので、課題を終えて次の回に進むようにしましょう。第9回目以降はソフトウェアを使用して実習も交えて進めていきます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 データベースとは何か	データベースの意義を理解し、「データベースとは何か」を学習する			確認テスト、 ディスカッション
	第2回 データベースとデータモデル	データの効率的な管理の形について理解する			確認テスト
	第3回 データベースの設計	データベースの設計について理解する			確認テスト
	第4回 最近のデータベースの流れ	最近のデータベースの流れについて理解する			確認テスト
	第5回 データベースの主なソフト	データベースの主なソフトについて理解する			確認テスト、 ディスカッション
	第6回 表と集合演算	表と集合演算について理解する			確認テスト
	第7回 E-R 図	E-R 図とは何かを理解する			確認テスト
	第8回 テーブルの正規化	テーブルの正規化の意義と方法について理解する			確認テスト
	第9回 SQL の基本的な使い方	SQL の基本的な使い方について理解する			確認テスト
	第10回 複数条件の組み合わせ	複数条件の組み合わせや並べ替え、重複行の除外について理解する			確認テスト
	第11回 テーブル内での計算や集計	テーブル内での計算や集計の方法について理解する			確認テスト
	第12回 テーブルの作成と行の挿入等の操作	テーブルの作成と行の挿入等の操作について理解する			確認テスト
	第13回 テーブルの結合	テーブルの結合について理解する			確認テスト
	第14回 より高度なデータベース処理	より高度なデータベース処理について理解する			確認テスト
	第15回 まとめ	データベースの基礎理論やSQL について理解する			
成績評価方法	単位修得試験 (70%)、課題 (20%)、授業参加態度 (10%)				
教科書	著書 『データベースの常識』 書写 藤本 彦 出版社 技術評論社 出版年度 2009年8月1日 1版 ISBN 9784774139050				
参考書 (任意購入)	『データベースの知識と実務』、金宏和實、翔泳社、2,310円(税込)、2007年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報管理論	担当教員	森本 雅博
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 レポート試験 試験会場 ー			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	情報化社会において情報管理を行うことの意義とその手法について理解し、データベースを用いた情報管理の仕組みについて説明できるようになること。				
学習の進め方	本授業は、デジタル教材を活用して授業を進めていきます。各回の学習では、前回の要点、今回の学習目標、最後に今回のまとめを提示し、ポイントが明確になるように工夫しています。教科書はデジタル教材にない内容もありますので、必ず学習前に読んでおいてください。毎回、学習の理解をチェックするための確認テストを用意しています。テストをクリアして次の回へ進むようにしてください。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 情報とは何か	情報の意味と特性を理解し、種類にもとづく情報の分類をする			確認テスト
	第2回 情報管理とは	情報管理の意義と必要性を理解する			ディスカッション
	第3回 データベースと情報管理のサイクル	情報管理の対象とサイクル、データベースの定義と歴史および種類と分類について理解する			確認テスト
	第4回 情報の収集	情報源の選定し、さまざまな分野による情報収集の目的の違いを知る			確認テスト
	第5回 インターネットと情報検索	インターネット上の検索エンジンと検索方法や検索機能の基本的理論を理解する			確認テスト
	第6回 分析、利用する情報の種類	情報の種類に応じた分析と利用の方法を具体的事例で理解する			レポート
	第7回 情報の加工と管理	情報を加工し、整理する意味を理解し、その方法や手順を学習する。			確認テスト 前半のまとめ
	第8回 データベースの概念	データベースの特徴とデータベース管理システムの概要と基本機能を理解する			確認テスト
	第9回 データモデルの概念	データモデルの種類と特徴を知り、データの独立性及びデータベースの管理と運用について理解する			確認テスト
	第10回 データベース管理システムの諸機能	リレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) を構成する主要な機能を理解する			確認テスト
	第11回 データベースの操作/SQL	データベースを定義したり操作するための言語 (SQL) の種類と使用方法を理解する			確認テスト
	第12回 商用データベースの利用	商用データベースの意義と種類を知り、高度な利用方法を具体的に探る			確認テスト
	第13回 情報の提供とプレゼンテーション	情報の提供方法やプレゼンテーションを実施するための留意点を理解する			確認テスト
	第14回 これからの情報管理	データウェアハウスとデータベースの新たな展開について理解する			確認テスト
	第15回 情報管理のまとめ	情報管理についての理解をポイントを押さえながら確認し、知識の定着を図る			確認テスト
成績評価方法	確認テスト及びレポート (20%)、前半のまとめ (40%)、単位修得試験 (40%) による総合評価とする。				
教科書	著書 『情報管理概論』 著者 田中一雄 出版社 白桃書房 出版年度 2005年6月6日 ISBN 9784561253037				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等にご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	社会と情報	担当教員	石橋 裕基
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	今日、情報技術（IT）は経済や社会生活のあらゆる分野に深く浸透しており、電子情報を活用することによって得られる恩恵を誰もが享受できる時代を迎えつつある。一方、そういったデジタル技術や情報をいつでも・どこでも、安全・安心に活用するためには、情報セキュリティや法体系など社会的な基盤整備が必要であるのに加え、利用者側の情報リテラシー（情報を使いこなす力）が必要となる。本講義では特定の技術について深く掘り下げるのではなく、我が国におけるIT利活用のさまざまな動向について、最新のトピックスを交え社会生活や産業面等から広く俯瞰し、理解を深めることを目的とする。				
学習の進め方	本授業はテキスト『情報化白書2009』を主に活用し学習を進めます。テキストはトピックス形式で記載されており、本授業での学習はテキストの章立てとは異なる順序で進めます。注意してください。デジタル教材で各章のポイントを説明し、補足資料等を掲載します。また各章でそれぞれのポイントを整理するためのクイズを出題しますので適宜確認してください。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1章 社会・生活の情報化(1) ～交通、教養・娯楽、消費生活分野～			確認テスト	
	人々の社会生活に密着した「交通」「教養・娯楽」「消費生活」分野での情報化の現状について、事例やトピックスを交え考察する。				
	第2章 社会・生活の情報化(2) ～安全・安心、行政分野～			確認テスト	
	医療や災害対策等の現場におけるIT利活用の状況について考察する。また地方自治体をはじめとする行政分野における情報化の取り組みを考察する。				
	第3章 トピックス ～情報化の新しい潮流～			確認テスト	
	グリーンIT、時空間情報システム、クラウド・コンピューティング等、情報化に関する最新のトピックスについて紹介する。				
	第1章から第3章までのまとめ			第1章から第3章までのまとめ	
第1章から第3章までのまとめ					
第4章 情報化基盤整備(1) ～情報セキュリティ基盤の向上～			確認テスト		
安全・安心かつ効果的な情報化社会を支えるために必須となる「情報セキュリティ」を取り巻く環境について、被害や脅威などの現状と各種対策・制度等について考察する。					
第5章 情報化基盤整備(2) ～IT社会を支える政策・法制度～			確認テスト		
情報利活用時代に向けて今後展開される国家戦略について考察するとともに、個人情報保護や知的財産権、違法・有害情報に関する法制度等の状況について考察する。					
成績評価方法	第1章から第3章までのまとめ（30%）、単位修得試験の結果（70%）により総合評価する。				
教科書	著書 『情報化白書2009』 著者 財団法人 日本情報処理開発協会（編） 出版社 増進堂 出版年度 2009年9月30日 ISBN 9784424538028				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スターリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報倫理	担当教員	河俣 英美
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格 全ての教材が「済」になること 実施方法 Web 試験 試験会場 —			資格名	プレゼンテーション実務士

学習目標	学習の目的は、高度情報化社会におけるインターネットの利便性と危険性を生活者の立場から理解するとともに、インターネットを利用する際のルールやマナーといった「情報倫理」を身につける。そして情報に関連する法制や幅広い知識を得る。これらを基に高度情報社会を発展させ、情報弱者をなくし、情報環境を充実、進展させるためには、どのように考え、行動すべきかを自分自身の視点で考察することができるようになることを目標とする。				
学習の進め方	各章ごとにテキストを読んで理解し、重要な点に関しては要約を作成する。またテキストを読んで問題点を考察する。そしてその内容に関連する報道に関してTV、雑誌、新聞、ネット等の記事を読むなど、実際に社会で起こった問題に関心を持ち、幅広い知識を得るように努力する。また健全なネットワーク社会をつくるためにはどうすればよいかを自分の意見として考察できるように、自分自身で考える習慣を身につけるように心掛けてください。				
学習内容	概 要			課 題	
	序章 インターネットと情報社会			確認テスト	
	情報とは何かを理解し、情報活用能力を身につける				
	第1章 インターネットと個人情報			確認テスト	
	個人情報保護法、セキュリティポリシーを理解する				
	第2章 インターネットと知的財産権			確認テスト	
	違法コピー、特許法、著作権法の知識を修得する				
	第3章 インターネットと生活			確認テスト	
	インターネットの利便性を理解する				
	第4章 インターネットとビジネス			確認テスト	
	ネットショッピング、売買トラブルに関する知識を身につける				
	第5章 インターネットと教育			確認テスト	
	e-ラーニングや有害情報に関する知識を習得する				
第6章 インターネットとコミュニケーション			確認テスト		
電子メールのルールやマナーに関する知識を修得する					
第7章 インターネットと犯罪			確認テスト		
サイバー犯罪、不正アクセスに関する知識を修得する					
第8章 インターネットとセキュリティ			確認テスト		
セキュリティに関する知識を修得する					
終章 健全な情報社会をめざして			確認テスト		
健全な情報社会を構築するための自分の意見や展望をまとめる					
成績評価方法	各章の課題の結果（40%）、単位修得試験の結果（60%）により総合評価する。				
教科書	著書 『インターネットの光と影 Ver.4』 著者 情報教育学研究会（IEC）・情報倫理教育研究グループ編 出版社 北大路書房 出版年度 2011年3月10日 4版 ISBN 9784762822940				
参考書 (任意購入)	『IT社会の法と倫理』、サラバズ著、日本情報倫理協会翻訳、ピアソンエデュケーション、2,940円（税込）、2002年 『インターネットと法 [第4版]』、松井茂記・高橋和之、有斐閣、2,940円（税込）、2010年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	IT ビジネス論	担当教員	竹本 拓治
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	IT (ICT) 技術はビジネスの世界において幅広く応用されている。当授業ではその理論と具体例を知ることにより、受講者がIT (ICT) 社会で生きていくための現代の教養を身につけることが目標であり、さらに当授業で学んだ知識を土台として新たなビジネスへの萌芽の可能性を期待するものである。				
学習の進め方	(第1回～第14回) 本授業では、デジタル教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回の学習概要を閲覧してから学習を進めてください。教科書にはデジタル教材では取り扱わない応用内容や参考情報も掲載されていますので是非、ご覧ください。 回ごとに小テストがありますので小テストをクリアしてから次の回へ進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 企業政策におけるITとビジネスモデル	企業の経営戦略としてのITの役割を中心にその理論を解説する。(教科書第1章)			小テスト
	第2回 企業における経営と組織の変遷とIT	高度情報社会、複雑系社会における企業、および組織のあり方を説明する。(教科書第2章)			小テスト
	第3回 IT革命と企業統治	ITと企業統治モデルの変化、および具体的に日本企業のIT化への対応の動向を解説する。(教科書第3章)			小テスト
	第4回 製造戦略を高度化するIT技術	製造戦略確定の必要性の説明とIT活用の具体的事例について紹介する。(教科書第4章)			小テスト
	第5回 多人数同時参加型オンラインシステムによるゲームと教育	多人数が同時にアクセスでき同じ世界が共有可能な仮想空間の可能性について説明する。(教科書非対応)			小テスト
	第6回 ITの進展と中小企業金融	1990年代後半に金融業界で起こったITによる金融ビジネスモデル革命を説明する。(教科書第6章)			小テスト
	第7回 医療関連業務におけるITの利用	ITが医療関連業務に果たす役割と可能性について説明する。(教科書第7章)			小テスト
	第8回 IT化の進展と旅行ビジネスの変化	ITの進展が旅行業界にどのような変化をもたらしたかを説明する。(教科書第8章)			小テスト
	第9回 情報システム導入による非製造業効率化の基礎条件	非製造業における製造業をモデルとした情報システム導入による効率化の基礎条件を説明する。(教科書第9章)			小テスト
	第10回 メディアミックスによるリテラシー変容	知的財産や文化遺産の電子化が進んだ現代社会の状況について説明する。(教科書第10章)			小テスト
	第11回 企業情報システムの統合化モデルの考察	統合化モデルの方向性と、その要件としてのサービス指向の情報化について説明する。(教科書第11章)			小テスト
	第12回 IT化によるISO9001品質マネジメントシステムへの展開	文書、記録・データ管理におけるIT化によるマネジメントの特性を説明する。(教科書第12章)			小テスト
	第13回 中小企業におけるIT投資の効果分析	IT活用を業務の効率化に留まらず、事業拡大へどうつなげるかを説明する。(教科書第13章)			小テスト
	第14回 ベンチャービジネスにおけるIT活用と社会貢献	IT活用の企業経営を分類・説明し、ITを活用したベンチャービジネスの事例を紹介する。(教科書第14章)			小テスト
成績評価方法	小テスト(50%)、単位修得試験(50%)により総合評価する。				
教科書	著書 『ITと企業政策』 著者 太田進一(編著) 出版社 晃洋書房 出版年度 2005年5月15日 1版 ISBN 9784771015425				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報セキュリティ事例研究	担当教員	鳥巢 泰生
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	情報漏えいなどの事例を研究することにより、情報資産に対するいろいろな脅威を分析することが出来るようになり、それらの脅威に対して適切なセキュリティ対策を施すことにより、安全かつ快適に情報資産を利用運用することが出来るようになる。				
学習の進め方	本授業では、オンデマンド教材を主に活用して学習を進めます。学習をはじめるときには必ず、各回の学習概要を閲覧してから学習を進めてください。オンデマンド教材の中で教科書のページを参照する指示がある場合はもちろん、指示がない場合も教科書にはいろいろな情報が掲載されていますので、必ずご覧ください。 各回の学習の最後には、確認テストがありますので、確認テストを終わらせ、次の回へ進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 情報セキュリティとは何か？	様々なリスクの存在を知り、それらの対策を踏まえた情報セキュリティの必要性を学習する。			確認テスト
	第2回 ネットワークのしくみ	ネットワークの構造を知り、通信プロトコルについて学習する。			確認テスト
	第3回 侵入者から身を守ろう	通信プロトコルを利用した不正アクセスの事例を知り、その対策方法を学習する。			確認テスト
	第4回 盗聴を防ごう	盗聴の事例を知り、その対策方法を学習する。			確認テスト
	第5回 単純なパスワードはすぐに見破られる	パスワードの必要性、単純なパスワードの脆弱性を知り、パスワード運用のポイントを学習する。			確認テスト
	第6回 Web サイトを守ろう	Web サイトを攻撃する手口を知り、その対策を学習する。			確認テスト
	第7回 Web サイトを安全に利用しよう	Web サイトで個人情報が盗まれる危険性を理解し、安全にやり取りする方法を学習する。			確認テスト
	第8回 メールは不正なデータを送りつけるのに最適	メールを使った嫌がらせの手口を知り、対策のポイントを学習する。			確認テスト
	第9回 その URL は本当に安全？	Web サイトやメールを使った個人情報の盗み方を知り、情報の取捨選択を学習する。			確認テスト
	第10回 ウイルスは怖いもの	ウイルスの危険性を知り、予防の方法を学習する。			確認テスト
	第11回 コンピュータの外も意識しよう	コンピュータの外で個人情報が漏れる可能性を把握し、それらの対策を学習する。			確認テスト
	第12回 セキュリティポリシーを持とう	情報セキュリティのポリシーを理解し、PDCA サイクルの重要性を学習する。			確認テスト
	第13回 セキュリティの標準規格とルールについて知ろう	情報セキュリティの規格と仕組みを理解し、システム監査の重要性を学習する。			確認テスト
	第14回 次世代のセキュリティ技術	情報セキュリティでは、新たな技術が出てくる事を知り、常に情報を集める姿勢が重要である理由を学習する。			確認テスト
	第15回 まとめ	14回の総復習とまとめを行う。			
成績評価方法	平常点（各回の確認テスト）（40%）、単位修得試験（60%）により総合評価する。				
教科書	著書 『情報セキュリティ教本—組織の情報セキュリティ対策実践の手引き』 著者 土居範久監修、独立行政法人情報処理推進機構著 出版社 実教出版 出版年度 2010年10月15日 改訂版 ISBN 9784407316964				
参考書 (任意購入)	『情報セキュリティ読本 四訂版—IT時代の危機管理入門』、情報処理推進機構（IPA）編著、実教出版、525円（税込）、2013年1月				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーン受講時等ご注意ください。
※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	情報システム開発演習	担当教員	玉本 拓郎
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全授業への出席			資格名
	実施方法	現地試験(レポート)			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	現代社会にあふれる情報を効率よく管理できるようになる				
学習の進め方	講義とパソコンを使った実習で授業をおこないます。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 現代社会における情報	情報とはなにか。システムとは何か。			確認テスト
	第2回 インターネット	インターネットの歴史や技術			確認テスト
	第3回 HTML	基本構造と基本的な要素			作品課題
	第4回 HTML	さまざまなHTMLの要素			作品課題
	第5回 CSS	HTMLを装飾する			作品課題
	第6回 PHP	PHPとはどのようなものか			確認テスト
	第7回 PHPの開発環境	XAMPP、Apache、MySQL			作品課題
	第8回 問い合わせフォーム	問い合わせの処理			作品課題
	第9回 画像アップローダー	画像の投稿			作品課題
	第10回 アンケート	アンケートの実装			作品課題
	第11回 会員制掲示板	ユーザー認証			作品課題
	第12回 既存サービスと活用	情報を発信、保存するサービスと情報機器			確認テスト
	第13回 レポート作成に役立つ様々な情報資源	データアーカイブ、Google、Scholar、cinii など			確認テスト
	第14回 文献管理と引用の仕方	Zotero、Mendeley、ReadCube、Endnote			確認テスト
	第15回 情報システムとレポート作成	自分に最適なシステムの構築			確認テスト
成績評価方法	単位修得試験(100%)				
教科書	著書 『つくって覚えるPHP入門』 著者 オフィス加減 出版社 アスキー・メディアワークス 出版年度 2011年2月25日 1版 ISBN 9784048701136				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 演習40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	オンライン教育概論	担当教員	合田 美子
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	オンライン教育・eラーニングを活用し教育効果を考慮した授業設計と運用方法について説明することができる。オンライン教育・eラーニングに関わるICT技術の基礎を理解しラーニングシステムの教育への応用方法を提案できる。オンライン教育・eラーニングを実施する際に配慮すべき法的課題について指摘できる。				
学習の進め方	eラーニングシステム上のオリエンテーションに従って学習を進めること。まず、各章にある学習目標とポイントの解説教材を視聴し、教科書を読んでいくこと。読み終わったら、理解度の確認のために小テストを受験すること。単位修得試験の範囲は全授業回で扱う内容とする。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 eラーニングの基礎知識(1) (教科書：第1章)	eラーニングとは、eラーニングの学習形態			小テスト
	第2回 eラーニングの基礎知識(2) (教科書：第2章)	eラーニングプロフェッショナルの種類			小テスト
	第3回 eラーニングとインストラクショナルデザイン(1) (教科書：第4章)	インストラクショナルデザイン (ID) とは、ADDIE モデル			小テスト
	第4回 eラーニングとインストラクショナルデザイン(2) (教科書：第6章)	分析・設計・開発フェーズ、IDを支える学習理論			小テスト
	第5回 eラーニングとインストラクショナルデザイン(3) (教科書：第8章)	実施フェーズ、学習支援の大切さ			小テスト
	第6回 eラーニングとインストラクショナルデザイン(4) (教科書：第9章)	評価フェーズ、eラーニングにおけるPDCA			小テスト
	第7回 ICTとラーニングシステムとコンテンツ (教科書：第12章)	ラーニングシステムとは			小テスト
	第8回 eラーニングのための法知識の基礎 (教科書：第10章)	eラーニングに必要な法的知識			小テスト
	第9回 ICT活用による企業内教育と新たな人材開発 (教科書：第2章)	eラーニングを活用した企業内教育の現状と可能性			小テスト
	第10回 まとめ	オンライン教育・eラーニングの現状と今後の課題			
成績評価方法	学習活動（ディスカッションなど）への参加状況と小テスト（40%）と単位修得試験（60%） ・小テストは、各章の内容から5問出題。合格基準は80%である。合格するまで何度でも受験可。 ・単位修得試験は、授業範囲内から選択式問題と記述式問題を出题する。				
教科書	著書 『これ1冊でわかるeラーニング専門家の基礎 — ICT・ID・著作権から資格取得準備まで—』 著者 玉木欽也監修 出版社 東京電機大学出版局 出版年度 2010年3月30日 1版 ISBN 9784501547608				
参考書(任意購入)	1. インストラクショナルデザインを使って教材を作成するコツを紹介している 『教材設計マニュアル』、鈴木克明、北大路書房、2,310円（税込）、2002年 2. eラーニング専門家の職責をインストラクショナルデザインのプロセスに沿って解説している 『eラーニング専門家のためのインストラクショナルデザイン』、玉木欽也監修、東京電機大学出版局、2,520円（税込）、2006年				
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	地域情報化論	担当教員	藤田 昌弘
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席（ただし最終日は単位修得試験のために必ず出席すること）			資格名
	実施方法	現地試験（レポート）			
	試験会場	本学（さくら夙川キャンパス）			

学習目標	地域活性や生活の利便性向上と地域における情報化の関連を理解する。				
学習の進め方	事前に教科書を読み、地域の情報化に関するターム（用語）を調べておくこと。 授業で、それらのタームの解説を行い、地域情報化の効果や問題点を一緒に考える。 実例の見学により、地域情報化の現状を理解する。				
学習内容	概 要				課 題
	第1回 地域の概念	行政圏と生活圏の視点から、地域の概念整理を行う。			
	第2回 情報と情報化	情報の重要性と情報化の効果を検討する。			
	第3回 広域圏における情報化プロジェクトの見学(1)	兵庫県の地域情報化施策の実態を把握する。兵庫県庁 情報政策課を見学する。			
	第4回 広域圏における情報化プロジェクトの見学(2)	3回と同様。			
	第5回 広域圏における情報化の意義、まとめ1	広域圏の地域情報化の効果と課題を考える。			
	第6回 地域活性と地域情報化	地域活性化と地域情報化の関連を考える。			
	第7回 生活の利便性向上と地域活性化	生活の利便性と地域情報化の関連を考える。			
	第8回 生活圏における情報化プロジェクトの見学(1)	市町村における地域情報化施策の実態を把握する。豊中市 消防局・情報政策室を見学する。			
	第9回 生活圏における情報化プロジェクトの見学(2)	8回と同じ。			
	第10回 生活圏における情報化の意義、まとめ2	生活圏の地域情報化の効果と課題を考える。			
	第11回 ICT利活用プロジェクトの紹介(1)	最近のICT利活用プロジェクトの紹介。			
	第12回 ICT利活用プロジェクトの紹介(2)	11回と同様。			
	第13回 地域情報化と行政情報化	行政施策としての地域情報化の意義。			
	第14回 あらためて情報化の意義を考える	情報化の効果、課題について考える。			
	第15回 全体のまとめ、テスト	レポート課題の提示とレポートの提出			
成績評価方法	単位修得試験（100％）により評価する。				
教科書	著書 『元気村』はこう創る ―実践・地域情報化戦略― 著者 國領二郎、飯盛義徳 編著 出版社 日本経済新聞出版社 出版年度 2007年12月14日 1版 ISBN 9784532352912				
参考書(任意購入)	『情報通信白書 平成22年版(書籍版)』、総務省、ぎょうせい、2,900円(税込)、2010年				
必須ソフト・ツール					
備考	3回目～5回目ならびに8回目～10回目の授業は夙川キャンパスでの講義ではなく、近郊の地方自治体を訪問します(兵庫県庁と豊中市を予定しています)。現地への移動は午後になりますが見学先での解散となります。なお、夙川から自治体への交通費は片道250円程度になると思いますが、交通費は受講生の負担をお願いします。 受講者上限人数 講義100名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：情報の理解	授業科目名	知能情報学	担当教員	長行 康男
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	2/3以上の出席		資格名	
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学(さくら夙川キャンパス)			

学習目標	人間や動物の脳(知能)の仕組み・機能などをコンピュータ上に実現することは人類の長年の夢であり、人工知能の分野をはじめとして、人工生命、強化学習、ニューラルネットワークなどの分野で広く研究されています。本授業は、これらの分野の概観を理解することを目的とします。				
学習の進め方	講義が中心になりますが、ほとんどの回で実習や演習を行います。第8回には、人工知能の推論プログラムを実際に作成してもらいます。第15回には、本授業の理解度を確かめるための筆記試験を行います(筆記試験の試験内容は第1回の授業中に提示します)。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回	オリエンテーション(テキストの第1章)			
		知能情報学とはどのようなものなのかについて学びます。			
	第2回	問題の表現(テキストの第2章)			
		探索問題(迷路、8パズル、宣教師と先住民問題、ハノイの塔など)をコンピュータに解釈してもらうため問題の表現方法について学びます。			
	第3回	探索Ⅰ(テキストの第3章)			
		探索問題をコンピュータに解かせるための方法(深さ優先探索、幅優先探索、山登り法など)について学びます。			
	第4回	探索Ⅱ(テキストの第3章、第4章)			
		探索問題をコンピュータに解かせるための方法(最良優先探索、ミニマックス法、アルファベータ法など)について学びます。			
	第5回	推論Ⅰ(テキストの第5章)			
		人間が脳で行っている推論をコンピュータに行わせるために必要となる推論問題の表現方法について学びます。また、推論方法の一つである命題論理について学びます。			
	第6回	推論Ⅱ(テキストの第5章)			
		推論方法の一つである述語論理について学びます。			
	第7回	推論Ⅲ(テキストの第5章)			
		命題論理と述語論理について整理します。また、人工知能(推論)用プログラミング言語であるPrologについて学びます。			
	第8回	推論Ⅳ			
	Prologを利用して簡単な推論問題をプログラミングし、コンピュータに推論問題を解いてもらう実習を行います。				
第9回	ファジィ(テキストの第10章)				
	1990年代に一世を風靡したファジィ家電などの「ファジィ」について、それがどういうものなのかについて学びます。				
第10回	強化学習(テキストの第11章)				
	動物の脳の基底核で行われている強化学習について学びます。また、強化学習をコンピュータ上に実現することにより何ができるのかについて学びます。				
第11回	前回までの復習				
	第10回までに学んだことの復習を行います。				
第12回	ニューラルネットワーク(テキストの第12章)				
	脳の神経細胞網(ニューラルネットワーク)をコンピュータ上にどのように実現するのかについて学びます。また、そのコンピュータ上に実現されたニューラルネットワークに何ができるのかについて学びます。				
第13回	遺伝的アルゴリズム(テキストの第13章)				
	生物の遺伝の仕組みをコンピュータ上にどのように実現するのかについて学びます。また、そのコンピュータ上に実現された遺伝の仕組み(遺伝的アルゴリズム)に何ができるのかについて学びます。				
第14回	最新トピックス				
	知能情報学において現在どのような研究が行われているのか最新のトピックスについて学びます。				
第15回	筆記試験				
	第1回から第14回までの学習内容の理解度を確かめるために筆記試験を行います。				
成績評価方法	単位修得試験の結果(50%)と第1回～14回までの授業受講状況(50%)により総合的に評価します。				
教科書	著書 『人工知能の基礎』 著者 小林一郎 出版社 サイエンス社 出版年度 2010年4月10日 1版 ISBN 9784781912172				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考	受講者上限人数 演習40名				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語表現 I (基礎)	担当教員	堂村 由香里
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標 あらゆる分野の人にとって必要とされる英語の基礎力を身につけることを目標とします。(1)現在、過去、未来、そして進行中の出来事の表現 (2)疑問文の作り方 (3)受動態、不定詞、動名詞の用法 (4)比較級 (5)分詞、接続詞の働き などについて学びます。

学習の進め方 この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。教科書に掲載している問題はオンデマンド教材で答え合わせを行います。各 Unit の学習の最後には確認テストがありますので、確認テストを終わらせ、次の Unit に進みましょう (なお、教科書付属の CD-ROM はこの科目では使いません。練習問題が入っていますので、発展学習を希望する方はご参照ください)。

	概 要	課 題
学習内容	Unit 1 I Love Music! 現在形、現在進行形：友人とのあいさつ→自己紹介をする	確認テスト
	Unit 2 Cherry Blossoms are Special. 過去形、過去進行形：お花見に行く→文化を紹介する	確認テスト
	Unit 3 Life in Japan 未来表現：学校生活について→予定を語る	確認テスト
	Unit 4 Shopping for Beautiful Eyes 助動詞(1)：薬局での買い物→商品をたずねる	確認テスト
	Unit 5 I Love Sports! 疑問文(1) what, who：スポーツのたのしみ→意見を言う	確認テスト
	Unit 6 A Part-time Job 疑問文(2) when, where, why, how：アルバイト探し→条件をたずねる	確認テスト
	Unit 7 Love and Peace 受動態：音楽のメッセージ→夢を語る	確認テスト
	Unit 8 "Cosplay" is Cool! 不定詞：コスプレコンテスト→推量する	確認テスト
	Unit 9 Africa or Italy? 動名詞：海外旅行の行き先→興味を語る	確認テスト
	Unit 10 No Smoking, Please. 分詞：タバコのマナー→忠告する	確認テスト
	Unit 11 Let's Go to a Movie! 助動詞(2)：映画のストーリー→病状を説明する	確認テスト
	Unit 12 Which Class is Better? 原級・比較級比較：クラス登録のアドバイス→比較する	確認テスト
	Unit 13 The Best Concert 最上級比較：デートの誘い→友人を誘う	確認テスト
	Unit 14 To Chicago, Please. 接続詞：ネットでチケット手配→手順を説明する	確認テスト
成績評価方法	単位修得試験 (100%)	
教科書	著書 『English Quest Intro』 著者 酒井志延・清田洋一・大崎さつき・田辺 章・箕輪美里・Michael Farquharson 出版社 ビアソン桐原 出版年度 2011年8月20日 初版 ISBN 9784342547409	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語表現Ⅱ（応用）	担当教員	西村 道信
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語表現上の違いが理解できる。 ・日常的な会話表現から文章表現まで学習し、比較することにより、その違いを説明できる。 ・ネイティブの話し方や速度に慣れ、正確に聞き取ることができ、コミュニケーションができる。 				
学習の進め方	<p>この授業では、配布された教科書を読み、各自で学習していただきます。学習の進め方は、教科書の指示通りに学習して下さい。先ず予備学習から始めます。</p> <p>次に付属のDVDを観てNEWS STORYを聞き取り、空白を埋めます。</p> <p>その後で、内容理解の問題を解いて下さい。</p> <p>ただし、NEWS STORYの空白部分は聞き取りが難しいものもありますので、答えをオンデマンド教材で確認できるようにしてあります。どうぞ学習に活用して下さい。</p> <p>教科書はUnit 1からUnit 15までであり、各Unitが終わる毎に確認テストがあります。そして確認テストがすべて終了した後、単位修得試験を受けることになります。</p>				
学習内容	概 要		課 題		
	Unit 1 A Crusader's Life: Granny D	89歳の時、アメリカを徒歩横断したグラニー D の政治運動			確認テスト
	Unit 2 American Heart: An Amazing Idea	環境に優しい校舎とはどんな校舎なのか			確認テスト
	Unit 3 American Roads: Safer than Ever	ハイウェイで事故が減少しているのは何が要因となっているのか			確認テスト
	Unit 4 Culture Crash: Veil Bans	自由の国フランスで服装に規制がかかった理由とは何か			確認テスト
	Unit 5 Making the Grade: Girls' Advantage	男女の生徒間にはどのような学力差があるのか			確認テスト
	Unit 6 Missing Link: Major Discovery	考古学者の9歳の息子が考古学上の大発見をする			確認テスト
	Unit 7 American Heart: Helping the Community	地元に貢献しながら不景気を乗り切る会社の経営方針とは何か			確認テスト
	Unit 8 Homeless Heroes: Struggling Women Veterans	退役軍人女性の現状を捉え、社会問題を考える			確認テスト
	Unit 9 Lunchroom Rebellion: Crusade Against Junk Food	生徒がジャンクフードの昼食に抗議をするために立ち上がる			確認テスト
	Unit 10 Portrait of America: Identity Issues and the Census	国勢調査に見る他民族国家アメリカの素顔			確認テスト
	Unit 11 Music and the Brain	バイオリン奏者に行った驚異的な脳外科手術の奇跡的な方法とは何か			確認テスト
	Unit 12 Saving America's Middle Class	中流階級の現状とアメリカ財力の原動力を探る			確認テスト
	Unit 13 Law of the Land: Obama Signs Healthcare Bill	すべてのアメリカ国民に健康保険を適用するにはどのような問題があったのか			確認テスト
	Unit 14 Persons of the Week: Bird Songs	鳥の鳴き声は人間に何を教えてくれるのか			確認テスト
	Unit 15 Nuclear Deal	核のない世界を目指して米露間で結ばれた画期的な協定			確認テスト
成績評価方法	確認テスト (50%)、単位修得試験 (50%) の総合評価とする。				
教科書	著書 『ABC World News 13』 著者 山根茂他編 出版社 金星堂 出版年度 2011年3月31日 1版 ISBN 9784764738089				
参考書(任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語教育	担当教員	石谷 春奈
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	2008年に学習指導要領が改訂され小学校教育に「外国語活動」として英語が取り入れられることとなり、日本における英語教育は大きく変化をしようとしている。また、英語教育においてコミュニケーション能力を養成することがますます重視され、英語教師に求められる資質と能力も時代とともに変わろうとしている。本講座では、英語科授業を構成するために必要な基本的な知識を学び、これからの英語教師にもとめられる力とは何か、を様々な視点から考える。	
学習の進め方	この授業は、主に教科書を学習して進めます。解説を丁寧に読んで理解しましょう。各章の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の章に進みましょう。	
	概 要	課 題
学習内容	第1章 英語科授業構成の基礎知識 わが国の学習指導要領の変遷をみながら、今後の英語教育のありかたを考える。また、カリキュラム、シラバス、年間計画の立案といった授業構成の基礎について学ぶ。	確認テスト、小レポート
	第2章 教材を見る視点 (教材研究) 中学校・高等学校において教材研究をする視点として、語彙と文構造の視点、談話と文体と文章構成の視点、文化理解の視点を取りあげ、指導の留意点を学ぶ。	確認テスト、小レポート
	第3章 教材を使う視点 教材を使う視点として、一つ目に学習者のタイプの分析と教材の選択、二つ目にリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの英語4技能と教材の選択、三つ目に教材改作の方法として付加、削除、簡略化、提示順序変更を理解する。	確認テスト、小レポート
	第4章 英語科授業構成の考え方 英語科授業の計画をする際に、まず重要な中・長期的な目標設定について理解する。さらに、3つの授業構成のアプローチ——伝統的な英語科授業構成、コミュニケーションタスク型の授業構成、総合型の英語科授業構成を学ぶ。	確認テスト、小レポート
	第5章 英語科授業の展開 授業を進める際の基本事項として具体例をみながら、指導案の作成方法、アクティビティの準備、基本的指導技術について学ぶ。	確認テスト、小レポート
	第6章 英語科評価の新動向 多様な英語科の評価方法について、まず、教育測定の考え方を習得し、さらにそのほかの評価方法に関して違いや狙いを理解する。また、現在の日本の教育現場における評価の実際と新しい評価の流れについても学ぶ。	確認テスト、小レポート
	第7章 開発する視点とその方法 教材、カリキュラム、テストを教師みずから開発することの必要性、手順と方法、評価について理解する。	確認テスト、小レポート
	第8章 これからの英語教育と英語教師に求められる力 海外における英語教育の動向と国内での動きを踏まえて、英語教師に求められる能力と資質について学習する。	確認テスト、小レポート
成績評価方法	各章ごとの確認テスト (40%)、各章ごとの小レポート (20%)、単位修得試験 (40%)	
教科書	著書 『新しい学びを拓く 英語科授業の理論と実践』 著者 三浦省吾、深澤清治 出版社 ミネルヴァ書房 出版年度 2011年3月30日 初版 ISBN 9784623053025	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。

※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語 A (実用文法)	担当教員	石谷 春奈
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★☆☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	実社会で英文を作成するために、多様な場面で的確な英語を運用する力を身につけることを目標とする。「依頼・勧誘の方」など発想別に組み立てられた教科書を使用して、それぞれの目的に相応しい英文法を使い分ける学習をする。				
学習の進め方	この授業は、主に教科書を学習して進めます。各章の解説をよく読んで理解してから、例文を一つずつ丁寧に見てください。わからない単語や語句は必ず辞書で調べ、すべての例文を和訳してみましょう。解説は、運用方法を中心に書かれていますので、基本的な文法については別に文法書を一冊手元に置いておくことをおすすめします。一通り理解できたら教科書の「EXERCISES」をし、オンデマンド教材で答えを確認して下さい。各章の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の章に進みましょう。				
学習内容	概 要			課 題	
	第1章 現在の表し方	現在のことを表す文法形式として、単純現在時制、現在進行形、現在完了形、現在完了進行形を学習する。			小テスト
	第2章 過去の表し方	過去のことを表す文法形式として、単純過去時制、過去進行形、過去完了形、過去完了進行形を学習する。			小テスト
	第3章 未来の表し方	主語の意思や話し手の意図と関係のない未来の出来事や状態を表す文法形式を学習する。			小テスト
	第4章 仮定の表し方	仮定・条件を表すには、話し手の取る態度によって開放条件と却下条件の二つがあり、文法形式として仮定法過去と仮定法過去完了を学習する。			小テスト
	第5章 使役の表し方	使役とは、誰かに何かをさせることである。使役を表すさまざまな動詞を学習する。			小テスト
	第6章 命令の表し方	命令とは、誰かに何かを言いつけることである。直接命令のほか、間接命令、助動詞を使った命令を学習する。			小テスト
	第7章 許可の表し方	相手の願っていることを許す場合、相手に許しを請う場合の2つの許可の表現を学習する。			小テスト
	第8章 依頼・勧誘の表し方	依頼・勧誘とは話し手が利益を受けるために、人に何かを頼んだり誘ったりすることである。助動詞、法、テンス、相などを利用して、相手の意思や能力を尋ねる表現を学習する。			小テスト
	第9章 提案の表し方	提案とは、こうしたらどうかと自分の意見や考えを提起することである。話し手（自分）を含む表現、含めない表現を学習する。			小テスト
	第10章 意図・決意の表し方	助動詞や動詞を使って、意図や決意を表す学習をする。			小テスト
	第11章 推量・可能性の表し方	推量・可能性は、話し手が自分の述べる事柄に関してどの程度事実であるか、あるいは可能であるか、という話し手の判断・態度を表明することである。助動詞、副詞による表現を学習する。			小テスト
	第12章 原因・理由の表し方	原因・理由を表す文法として、接続詞、前置詞、to 不定詞や that 節、副詞などを学習する。			小テスト
	第13章 目的・結果の表し方	目的を表す文法として、to 不定詞や that 節など、結果を表す文法として接続詞、副詞や so/such...that 構文などを学習する。			小テスト
	第14章 譲歩・様態の表し方	譲歩・様態を表す文法として、副詞節や群前置詞などを学習する。			小テスト
	第15章 比較の表し方	2つの事柄を比較し特性の度合いが等しいことを示す場合は as...as、程度に差があることを示す場合は「比較級 + than」、3つ以上の事柄の中で度合いの特性が最も高いことを示す場合は最上級で表すことを学習する。			小テスト
	第16章 強調の表し方	強調語、再帰代名詞、It is...that 構文などさまざまな文法的手段によって強調する方法を学習する。			小テスト
成績評価方法	各章ごとの小テスト (60%)、単位修得試験 (40%)				
教科書	著書 『コミュニケーションのための英文法・英作文』 著者 岸野英治 出版社 英宝社 出版年度 2011年 3月 1日 ISBN 9784269320185				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語B (翻訳)	担当教員	目下 元及
レベルナンバー	200	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「直訳」と「翻訳」の違いを理解し、自然な日本語に翻訳するために必要な能力を身につける。 ・イギリスの文化・政治・社会についての知識を深め、また、学習者みずからそれらの情報を入手できるようになることで、英文学作品をより深く味わえるようになる。 				
学習の進め方	<p>この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には課題がありますので、課題を終わらせ、次の回に進みましょう。学習の手順は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書を予習する 2. 指示に従い、オンデマンド教材で学習する 3. 課題(教科書の指定された箇所を翻訳)に取り組む <p>課題をするときに、手元に英和辞書だけでなく、国語辞書も忘れずに。</p>				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回	イントロダクション：翻訳とは	レポート		
		<ul style="list-style-type: none"> ・「自然な日本語訳」とは何かを学ぶ。 ・教科書である小説とその著者について理解を深める。 			
	第2回	物語冒頭前編：晩餐会にて	レポート		
		<ul style="list-style-type: none"> ・場面を思い描く練習をする。 ・小説を理解するうえで必要な色々な資料に当たる。 教科書 pp.3-4			
	第3回	物語冒頭後編：バッキンガム宮殿にて	レポート		
		<ul style="list-style-type: none"> ・長文の上手な区切り方、訳し方を学ぶ。 ・it や she などの代名詞の訳し方を学ぶ。 教科書 pp.4-5			
	第4回	女王による「読書のすゝめ」	レポート		
		<ul style="list-style-type: none"> ・小説の文化/社会背景に関する知識を養う。 ・訳しにくい単語の訳し方を学ぶ。 教科書 pp.22-23			
	第5回	女王の議会開会	レポート		
	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの政治的行事に関する知識を養う。 ・長文を正しく理解する練習をする、その1。 教科書 pp.32-33				
第6回	女王、首相との定期会見	レポート			
	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語らしい表現」の訳し方を学ぶ。 ・長文を正しく理解する練習をする、その2。 教科書 pp.54-55				
第7回	女王のクリスマス放送	レポート			
	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの文化に関する知識を養う。 教科書 pp.58-59				
第8回	女王の80歳の誕生日会	レポート			
	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの現代政治事情を学ぶ。 ・小説の背景知識を持つことが翻訳に役立つことを理解する。 教科書 p.111 & p.116				
成績評価方法	各回のレポート(40%)、出席点(課題を全て提出すれば自動的に差し上げます)(20%)、単位修得試験(40%)				
教科書	著書 『The Uncommon Reader』 著者 Alan Bennett 出版社 Faber and Faber ISBN 9781846681332				
参考書(任意購入)	『やんごとなき読者』、アラン・ベネット(市川恵里訳)、白水社、1,995円(税込)、2009年 『The Uncommon Reader(オーディオCD)』、Alan Bennett、BBC Audiobooks、1,693円(税込)、2008年 『The Queen(DVD:104分)』、Helen Mirren、エイベックス・エンタテインメント、1,995円(税込)、2007年 『Translation Studies: Theories and Applications(2nd edition)』、Jeremy Munday、Routledge、2,828円(税込)、2008年(翻訳版) 『翻訳学入門』、ジェレミー・マンデイ、鳥飼玖美子、みすず書房、4,515円(税込)、2009年 『Aspects of Language and Translation(3rd edition)』、George Steiner、Oxford University Press、1,750円(税込)、1998年				
必須ソフト・ツール					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の小説を読むのに慣れていない方は、教科書の英語を難しめに感じるかもしれません。そのような時は参考文献にある、翻訳『やんごとなき読者』を参考にしてください。ただし参考にするにしても、翻訳本に載っている訳の丸写しや、少しだけ書き換えたものを提出するというのは厳禁です。まず自分の力で訳を作り、どうしても参考にしたい部分だけを見えるようにすること。 ・もちろん、インターネットの翻訳ソフト使用は論外です。 ・レポートの採点は訳の正確さよりも、目標の達成度や努力の結果に重点を置きます。 ・課題提出には Microsoft の Word が必須です。 				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題(レポート等)作成時に Word、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語C (文書作成)	担当教員	石谷 春奈
レベルナンバー	300	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な段落構成や件名をつけて、自分の目的に相応しい英文メールを作成することができる。 相手との関係を考慮した英文で自分の気持ちを相手に伝えることができる。 	
学習の進め方	<p>この授業では、教科書を主教材として学習を進めます。各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。第3、6、9回のレポートは提出後に添削をします。単位修得試験時には添削内容をふまえ、これらレポートを書き直し、提出する必要があります。添削には時間を要するため、第3、6、9回のレポートの提出期限は単位修得試験レポート提出期間の【前日23:59】までとします。</p> <p>例) 単位修得試験レポート提出期間が【10(月)~16(日)】の場合、第3、6、9回レポートの提出期限は【9(日)23:59】となります。</p> <p>※期限を過ぎて提出された場合は、レポート試験提出期間中の添削は保証しかねます。</p>	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 Unit 1 SELF-INTRODUCTION 自己紹介のE-mailが書ける。	確認テスト
	第2回 Unit 2 EXPRESSING THANKS 感謝を伝えるためのE-mailが書ける。	確認テスト
	第3回 Unit 4 CONGRATULATIONS! お祝いの気持ちを伝えるためのE-mailが書ける。	確認テスト、 レポート
	第4回 Unit 7 APOLOGIZING おわびの気持ちを伝えるためのE-mailが書ける。	確認テスト
	第5回 Unit 9 ASKING FOR ADVICE アドバイスを求めるためのE-mailが書ける。	確認テスト
	第6回 Unit 11 MAKING A SUGGESTION 提案するためのE-mailが書ける。	確認テスト、 レポート
	第7回 Unit 12 ASKING A FAVOR 依頼のE-mailが書ける。	確認テスト
	第8回 Unit 14 SENDING A GIFT お礼のE-mailが書ける。	確認テスト
	第9回 Unit 16 A POLITE REQUEST ていねいに依頼するE-mailが書ける。	確認テスト、 レポート
	第10回 Unit 19 MAKING A COMPLAINT 苦情のE-mailが書ける。	確認テスト
成績評価方法	各回の課題(60%)、単位修得試験(40%)	
教科書	著書 『はじめてのEメール英作文』 著者 松居司、フィリップ・ヒンダー 出版社 南雲堂 出版年度 2011年4月11日 ISBN 9784523175049	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus(エルキャンパス)のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題(レポート等)作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	英語D (英会話)	担当教員	アンドウ・シャーリー・M
レベルナンバ	300	単位数	2		
授業方法	スクーリング	デジタル教材活用度	☆☆☆		
単位修得試験	受験資格	Attend the 3 days of schooling 全授業への出席		資格名	
	実施方法	現地試験			
	試験会場	本学 (さくら夙川キャンパス)			

学習目標	<p>This course is designed for learners who have a basic knowledge of English grammatical structures and expressions but did not have the chance to use them in a meaningful and communicative way. It will provide a cursory review of the four skills of listening, speaking, reading and writing through active participation in pair work, small discussion groups and short presentations. At the end of the course, learners will be able to achieve some level of confidence in using English practically.</p> <p>このクラスは、基礎的な英文法や英語表現の知識はもっているものの、英語をコミュニケーションの道具として、生き生きとした意味を表す内容をもって使うことのできなかった学習者のためにデザインされました。授業では、ペア練習、小ディスカッショングループ、簡単なプレゼンテーション等、積極的なクラス参加によって、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4要素を「復習」していきます。スクーリング終了後は、学習者が、一定のレベルの自信をもって、実践的に英語を使うことができるようになっていることを目標とします。</p>
------	---

学習の進め方	<p>Students will work in pairs and small groups to practice and reinforce the lessons. There will be many activities that will require students to participate fully and actively, so be ready at all times.</p> <p>ペアまたは小グループで練習を行い英語力を強化していきます。積極的な参加が求められる演習がたくさんありますので、心づもりをしてください。</p>
--------	---

	概 要	課 題
学習内容	1. Introduction of the course Going Back to Basics: The 4 Skills of Listening, Speaking, Reading and Writing: Going through the syllabus and expectations of this class. 基礎にかえる：聞く、話す、読む、書くの4つのスキル：シラバスとこの授業で期待されていることを確認する。	Write down YOUR expectations of the course
	2. Getting to know each other: how do we introduce ourselves. お互いを知る：自己紹介の仕方	One-minute self introductions
	3. Overcoming fear of English: What you need to know to overcome the fear. 英語への恐怖心を克服する：英語に対する恐怖心を克服するには何が必要か。	Examining your fear of speaking English
	4. The Basics of listening, speaking, reading and writing: let's listen, speak some, read and write. 聞く、話す、読む、書くの基礎：聞いて、話して、読んで、書いてみよう。	
	5. More listening, speaking, reading and writing practice. Quiz. もっと聞いて、話して、読んで、書いて練習する。クイズ。	
	6. Using and practicing your English with My Friends from All over the World Prepare for the coming of the native English friends. Who are they? 世界各国の私の友達と英語を使って練習する：ネイティブスピーカーを迎えて。誰がやってくるのでしょうか。	
	7. How to ask questions and how to answer questions. 質問の仕方と答え方。	Formulating questions
	8. Panel of native English speakers with questions and answers session ネイティブスピーカーを囲んでQ&Aセッションを実際に行う。	
	9. Appropriate gestures and manners for successful communication 上手なコミュニケーションのためのジェスチャーとマナー	
	10. Breaking down barriers of communication: Quiz コミュニケーションの壁を打ち破る。クイズ	
	11. Review of what we have learned through simulations ロールプレイなどを使い、それまでに学習した内容を復習する。	
	12. Let's travel! 旅に出よう！	
	13. Shopping in your favorite mall. お気に入りの店で買い物をする。	
	14. Going out to dine, and making reservations on the phone. 電話でレストランの予約をする。	
	15. Feedback from students and final test. 授業の感想と最終テスト	
成績評価方法	<p>A test will be given just before the end of each day to assess if students are learning the materials. Participation is more than 50 percent of the grade. Students must participate in this class.</p> <p>各日の最後にその日学習したことの確認テストを行います。授業への参加が評価の50%以上を占めますので、積極的に参加することが求められます。Quizzes/クイズ20%、tests/テスト30%、and participation and attendance/授業参加態度と出席50%</p>	
教科書	<p>著書 World English: Real People, Real Places, Real Language Level 1 Student Book with Student CD-ROM 著者 Kristin L. Johannsen, Martin Milner, and Rebecca Tarver Chase 出版社 CENGAGE Learning ISBN 9781424051021</p>	
参考書(任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考	受講者上限数 演習40名	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus (エルキャンパス) のシラバスを確認してください。
 ※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等ご注意ください。
 ※課題 (レポート等) 作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	韓国語Ⅰ（基礎）	担当教員	村上 純
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	韓国語の入門講座として、文字（ハングル）の読み方とその発音練習、簡単な単語や文法および会話の表現などを学習し、韓国語に対する基礎知識を身につけることを目標としている。	
学習の進め方	各回の授業ごとに文字・単語・文法・会話のコーナーがあり、それぞれ講義画面やスキット映像を視聴しながら学習を進める。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 まずは基本の母音から学びましょう／アンニョンハセヨ	小テスト
	文字 基本母音 単語 家族を表すことば 文法 語順について 会話 「アンニョンハセヨ（こんにちは）」	
	第2回 基本子音を学びましょう／カムサハムニダ	小テスト
	文字 基本子音 単語 自分や相手を表すことば 文法 文体について 会話 「カムサハムニダ（ありがとうございます）」	
	第3回 平音・激音・濃音を学びましょう／アンニョンヒ ケセヨ	小テスト
文字 平音・激音・濃音 単語 国を表すことば 文法 「名詞＋ です／ですか」 会話 「アンニョンヒ ケセヨ（さようなら）」		
第4回 複合母音を学びましょう／マシッソヨ	小テスト	
文字 複合母音 単語 食べ物を表すことば 文法 「はい／いいえ」 会話 「マシッソヨ（おいしいです）」		
第5回 パッチムを学びましょう／ケンチャナヨ	小テスト	
文字 パッチム 単語 数を表すことば 文法 「～は」「～が」「～も」「～と」 会話 「ケンチャナヨ（だいじょうぶです）」		
成績評価方法	小テスト（50%）、単位修得試験（50%）	
教科書	著書 『はじめての韓国語レッスン』 著者 張起権、村上純 出版社 Hi-Media 出版年度 2010年3月1日	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール		
備考		

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等にはご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	韓国語Ⅱ（応用）	担当教員	村上 純
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	韓国語の基礎の段階から、応用の段階へステップアップをはかる。 韓国語を用いて様々な学習活動を行う。 受講生同士のコミュニケーションを図りながら、韓国語学習に楽しく取り組む。	
学習の進め方	この授業では、教科書を主教材、オンデマンド教材を副教材として学習を進めます。 各回の学習の最後には、課題がありますので課題を終わらせ、次の回に進みましょう。	
学習内容	概 要	課 題
	第1回 コンピューターでハングルを書いてみよう パソコン上でハングルの文字を表す方法を学ぶ	レポート
	第2回 名前や地名をハングルで表してみよう 自分の名前や地名など、日本語の固有名詞をハングルで表す方法を学ぶ	レポート
	第3回 韓国語でプロフィールを作成してみよう 自分を紹介するプロフィールを韓国語で作成する	プレゼンテーション
	第4回 数の表現を学んでみよう 韓国語の数字体系について学び、それを用いた様々な表現を学ぶ	確認テスト
	第5回 いろいろな文章表現を学んでみよう 文章の作り方のパターンを学び、それを用いた応用練習を行う	確認テスト
	第6回 韓国語の歌を聞いてみよう 歌を通して韓国語を学ぶ	ディスカッション
	第7回 韓国レストランに行ってみよう 食事に関する韓国語や料理の注文の仕方などを学ぶ	ディスカッション
	第8回 韓国語でビデオレポートを作成してみよう 授業で学んだ内容を生かし、韓国語でビデオレポートを作成する	ビデオレポート、 ディスカッション
	成績評価方法	課題（50%）、単位修得試験（50%）
教科書	著書 『Let's enjoy ハングル』 著者 村上純 出版社 有限会社 国宗 出版年度 2011年4月20日	
参考書 (任意購入)		
必須ソフト・ツール	Web カメラ、マイク	
備 考	第8回にてビデオレポートを作成するため、パソコン上で録画・録音の可能な Web カメラ、マイクが必要になります。	

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクリーニング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	中国語Ⅰ（基礎）	担当教員	高村 麻実
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★★		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	Web 試験			
	試験会場	—			

学習目標	初心者を対象として、中国語を基礎から訓練します。発音と基本構造を学び、中国語に慣れるとともに、実践的な運用力を身につけてゆきます。中盤（第10回まで）修了で中国語検定試験（日本中国語検定協会）準4級レベル、すべての授業を修了した段階で同検定試験4級レベルの内容となります。				
学習の進め方	序盤（第1回～第5回）は、学習を進めていく上で最低限必要な事項として、まず発音の訓練から始め、発音表記（ピンイン）を正しく行うことを要求します。中盤（第6回～第10回）では、平易な会話文を用いて、簡体字を正しく書くとともに、基本的な語法（文法）のルールを理解することに重点を置きます。終盤（第11回～第15回）では、平易な中国語を聞き、話すことができるよう訓練し、中国語の基礎を完成させます。通常の講義科目とは異なり、授業を1～2回聞いただけでは身につけません。無理に1クールで終了させようとせず、繰り返し受講し、各回の内容をほぼ完全に理解してから次の回に進んでください。（何となく理解したつもりで次へ進んでしまうと、試験で得点できず、単位修得が困難となります。）				
学習内容	概 要			課 題	
	第1回 「こんにちは。」你好！	この授業で取り扱う中国語について概説します。単語の発音やあいさつ語の練習を通して、中国語の声調と子音の一部について学びましょう（P.9～P.12）。ほぼ完全に理解できたら、第2回へ進んでください。			ドリル
	第2回 「わたしたちはサッカーをします。」我们踢足球。	単語の発音やあいさつ語の練習を通して、中国語の母音、子音（無気音・有気音）、人称代詞、疑問文について学びましょう（P.13～P.16）。ほぼ完全に理解できたら、第3回へ進んでください。			ドリル
	第3回 「わたしは学生です。」我是学生。	単語の発音やあいさつ語の練習を通して、中国語の子音（そり舌音）、母音（はねる音）、判断・否定・推量・勧誘・命令の表現について学びましょう（P.17～P.20）。ほぼ完全に理解できたら、第4回へ進んでください。			ドリル
	第4回 「それは何ですか。」那是什么？	単語の発音やあいさつ語の練習を通して、指示代詞、疑問詞疑問文、構造助詞・副詞の用法について学びましょう（P.21～P.24）。ほぼ完全に理解できたら、第5回へ進んでください。			ドリル
	第5回 「よろしくお願いします。」请多关照！	自己紹介の練習を通して、形容詞述語文、「ある；いる」の表現などについて学びましょう（P.25～P.28）。この回までにはほぼ完全に理解できたら、第1回チェックテストを受験してください。なお、第6回へ進むためには、このテストで80%以上得点することが条件となります。（テキスト等を見ながら受験してもよく、何回でも受験できます。）			ドリル、 第1回チェックテスト
	第6回 「中国語は難しいですか。」汉语难不难？	数の数え方、モノの数え方、反復疑問文について学びます。（P.29～P.31）「ちょっと…する」という表現、数のたずね方について学びましょう（P.30～P.32）。ほぼ完全に理解できたら、第7回へ進んでください。			ドリル
	第7回 「いま何時ですか。」现在几点钟？	日付や時刻の表現、前置詞「跟」と「在」、動詞が2つある文、モノを指す表現について学びましょう（P.33～P.36）。ほぼ完全に理解できたら、第8回へ進んでください。			ドリル
	第8回 「なにが食べたいですか。」你要吃什么？	状況の変化・到達、完了・経験の表現、前置詞「要」と「想」について学びましょう（P.37～P.40）。ほぼ完全に理解できたら、第8回へ進んでください。			ドリル
	第9回 「わたしは車の運転ができません。」我不会开汽车。	「できる」という表現、程度の表現、方法・理由のたずね方について学びましょう（P.41～P.44）。ほぼ完全に理解できたら、第10回へ進んでください。			ドリル
	第10回 「私達は日本語で語り合うことができます。」我们用日语交谈。	いろいろな前置詞、動作の結果、動作が並行するときの表現、時間の長さの表現について学びましょう（P.46～P.48）。この回までにはほぼ完全に理解できたら、第2回チェックテストを受験してください。なお、第11回へ進むためには、このテストで80%以上得点することが条件となります。（テキスト等を見ながら受験してもよく、何回でも受験できます。）			ドリル、 第2回チェックテスト
	第11回 「どれぐらいの時間がかかりますか。」要多长时间？	程度や数量のたずね方、比較の表現、2つの「少し」、禁止の表現、いろいろな形容詞について学びましょう（P.49～P.52）。ほぼ完全に理解できたら、第12回へ進んでください。			ドリル
	第12回 「日本の歌を聞いています。」在听日本歌曲呢。	進行、差し迫ったときの表現、存在・出現・消失の表現について学びましょう（P.53～P.56）。ほぼ完全に理解できたら、第13回へ進んでください。			ドリル
	第13回 「まだ買えますか。」还买得到吗？	動作の方向、状況を強調する文、可能・不可能、値段の表現について学びましょう（P.57～P.60）。ほぼ完全に理解できたら、第14回へ進んでください。			ドリル
	第14回 「あなたは1冊買うべきです。」你应该买一本。	前置詞「把」の用法と注意点、不定の疑問詞、「…ねばならない」の表現について学びましょう（P.61～P.64）。ほぼ完全に理解できたら、第15回へ進んでください。			ドリル
	第15回 「ほんとうに驚きました。」真叫人惊叹。	使役、受身の表現、兼語文について学びましょう（P.65～P.68）。この回まで全体を十分に学習し、単位修得試験を受けてください。単位修得試験は、筆記試験です。特に漢字（簡体字）およびピンインの表記については、十分に復習をしておいてください。			ドリル
成績評価方法	単位修得試験（100%）により評価する。				
教科書	著書 『フレッシュ中国語（改訂版）』 著者 渡辺晴夫、楊幸雄、高村麻実 出版社 白水社 出版年度 2010年3月30日 ISBN 9784560017449				
参考書 (任意購入)					
必須ソフト・ツール					
備考					

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時にWord、Excel等の基本ソフトが必要となる場合があります。

メジャー(専修)名	2014年度入学生： 2013年度以前入学生：	授業科目名	中国語Ⅱ（応用）	担当教員	相場 美紀子
レベルナンバー	100	単位数	2		
授業方法	通信授業	デジタル教材活用度	★★☆		
単位修得試験	受験資格	全ての教材が「済」になること			資格名
	実施方法	レポート			
	試験会場	—			

学習目標	正しい発音を身につける。 基本の文法事項を豊富な用例を通して身につける。 中国語であいさつや自己紹介ができるようになる。 短いフレーズや会話を声に出して言えるようになる、聞きとることができるようになる。				
学習の進め方	中国語Ⅰで学んだ文法事項をもとに、発音する力と聞きとる力を身につけることを目標としています。教科書とは別に、用例や練習問題、会話などを随所に盛り込んで、より理解を深められるような構成になっています。 このため、各回の終わりで確認クイズを実施して聞き取る力をチェックします。 また、教科書付属CDを用いて毎回音読課題を提出して頂きます。				
学習内容	概 要		課 題		
	第1回 復習課	中国語Ⅰで学んだ事項を中心に文法事項のおさらいをします。			アンケート、ディスカッション
	第2回 第1課 強調構文“是～的”	強調構文“是～的”、“～は…なのである”という表現、反復疑問文、～から、～したばかりの使い方などを学びます。			ビデオレポート
	第3回 第2課 離 時間量	時刻の表現、“～すべき”という意味の助動詞などを学びます。			ビデオレポート
	第4回 第3課 几点? 该	時刻の表現、“～すべき”という意味の助動詞などを学びます。			ビデオレポート
	第5回 第4課 可以、連動文	助動詞“～していい”、連動文の作り方、勧誘の助詞などを学びます。			ビデオレポート
	第6回 第5課 一下 会/能/可以	動量詞“ちょっと”、助動詞“できる”の使い分け、“～に…する”という表現などを学びます。			ビデオレポート
	第7回 第6課 結果補語、一点都不	結果補語、“少しも～ではない”という表現などを学びます。			ビデオレポート
	第8回 第7課 代動詞、比較、可能補語	積極的動作を表す代動詞、比較表現、可能補語について学びます。			ビデオレポート
	第9回 第8課 应该 不要/别/不用 怎么样	助動詞“～すべき”、禁止表現と不必要の表現の違い、“どうですか”具合をたずねる疑問表現などを学びます。			ビデオレポート
	第10回 第9課 没 把 方向補語	没の2つの用法、処置式構文“把”、方向補語の使い方、駅や道路、方向に関する単語や表現などを学びます。			ビデオレポート
	第11回 第10課 让、兼語文、A和B一样	使役構文、兼語文、AとBは同じ、現在進行形、漢字の種類などを学びます。			ビデオレポート
	第12回 第11課 様態補語、越来越 被	様態補語、受け身構文、ますます～になるという表現などを学びます。			ビデオレポート
	第13回 第12課 正在 一边A一边B	現在進行形（その2）、～しながら～するという表現などを学びます。			ビデオレポート
成績評価方法	毎回指定する課題（50%）と単位修得試験（50%）より総合的に評価します。				
教科書	著書 『聴ける話せる中国語 応用編』 著者 古川典代 出版社 朝日出版社 出版年度 2011年1月9日 初版 ISBN 9784764706842				
参考書 (任意購入)	辞書の一例 『中国語辞典』、白水社				
必須ソフト・ツール	マイク				
備考	NHK テレビ講座『テレビで中国語』、NHK ラジオ講座『まいにち中国語』の聴講を推奨します。 ピンイン入力による課題提出ができない場合、別途ご相談ください。				

※各科目の最新のシラバスについては、el-Campus（エルキャンパス）のシラバスを確認してください。

※本学に設置しているパソコンは「Windows」です。スクーリング受講時等はご注意ください。

※課題（レポート等）作成時に Word、Excel 等の基本ソフトが必要となる場合があります。